



INTERNATIONAL  
OLYMPIC  
COMMITTEE

# オリンピック価値教育の基礎

スポーツに基づくプログラム



## 謝辞

IOCは、*Teaching Values: An Olympic Education Toolkit* (価値を教える：オリンピック教育ツールキット) 第1版の出版に貢献された方に対して感謝の意を表す。第1版の執筆において中心的な役割を果たした教育コンサルタントのディアナ L ビンダー博士に特に謝意を表したい。

IOCのオリンピックの価値教育プログラム(OVEP)のさらなる進化は、我々のOVEPトレーナー、パートナー、教育者のグローバルネットワークの知識基盤、支援と貢献なくしては、実現できなかったであろう。IOCを代表して、広報・スポーツによる社会開発部門(Public Affairs and Social Development through Sport)は、各位の不断の努力とオリンピズムへの変わらぬ情熱に対してお礼を申し上げる。

本書の出版にあたっては、利用者の使いやすさに重点を置いて第2版を改訂した。本書は次に挙げる5つのパートから構成されている。オリンピックの価値教育の基礎：スポーツに基づくプログラム、OVEPを伝える：オリンピックの価値教育のための実用解説書、アクティビティシート：オリンピック価値教育のための実践ワーク、リソースライブラリー。

IOCは、以下の協力者およびここに名前が記載されていない多くの方々に感謝の意を表す。

**Richard Bailey**, PhD FRSA, International Council for Sport Science and Physical Education (ICSSPE)

**Gary Barber**, St Michaels University School, Victoria, B.C.

**Guin Batten** and **Viv Holt**, The Youth Sport Trust

**Deanna L. Binder**, PhD, Royal Roads University, Victoria, B.C.

**Helen Brownlee**, Member, IOC Commission for Olympic Education

**Detlef Dumon**, International Council for Sport Science and Physical Education (ICSSPE)

**Narin Hajtass**, Educational and Training Manager, Jordan Olympic Committee

**Katrin Koenen**, International Council for Sport Science and Physical Education (ICSSPE)

**Sock Miang Teo-Koh**, PhD, National Institute for Education, Nanjing Technological University

**Jennifer Leigh**, PhD, University of Kent

**Ralph Leighton**, MA, Canterbury Christ Church University

**Tony Macfadyen**, University of Reading

**David Mutambara**, Executive Director of Zimbabwe Business Council on Wellness (ZBCW)

**Ines Nikolaus**, PhD, International Pierre de Coubertin Committee (IPCC)

**Roland Naul**, PhD, University of Duisberg-Essen & Director, Willibald Gebhardt Institute

**Matthew Reeves**, MA, Liverpool John Moores University

**田原淳子**博士、国際ピエール・ド・クーベルタン委員会 (IPCC)

**Henry Tandau**, Tanzania Olympic Academy

**John Tillson**, PhD, St Patrick's College Dublin City University

### IOC オリンピック教育委員会のメンバー

**Barry Maister**, ONZM, Chairman

#### メンバー：

Beatrice Allen	Filomena Fortes	Laurent Petrynka
Mikaela Cojuangco Jaworski	Dionyssis Gangas	Judy Simons, J. P.
Sam Ramsamy	Kostas Georgiadis	Jeannette Small
Paul K. Tergat	Keith Joseph	Luzeng Song
Nita Ambani	Marion Keim Lees	Ryan Stokes
Helen Brownlee	Young Hee Lee	Stephan Wassong
Anastasia Davydova	Denis Masegla	Thierry Zintz
Gudrun Doll-Tepper	Vera Perederii	

#### 担当ディレクター：

**Francis Gabet**, Director, Olympic Foundation for Culture and Heritage





## OLYMPIC VALUES EDUCATION PROGRAMME

# オリンピック価値教育の基礎

## スポーツに基づくプログラム

2017年発行

国際オリンピック委員会

Olympic Foundation for Culture and Heritage 制作

スイス、ローザンヌ

OVEP の内容、および OVEP に関連して提供または配布される資料、グラフィック、画像、ビデオ等を含むが、これらに限定されない作品、エレメント、素材 (OVEP 教材) は、国際オリンピック委員会 (IOC) の独占的な資産であり、IOC が使用者に対して、非営利、非販売促進目的のために提供するものである。また、OVEP 教材は、(別段の指示がない限り) 編集、教育、研究、分析、調査または報告の目的のみに限定されるものとする。OVEP 教材は、IOC (または表示された権利者) の書面による事前の同意を得ることなく、部分的、全体的に修正、改変および/または変形、サブライセンス、または再配布してはならないものとする。IOC は、OVEP 教材に含まれた情報についてその正確性または完全性のいずれについても保証しないし、また法的責任を負わない。本書において (i) OVEP 教材の一部として提供される第三者の教材、または (ii) OVEP 教材の一部として第三者を通じて提供される一切の出版物、ウェブサイトまたはその他の媒体で表現される考えや意見は、その著者の視点のみに対応するものであり、必ずしも IOC の公式な方針または立場を反映するものではない。本書使用者は、使用者による OVEP 教材の使用または誤用またはライセンス条件の違反から生ずる一切の損害について、IOC を補償し、保護し、免責とすることに同意する。IOC (および適用される範囲の関連権利者) は、いつでも、またいかなる理由であっても、OVEP 教材に付与された権利を取り消す権利を留保する。

© Copyright 2016 International Olympic Committee

ISBN: 978-92-9149-163-6

デザイン: Thomas & Trotman Design

カバーイラストレーション: Bruno Santinho

コピー編集および構成: Dan Brennan, Libero Language Lab

Olympic Foundation for Culture and Heritage,  
Quai d'Ouchy 1, 1001 Lausanne, Switzerland  
Tel +41 (0)21 621 6511 www.olympic.org

Printed in the UK

The FSC certified paper used in this guide is manufactured at a paper mill that is both ISO14001 and EMAS accredited.

This material is also available on  
[www.olympic.org/olympic-values-and-education-program](http://www.olympic.org/olympic-values-and-education-program)

Photography by IOC and Getty Images®. Pages 8, 39, 83 IOC/Alexander Hassenstein; page 9 IOC/Arnaud Meylan; page 11 NOC/LAT; page 12 NOC/MOZ; pages 15, 32, 101 Getty Images®/Shaun Botterill; page 17 Getty Images®/Stu Forster/Pascal Le Segretain; page 19 Getty Images®/Paul Gilham; pages 21, 28, 66, 87 IOC/Richard Juilliart; page 22 LOCOG; page 23 IOC/Greg Martin; page 24 NOC/BRA; page 28 IOC/Hector Retamal; page 29 Getty Images®/Todd Warsaw; pages 30, 45 Getty Images®/Jamie Squire; pages 32, 88 IOC/Jean-Paul Maeder; page 35 Getty Images®/Bryn Lennon; page 36 Getty Images®/Harry How; page 37 IOC/Yo Nagaya; pages 38, 60 Getty Images®/Clive Mason; pages 39, 54 Getty Images®/Julian Finney; page 40 Getty Images®/Milos Bicanski; page 41 Getty Images®/LOCOG; pages 42, 66 Getty Images®/Martin Rose; page 43 Getty Images®/Ezra Shaw, pages 44, 65, 100 Getty Images®/Streeter Lecka, pages 47, 62, 64, 73 IOC/Mine Kasapoglu; page 48 Getty Images®/Jamie McDonald; page 51 IOC/Juerg Donatsch; page 59 IOC/Christophe Moratal/Catherine Leutenegger; page 60 Getty Images®/Mike Ehrmann/Bruce Bennett; page 63 IOC/Ubaldo Rutar/Ian Jones; page 66 Getty Images®/Pagni Alejandro/Harry Engels; page 67 Getty Images®/Lutz Bongarts; page 68 Getty Images®/Michael Steele; page 69 Getty Images®/Clive Rose/Quinn Rooney; page 70 Getty Images®/Don MacKinnon; pages 60, 71 Getty Images®/Adam Pretty; page 74 IOC/Randy Lincks; page 75 Getty Images®/Mike Hewitt; page 76 IOC/Anthony Charlton; page 81 Getty Images®/Pawel Kopczynski; page 82 IOC/John Huet; page 84 IOC/Pilar Olivares; page 86 NOC/CZE; page 89 NOC/BOT; page 90 Getty Images®/Scott Heavey; page 94 Getty Images®/Jed Jacobsohn; page 104 Getty Images®/Central Press; page 105 Shutterstock/Tinna Pong; page 106 SYOGOC; page 108 Getty Images®/Antonio Scorza/Mike Powell; page 110 Getty Images®/Pascal Rondeau; page 111 Getty Images®/Hamish Blair; page 112 Getty Images®/Jasper Juinen; page 113 Getty Images®/Ronald Martinez; page 115 IOC/Xi Yang.



IOC 会長 トーマス・バッハのごあいさつ	8
IOC オリンピック教育委員長 バリー・マイスター ONZM のごあいさつ	9
本マニュアルの使い方	10
<b>セクション 1</b> <b>オリンピック価値教育への導入</b>	<b>12</b>
はじめに	14
オリンピズムの根本原則	16
オリンピズムの本質的価値	17
オリンピズムの教育テーマ	18
指導の手引き	19
オリンピックの価値教育とコミュニティ	21
教育の現実と機会	24
本教材を用いて課題にチャレンジする	25
OVEP に参加する	26
<b>セクション 2</b> <b>シンボル、式典、芸術を通して オリンピズムを称える</b>	<b>30</b>
背景情報	32
輪によってつながる：オリンピック・シンボル	34
旗を掲げる	36
オリンピック・モットー：より速く、より高く、より強く	38
スピリット(魂)に点火する：オリンピック聖火	40
オリンピック競技大会開会式	42
オリンピック競技大会閉会式	44
オリンピック宣誓	46
古代と現代におけるオリンピック休戦	47

(次ページに続く)



## 目次 (続き)

平和の言葉	49
平和のシンボル	50
古代ギリシャのスポーツと芸術	51
近代オリンピック競技大会のスポーツと芸術	52
ロゴとマスコット：自身のアイデンティティをデザインする	53

### セクション 3

## スポーツとオリンピック競技大会を通じて オリンピズムを伝える 54

オリンピック・ムーブメント	56
オリンピック・ミュージアムとオリンピック研究センター	58
オリンピック競技プログラム	60
ユースオリンピック競技大会 (YOG)	62
障壁を突破する：オリンピック競技大会における女性	65
パラリンピック競技大会：「スピリット・イン・モーション」	68
世界を歓迎するーオリンピック競技大会の開催	70
オリンピック競技大会の開催都市	72
オリンピック村	73
オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発	74
オリンピック競技大会の課題を克服する	77

### セクション 4

## オリンピズムの教育テーマを指導する 78

スポーツの文化	80
古代ギリシャの競技種目	82
根本原則の解釈	83
5つのオリンピック教育テーマ	84
A. スポーツと身体活動を通して努力から得られる喜びを経験する	85
喜びを实践する	87
オリンピズムを称える：オリンピック・デー	89

<b>B. フェアプレー学習</b>	<b>90</b>
フェアプレーとは何か？	91
フェアプレーの規則に従って行動する	92
コミュニティ・スポーツにおけるフェアプレー	94
フェアプレー・プログラムの実施	96
コーチによるフェアプレー宣誓	97
親（保護者）によるフェアプレーの誓約	98
選手と参加者によるフェアプレーの誓約	99
<b>C. 自他共に尊重する</b>	<b>100</b>
敬意／尊重の原則に従って生きる	101
人権：敬意／尊重と受容の基盤	102
権利があるということは、責任があるということの意味する	103
「私には夢がある」	104
難しい選択をする	105
<b>D. 卓越性を目指してベストを尽くす</b>	<b>106</b>
卓越性を目指して生きる	107
勝利への長い道のり：ある選手の物語	110
最後まで走る	111
自分のベストを尽くす	112
<b>E. 肉体、意志、精神の調和のとれたバランスの良い生活を送る</b>	<b>113</b>
バランスを見出す	114
活動的な生活	115
活動的なライフスタイル	116
<b>付録</b>	<b>118</b>
用語解説	118
参考文献	121



# トーマス・バッハ IOC 会長のごあいさつ



「スポーツをしたり、体を動かしている子どもたちだけが、スポーツの教育的で健康的な価値を享受できます。私たちは、子どもたちにスポーツをする機会を提供することで、良い刺激を与えることを願っています。」

世界はかつてないほどの速さで変化し、若者の健康と幸福に大きな影響を与えています。IOCは、オリンピック・ムーブメントの未来の戦略的ロードマップであるオリンピックアジェンダ2020を通じてこの変化に対応しています。これらの改革は、継続性、信頼性および若者という3本の柱の下で急速にシフトする世界に向き合っています。

スポーツは若者に自信を持たせ、試合の場だけでなく試合以外の場でも自尊心を育み、他者への敬意の念を持つよう導きます。スポーツは、教育のための強力な学習ツールとして認識されています。スポーツは、健康的なライフスタイル、社会的一体性、ジェンダーバランス、地域社会の再構築の問題に関する重要なメッセージを実現させるための世界共通語を提供します。

スポーツ組織として、私たちはただ単にオリンピック競技大会を観戦する若者を増やすことで満足するわけにはいきません。私たちは「運動しない子どもたちの重い腰を上げさせること」に関心を向けなければなりません。そしてその責任があります。スポーツをしている子どもたちだけが、将来のアスリートになることができます。スポーツをしたり、体を動かしている子どもたちだけが、スポーツの教育的で健康的な価値を享受できます。私たちは、子どもたちにスポーツをする機会を提供することで、良い刺激を与えることを願っています。彼らがどこにしようとも、私たちは彼らと共にあります。私たちは、世界中のもっと多くの学校カリキュラムにスポーツが含まれることを望んでいます。

オリンピック価値教育プログラム(OVEP)は、卓越性、敬意/尊重、友情というオリンピックの中核となる価値を含む活動に若者が共通の基盤を見出す助けとなります。従って、IOCはスポーツや身体活動への普遍的な参加の促進に注目し、同様に、若者に力を与える適切な教育ツールの開発に力を注ぎます。

OVEP フェーズ I (試験段階 2005-2010) では、3つの大陸—アフリカ、アジア、オセアニア—がプログラムの成功例となり、そして10の「指導者養成」ワークショップが組織されました。今日、110カ国以上がOVEPを取り入れ、多くの若者がオリンピックの価値を体感しています。

OVEP フェーズ I の各地域における実践で得られた教訓を考慮して、OVEP フェーズ II の開始にあたっては、オリンピズムおよびオリンピックの価値の学習方法に関して根本的な見直しに焦点を当てました。各地域の状況に対応できるような柔軟性を持たせながら、世界的な価値観に基づく教育の統一的な実施を確保する必要性も明確にしました。

OVEP フェーズ II の導入により、世界的規模でオリンピックの価値教育の指導方法が急速に浸透するでしょう。これはオリンピック・ファミリーのすべてのメンバーにぜひ理解いただきたい新たな学習の取り組みであり、またこのプログラムは次世代のための価値観に基づく教育へ特別な関心を寄せているすべてのステークホルダーとパートナーにとって有用です。

トーマス・バッハ  
IOC 会長



# バリー・マイスター ONZM

## IOC オリンピック教育委員長のごあいさつ



「これらの中核となる要素のそれぞれが「善良なる市民」の育成と、100年以上前にクーベルタンが構想したように、若者がその後の人生に向けて「倫理基準」を定めていく内面の発達に大きな役割を果たすのです。」

### オリビズムは健在

現在の地政学、社会文化、経済的な情勢のなか、「生き方の哲学」としてオリビズムの根本原則の重要性は増す一方です。

私は校長としての14年間を含め28年にわたって教師を務めてきました。その経験から、オリビズムの総体的アプローチが学習を豊かにし、若者の育成における枠組みを与えてくれることを確信しています。

オリンピック憲章に成文化されているクーベルタンの哲学の根幹は、価値観に基づくアプローチを活用することで、多種多様な学習環境で効果をあげてでしょう。

- **肉体、意志、精神の育成**：すべての学校は、幼年期から思春期に直面する困難な課題に対応できる身体的、文化的、心理的、社会的な側面で調和が取れた人間を育てることを目指すべきです。
- **努力から得られる喜び**：学校では、生徒一人ひとりが自己ベストに向けて努力し、その努力に伴う喜びを体験できるよう促すことが望まれます。
- **良い手本（ロールモデル）の価値**：すべての学校で、前向きな事例による指導コンセプトを作り、実践することが望まれます。生活の様々な場で、ピアリーダー（仲間リーダー）を奨励・促進し、称え、活用することが効果的です。
- **普遍的倫理の推進**：学校は、寛容、多様性の尊重、「フェアプレー」に則った生き方など人道的な側面の推進のためにスポーツや文化的な体験を活用することが望まれます。

これらの中核となる要素のそれぞれが「善良なる市民」の育成と、100年以上前にクーベルタンが構想したように、若者がその後の人生に向けて「倫理基準」を定めていく内面の発達に大きな役割を果たすのです。

オリンピック教育に携わる私たちは、オリンピックの哲学を教える上で助けとなる必要な「ツール」を提供しようと努力を重ねてきました。そして、IOCによるオリンピック価値教育プログラム（OVEP）への注力が効果を上げ始めています。「最も重要な」教育プログラムとして、世界中で本書の検討と修正が行われ、実験的に試用され、また活用されています。本書に対する認知度と信頼性は高まりつつあります。

オリンピック価値教育プログラム（OVEP）の根本は、フィジカル・リテラシー（身体に関する知識・能力）の育成において総体的なアプローチを活用する「体験学習」という考え方にあります。本プログラムは、年齢に応じた方法で身体的、社会的、認知的な発達を促すことを目的としています。オリンピック・テーマを題材としたワーク、物語、また楽しい活動を行うことで、児童や生徒が自分の国や文化圏の伝統や慣習を探求したり、体験することが可能となります。

OVEPプログラムには確たる今日的意義があるとの確信を持って真摯に取り組むIOC職員の指導のもと、OVEPアンバサダー、教師、地域のソーシャル・プログラム担当者などのグループが拡大していることを喜ばしく思っています。私どもは、五大陸すべての人々がOVEPを手に行うことができるよう今後も努力を継続します。

ここまでの道のりも長いものでしたが、まだやるべき課題はあります。OVEPが持つ潜在的な力を具体化させるには、オリンピック教育の専門家、各機関やその他のパートナーとの緊密な協力関係が不可欠です。若者の生活に良い影響を与えることへの期待は、オリンピック精神の中心にある強力な動機づけでもあります。

バリー・マイスター ONZM  
IOC オリンピック教育委員長





# 本マニュアルの使い方

オリンピック価値教育プログラム（OVEP）は、国際オリンピック委員会が作成した学習リソースである。

「価値」とは、一人ひとりが信じる原則であり根本的な信念である。また各人の行動の指針ともなる。「価値」は、特定の行動についてそれが良いまたは望ましいかどうかを判断する基準でもある。

## 価値観に基づく教育

学校などの教育の場は、若者が自分自身を大切にし他者を思いやり、社会に積極的な貢献ができるよう社会性や道徳的な発達を促す場である。子どもたちと若者に生きる上での価値を教育するアプローチは「価値観に基づく教育」として知られる。

道徳的・社会的な責任や行動、他者に対する敬意を学ばせるときに、体育や身体活動の体験は価値観に基づく教育に役立つ。

若者の成長に有益な「原則」を学ぶ上で、OVEP の教育テーマを組み合わせた身体活動のプログラムに組み込むことは、若者の社会的、認知的、身体的、学力的な発達や成長のための理想的な学習アプローチとなる。

オリンピック競技大会のシンボルやオリンピズムのテーマを用いたり、古代オリンピックと近代オリンピックの教えや知識を幅広く活用するこのプログラムの狙いは、子どもや若者の人格形成に資する価値に基づいたカリキュラムを広めることである。また、オリンピック競技を題材として、地球市民としての責任を果たし、市民リテラシー、すなわち社会参画に必要な知識を身につけるためのスキルや方法を学ばせる。

このような目的を達成するため、OVEP は知識に基づく重要なリソースで構成されている。

- [オリンピック価値教育の基礎：スポーツに基づくプログラム \(The Fundamentals of Olympic Values Education: A Sports-Based Programme\)](#)
- [OVEP プレイブックを伝える：オリンピック価値教育のための実用ガイド \(Delivering OVEP PLAYbook: A Practical Guide to Olympic Values Education\)](#)
- [アクティビティシート：オリンピック価値教育のための実践ワーク \(Activity Sheets: Exercises to Support Olympic Values Education\)](#)
- [The Resource Library](#)

「[オリンピック価値教育の基礎](#)」は、4つのセクションから構成される。最初のセクションは、オリンピズムの中核となる原則について述べている。学習者は、その原則が自分たちの人生や生活にどのように関わっているかを考えるよう促される。続く3つのセクションでは、オリンピック教育のテーマを軸に、オリンピック競技大会の歴史、物語、シンボルを探究する。OVEP 学習者は、一連のアクティビティシートを通じて、それぞれ経験と理解を深める機会を得る。

教師と学習者はまた、[The Resource Library](#) に収められたさまざまなリソース（映像、記事、リンク）を活用できる。



↑ オリンピック・デー（2011）：オリンピック・リングを作るラトビアの子どもたち

また、「OVEP の指導者を養成する (OVEP Train the Trainer)」も OVEP 2.0 教育バックにリンクしている。ワークショップ形式で実施することで、その内容は多様な学習環境やターゲットグループに対応可能となっている。

トレーニングプログラムの資料の構成は以下の通りである。

#### OVEP ワークショップ計画：

##### 身体活動を通じた学習

学習目的に対応した 2 日半のワークショップ計画（簡単なゲームや参加者中心の活動など）。参加者は、子どもや若者向けの OVEP 身体活動プログラムを教えるためのプログラムを終えると修了証書等を受け取る。

OVEP ワークショップ計画の中心は身体活動およびゲーム活動を通じた学習で、課題カードにその詳細が記載されている。トレーニングを行う際には、OVEP ワークショップ計画に沿った課題カードの利用が可能である。

#### OVEP ブレイブックを伝える：

##### オリンピック価値教育のための解説書

子どもや若者を対象とする身体活動に関する教育的実践に基づいたブレイブック（リソースガイド）。ブレイブックは、異なる文化やさまざまな状況のもと、どうすれば最善の方法でターゲットとする対象者に OVEP プログラムを実施するかといった、参加者のスキルと能力獲得のための助けとなる。

#### トレーナーのための評価ツール

トレーナーのための評価ツール、ならびにプログラムの影響評価がモニタリングと評価を構成する要素として含まれている。



「私たちの文明の未来は、政治あるいは経済の基盤に依存しているのではない。教育により与えられる方向性にかかっている」

ピエール・ド・クーベルタン



# セクション1

# オリンピック

# 価値教育への導入

はじめに	14
オリピズムの根本原則	16
オリピズムの本質的価値	17
オリピズムの教育テーマ	18
指導の手引き	19
オリンピックの価値教育とコミュニティ	21
教育の現実と機会	24
本教材を用いて課題にチャレンジする	25
OVEP に参加する	26



# はじめに

この「**オリンピック価値教育の基礎**」には、背景情報、およびオリンピズムの教育的価値の奨励に役立つ様々な学習活動が収録されている。

**国内オリンピック委員会は、オリンピック・ムーブメントに参加し、オリンピック競技大会に選手を派遣するとき、「根本原則」と呼ばれる一連の価値を共有すること（オリンピック憲章に記されている）に合意する。これらの原則には、国際オリンピック委員会が「オリンピズムの教育テーマ」と呼ぶ一連の価値が内包されている。**

本書には、価値に基づく指導と学習の機会を推進するための情報および資料が含まれている。事実に基づく固定的な学習ではなく、オリンピズムの教育テーマをどのように教え、学ぶかに重点が置かれている。本書は第二言語として英語を学んでいる場合も多い5歳から18歳までの学習者向けに作成されているため、多様な年齢と読解力に対応した活動を収録している。教師および若いグループリーダーには、学習者およびアスリートに適した形に変更して活用することを勧める。

肥満が大きな問題となっている場合や、貧しい地域社会に生きる子どもたちが希望と達成感を必要としている世界で、身体活動とスポーツには果たすべき重要な役割がある。オリンピック競技大会のシンボル、式典、競技、文化的行事は、人々を元気づけ、意欲的にする。そして、学習および指導活動へとつながり、スポーツや身体活動を促進する背景となる。

本書で用いられる教育手法は、多文化、異文化、総合情動的なアプローチで学習および指導に取り組む現在の教育理論に基づいている。

**これらの手法は、以下のような学習の原則を土台としている。**

- 学習とは、能動的な活動であり、受動的な活動ではない。学習者の関わりが深いほど、学習体験は効果的で楽しいものになる。
- 学習を助ける様々な方法がある。学習活動には、話すこと、聞くこと、演じること、作文、議論、ディベート、創造活動（芸術、演劇、音楽など）、スポーツ活動を通じた身体運動、ダンス、体育などがある。本書には、学習への多様な取り組み方を可能にする様々な活動が収録されている。
- 学習とは、個人的な活動であると同時に、協力して行う活動でもある。中には、独力で最大限の力を発揮する者もいる。しかし、協力を学び、実践するために人は協働する必要もある。この理由から、本書には参加者同士が共同作業するように設計された多数の活動が収録されている。

本書では、学習者の想像力を刺激するという教育方法も取り入れている。アスリートは皆、目標を達成する上で想像力がいかに自分の力になるか気づいている。想像力を積極的かつ創造的に用いることは、若者の行動を変え、自分自身と他者に関する新たな考え方を引き出し、様々な行動パターンの探究を促す一助にもなる。



↑ 2012年ロンドンオリンピック競技大会の開会式で掲揚される英国旗

## 全体概要

**セクション1** 本書の目的を説明し、オリンピック・ムーブメントの価値を導入し、教師、運営管理者、ユーススポーツの指導者、その他オリンピックファミリーメンバーがプログラムを実施するための提案をする。

**セクション2** 学習者および選手がオリンピック・ムーブメントのシンボルおよび式典について理解し、考えることの助けとなるような活動について概説する。

**セクション3** オリンピック競技大会およびオリンピック・ムーブメントの歴史、構造、組織に関する背景情報および関連する活動について説明する。

**セクション4** スポーツや身体活動において努力から得られる喜び、フェアプレー、他者への敬意、卓越性の追求、そして、肉体、意志、精神のバランス、というオリンピズムの5つの各教育テーマに関連する理論的背景と活動について説明する。これらの活動は、学習者がこれらのテーマについて理解し、実践に移す上で役立つだろう。

**付録** 用語解説および本書で言及された参考文献リスト

# オリンピックの根本原則

オリンピックの根本原則は、オリンピック憲章に明記され、一連の価値の共有について定義している。

## オリンピックの根本原則

1. オリンピズムは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。
2. オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである。
3. オリンピック・ムーブメントは、オリンピズムの価値に触発された個人と団体による、協動的、組織的、普遍的、恒久的活動である。その活動を推し進めるのは最高機関のIOCである。活動は5大陸にまたがり、偉大なスポーツの祭典、オリンピック競技大会に世界中の選手を集めるとき、頂点に達する。そのシンボルは5つの結び合う輪である。
4. スポーツをすることは人権の1つである。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない。オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。
5. スポーツ団体はオリンピック・ムーブメントにおいて、スポーツが社会の枠組みの中で営まれることを理解し、自律の権利と義務を持つ。自律には競技規則を自由に定め管理すること、自身の組織の構成と統治について決定すること、外部からのいかなる影響も受けずに選挙を実施する権利、および良好な統治の原則を確実に適用する責任が含まれる。
6. このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。
7. オリンピック・ムーブメントの一員となるには、オリンピック憲章の遵守およびIOCによる承認が必要である。

→ 1996年アトランタ大会：アトランタ（米国）のオリンピック・スタジアムにおける開会式で、オリンピック競技大会の古代の起源を称える。





注

オリンピックの本質的価値に関連する5つの教育テーマはすべて、このセクションで扱われる。努力から得られる喜びの学習、フェアプレーの学習、他者への敬意の学習、卓越性の追求の学習、肉体、意志、精神のバランスの学習。

これらのテーマは、若年層スポーツおよび学校カリキュラムにおいて一般的に追求される目的に容易に組み込むことができる。

# オリンピックの本質的価値

**卓越性、敬意／尊重、友情**はオリンピックの3つの本質的価値であり、オリンピック競技大会およびユースオリンピック競技大会の核となる目標である。

## 卓越性

卓越性とは、スポーツであれ仕事であれ、ベストを尽くすことを意味する。重要なのは勝つことではなく、参加すること、進歩すること、肉体、意志、精神の健全な一体感を得ることである。



↑ 努力の奨励—卓越性を求めて励む

## 敬意／尊重

自分自身、自分の体、他者、規則や規定、スポーツ、環境への敬意／尊重が含まれる。



↑ 人間の尊厳を守る—敬意／尊重を行動で示す

## 友情

友情は、オリンピック・ムーブメントの中心にある。友情は、スポーツが個々人の、また世界中の人々の相互理解に役立つことを教えてくれる。



↑ 調和の形成—友情を称える

# オリンピックの教育テーマ

本書では、オリンピックの根本原則に基づく5つの教育テーマに焦点をあてる。その中には基本的な3つの学習アプローチ、知的学習、社会的／感情的学習、身体的学習が含まれる。

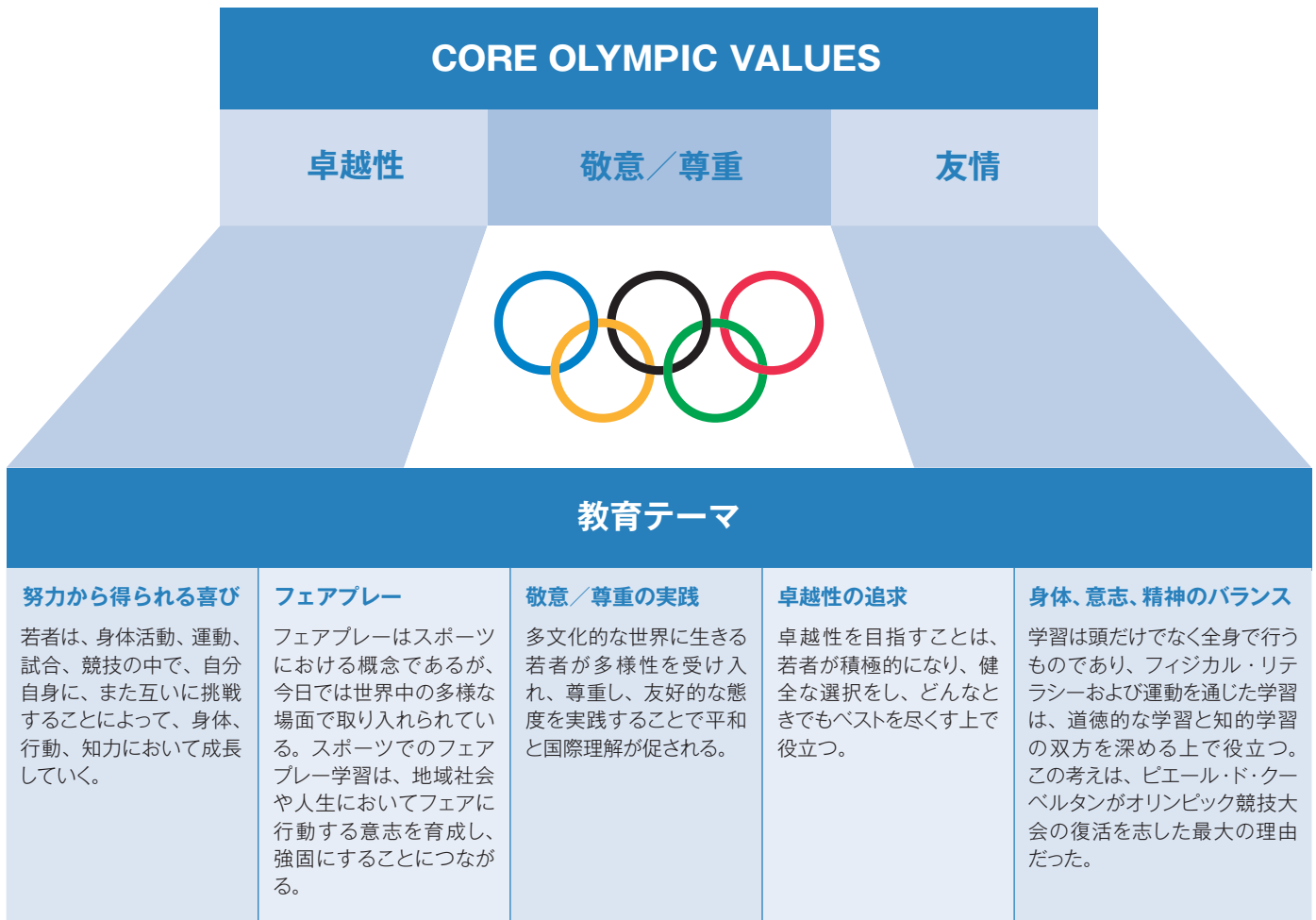


指導提案および具体的な活動は、第4セクション「オリンピックの教育テーマを指導する」の中に5つのテーマごとに収録されている。

## 指導および学習のプラットフォーム

**The WHAT (オリンピックの本質的価値とは何か?)**：オリンピック・ムーブメントでは、**卓越性、敬意／尊重、友情**をオリンピックの本質的価値としている。エリート選手たちがオリンピック競技に参加することで、これらの価値が体现される。オリンピック競技大会およびユースオリンピック競技大会のすべてでこれらの本質的価値が重視される。

**The HOW (どのような学習法か?)**：OVEPは、5つの教育テーマを体験する教育的なプロセスを重視する学習法である。そのテーマとは、努力から喜びを得る、フェアプレーに則って生きる、敬意／尊重を実践する、卓越性を追求する、肉体・意志・精神のバランスを学ぶ、である。これらの指導テーマは、オリンピック憲章、オリンピックの根本原則に基づいており、前向きな青少年育成という目標が学習カリキュラムに組み込まれている。



# 指導の手引き

本セクションでは、このマニュアルに収録されている情報および活動をどのように活用すればよいか、様々な方法の中からいくつかを見ていく。

オリンピック教育が意味するものは人により様々である。次のセクションでは、オリンピック教育の傘下にある広範なプログラムの事例を紹介する。これらのプログラムは、重なる部分も多いものの、異なる目的と異なる参加者を持つ。本書は、「スポーツを通じた教育」という学習法に基づいている。



↑ 中国北京のナショナルスタジアムで行われた2008年北京オリンピック競技大会開会式。巨大な地球の上でパフォーマンスを行うアーティスト。

## オリンピック教育

- 大学およびオリンピック研究センターにおける学術研究、講座、セミナー
- 国内ならびに国際オリンピック・アカデミー、および国内オリンピック委員会のプログラム
- オリンピック競技大会に関するテキストブック、ガイド、ビデオ、CD、テレビ番組
- オリンピック・デーの活動、オリンピック・フェスティバル、学校/地域社会における競技会
- オリンピックの価値に基づく高度なトレーニングおよび体育
- 「スポーツを通じた教育」：子どもや若者向けの統合的価値に基づいた指導プログラム
- オリンピック競技大会組織委員会が主催する教育および若者向けプログラム
- オリンピックおよびスポーツのユースキャンプ
- オリンピック・ミュージアムネットワーク、殿堂、美術展、文化イベント
- オリンピック・スポンサーおよびパートナーが主催するマーケティングおよびプロモーション活動

## 様々な活用方法

本書に収録されている教材は、様々な用途で用いることができる。

### 1：スポーツを通じた教育—統合的および教科横断的なアプローチ

一つのテーマに沿うか、またはプロジェクト形式の指導法を用いて、異なる教科領域の活動を統合する方法がある。オリンピックのテーマは歴史、数学、科学、語学、体育、保健に取り入れることが可能なため、統合的な取り組みに理想的である。

### 2：スポーツや体育を通じて卓越性を求めて励む若い選手を支援する

スポーツ教育および体育のプログラムは、生徒によるオリンピズムの価値の理解と実践を助ける活動を用いて、深めることができる。6月23日のオリンピック・デー、4月6日の開発と平和のためのスポーツ国際デーとともに、本書に含まれる活動およびアイデアを活用して開催することができる。

### 3：オリンピック週間またはオリンピック月間

本書に収録されている活動の多くは、学校カリキュラムでも扱うテーマを含んでいるので、オリンピック週間またはオリンピック月間の企画において用いることができる。オリンピック週間またはオリンピック月間は、開会式および閉会式、競技形式の様々な身体活動、試合、スポーツ等で構成することができる。

### 4：教師主導型の学習

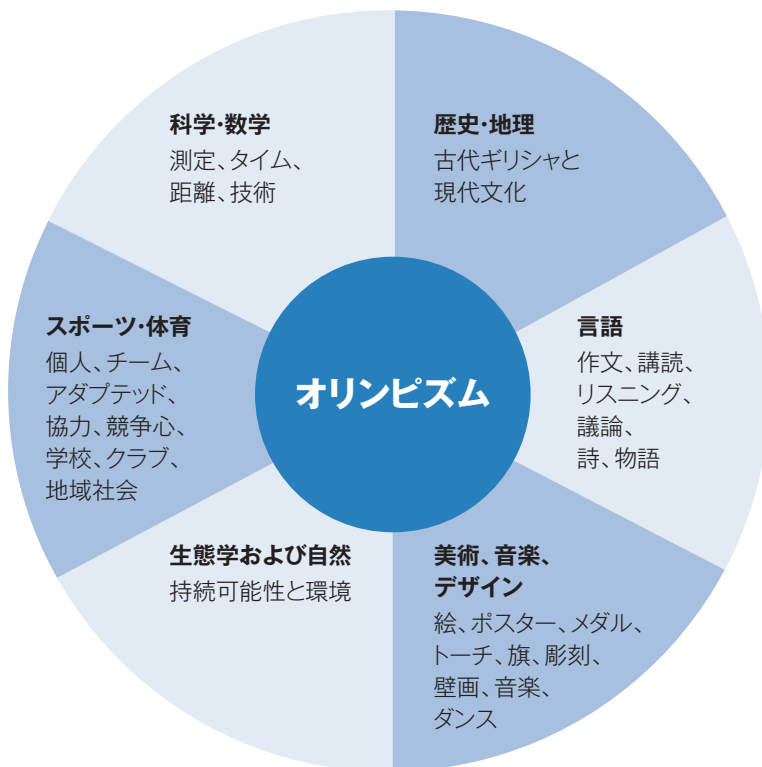
本書に収録されている読解および著述活動は、教師主導型のプログラム、または規定の教科書/ワークブックの計画に沿ったプログラム用に、特定の年齢水準に合わせて修正および再構成することができる。大人数のクラスを受け持つ教師の場合は、少人数のグループワークで進める方が良いだろう。

### 5：中等後教育およびファシリテーターのためのワークショップ

高等教育課程の生徒またはファシリテーター（例：教師および若いグループリーダー）対象のワークショップ参加者向けには、本書を「オリンピック教育：価値を基盤とするアプローチ」コースのための枠組みとして活用できる。

例えば、オリンピック教育のコースは、教育または体育の学科で活用できる。国が異なれば伝統や行動規範も異なる一方、グローバル化の結果として、様々な価値が文化や地域を横断して適用され、共有されるようになった。オリンピック・ムーブメントはこれらの共有される価値を奨励する機会を生み出してきた。本書は、教師および若いグループリーダーが自身のプログラムに適する様々な活動を適用し、学習者のニーズや期待に応えられるように設計されている。

## 教育の経路





# オリンピックの価値教育と コミュニティ

様々な国でスポーツセンターおよびレクリエーションセンターは、地域社会を結束させ、ポジティブな社会的価値観を育む上で役立っている。本セクションでは、「スポーツ・フォー・ホープ」コミュニティというコンセプトについて見ていく。これは若者が彼らの地域社会のスポーツセンターをデザインしたり紹介したりするのに役立つコンセプトである。

## 開発と平和のためのスポーツ

**「スポーツは、地理的、文化的、政治的背景の差異を超えて、社会的統合および経済発展を推進するものとして、重要な役割を果たす。スポーツは社会的結束およびネットワークを強め、平和、友愛、連帯、非暴力、寛容、正義の理想を推進する強力な手段である。」**（国際連合）

### スポーツの定義

発達の分野でスポーツを定義する場合、通常はスポーツの肯定的な価値に重点が置かれ、あらゆる年齢や能力を持つ人々に適した広範かつ包括的な領域の活動が含まれる。国連はスポーツを「遊び、レクリエーション、組織的なスポーツまたは競技スポーツ、先住民のスポーツやゲームなど、心身の健康と幸福、社会的な交流に貢献するあらゆる形態の身体活動」と定義している。

スポーツおよびその他の身体活動から得られる恩恵としては、以下が挙げられる。

- 教育成果の向上
- 健康増進および疾病予防
- ジェンダー平等の推進
- 社会的包摂（インクルージョン）および社会資本の育成
- 平和の構築および紛争の防止／解決
- 災害後／トラウマからの解放および生活の平常化
- 経済発展
- コミュニケーションおよび社会の流動化
- ライフスキルの育成
- 自尊心および自己効力感の育成

**「私は、オリンピック・シンボル、価値、式典などを当たり前のもと思っていた。しかしここでの楽しい探究を通じて、これらは『人間の精神』に訴えかける大切な基盤となっていることがわかった。個人の心身一体的な発達に取り組む先には、グローバルなレベルで社会が良い方向に変化する可能性があることを示している。」**

教師／コーチ トリニダード・トバゴ



↑ 2010年に最初にザンビアに建てられたオリンピック青少年育成センター（Olympic youth Development Centre）オープニング時のホッケーチームセンターは、IOCのスポーツ・フォー・ホーププログラムの一環として建設された。



← 2012年ロンドン大会：オリンピック競技大会の中核を成した文化オリンピアドは、国中の若者が創造的で身体的な活動の主権者側になって関わることを可能にした。



## 地域社会において<sup>1</sup>

若者はスポーツに参加することによって、チームワーク、決断、規則の遵守について、かけがえない人生の教訓を学ぶ。本書に収録されている活動は、地域社会におけるスポーツプログラムの一助として活用できる。

### スポーツを通じて若者に力を与える

1. 都市および地方のいずれの環境においても、スポーツの集会は、健康やライフスキルの指導の他、ピア教育ワークショップ、募金集めの活動、リーダーシップ講座、性別および性に関する公開討論会、演劇および芸術ワークショップと結び付けて行うことができる。
2. 子どもたちや他の若者向けのスポーツ集会のまとめ役として若いリーダーをトレーニングすることができる。子どもや若者は、同年代の仲間からの方が情報を得やすい。

### スポーツを通じて子どもたちに力を与える

1. 様々な背景を持つ子どもたちに手を差し伸べる：孤児、弱い立場にいる子ども、HIV および AIDS に感染している子ども、障がいのある子ども、働いている子ども、路上で生活する子ども、戦争や飢饉で住む場所を失った家族の子ども。
2. 親やその他の大人の関係者に働きかけて、公開討論会やイベントへの参加を促す。

### スポーツを通じて女性に力を与える

1. 伝統的に男性のみで行われるスポーツなどの活動に、女性が自らの意思で参加する平等な機会を保障する。その土地の踊りやエアロビクス、ダンスなどの活動を促進することにより、性の差異を理解し認め合う<sup>2</sup>。
2. 社会的結束、ならびにスキル開発を重視し、力強く発展させる。たとえば、スポーツおよび地域社会におけるリーダーシップに関する講座、または地域で愛されているスポーツ（例：サッカー、ネットボール、バレーボール、バスケットボール）のレフェリー講座を提供することができる。
3. 資金調達活動と収入創出活動を一体化し、女性が自信を持ち、自己主張ができるようにする。

### 文化交流および伝統の探究

1. 若者に、ダンス、歌、演劇、ロールプレイ、芸術、語りを通じて自分の感情や意見を表現する機会を与える。地域社会の年長者を招待し、彼らの体験や伝統文化に関する知識を学び、共有する。
2. 他国の若者との文化交流を推進する。このような交流は、若者が他の文化と自分たちの文化の両方をよく理解し、価値を認識する上で役立つ。







↑ オリンピック青少年育成センター（ザンビア、ルサカ）

## スポーツへの参加を推進するコミュニティ空間の計画および準備

何をもってスポーツ施設というか—その概念は、国や地域によって異なる。ヨーロッパでは古代より、スタジアムがスポーツ活動の中心だった。だがエチオピアでは、その国の優勝ランナーが海拔 2,000 メートルの山上でトレーニングをしている。一方、グアテマラシティでは、傾斜の激しい丘の中腹にある平らな土地が地元のボクサーの「ジム」になっている。また、香港の縄跳びチャンピオンはどんな場所でも練習することができる。

地域社会レベルでは、スポーツや身体活動に高価なスポーツ施設は必要ない。公園、草地、中庭、傾斜地、車の通らない道路、砂浜など、どんな場所でも身体活動はできる。

とはいえ、ホッケー、バレーボール、テニスといった近代スポーツは、複雑な規則と様々な競技レベルがあるため、特別な会場や設備を必要とする。

IOC の **スポーツ・フォア・ホープ**<sup>3</sup> プログラムは、ザンビアやハイチなどの開発途上国において、多機能スポーツセンターを建設するという地域社会の計画を支援する。

これらのセンターの目的：

- 若者に、オリンピック精神に沿ってスポーツのトレーニングをし、身体、意志、心を発達させる機会を与える。
- 選手に、近代的かつ専門的なトレーニング施設を提供する。
- コーチおよびスポーツの管理運営者を支援する。
- 競技大会を開催する。
- 地域社会に社会活動の場を提供し、ひいては社会の発展に貢献する。
- 保健サービスを提供する。



# 教育の現実と機会

経済状態と同様、政治、宗教、教育の体制は世界中で異なる。これらは教育者がどのように職務に取り組むかに関わっている。

**教育システム：**本書は、グローバル教育を推進する構想である。だが、教育における優先順位、プログラム、システムは、世界中で大きく異なる。また、教師と生徒の人間関係、親（保護者）、生徒、教育機関、地域社会の人々の期待は国によって異なる。学級の規模や指導および学習のためのインフラも多様である。たとえば、多くのコミュニティでは、正式な学校教育よりも非公式な教育が重視されている。また、文章によるコミュニケーションよりも口頭によるコミュニケーションに重点が置かれ、家族や地域社会の役割が第一とされている。

**試験：**一部の教育システムでは、事実情報の暗記と筆記試験が非常に重視されている。このような姿勢は、独創的で、学習者の視点に立った取り組みを追求しようとする教師には、障壁となる可能性がある。

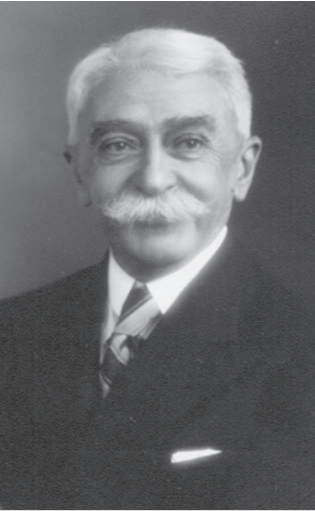
**言語：**文書が原語から他の言語に書き直される翻訳は、常に不完全なものである。それは、翻訳とは著者、翻訳者、および読者または聞き手との間のフィルターを介したコミュニケーションであるためである。ある言語で容易に表現される考えが、他の言語ではそれほど簡単に表現できないことはよくある。たとえば、フランス語の*エスプリ・デュ・スポール (esprit du sport)* という表現は、英語のフェアプレーと全く同じことを意味するわけではない。

中国では、言葉はアルファベットではなく数千種類もの象形文字を用いて表されるが、英語またはヨーロッパ言語からの翻訳は困難かつ複雑な作業になる。本書の資料は異なる大陸出身のオリンピック教育の専門家によって再検討され、最適な言葉や言い回しによってオリンピズムを支える概念および価値を表現することを試みたものである。

**哲学：**オリンピック・ムーブメントの教育概念のルーツは、ヨーロッパの哲学と教育の伝統にある。基本的な原則はオリンピック・ファミリーに属する200以上の国々の共感を得られているが、各国の思想および教育システムとの間には多くの相違もある。これは、一部の国にとって本書で用いられる価値に基づく指導および学習方法を受け入れることは、困難な課題である可能性を意味する。たとえば、宗教理念に基づく教育を行う地域社会では、どうすればオリンピックの価値教育を既存の教育上の優先事項に組み込めるか、その支援方法を見つけ出すこと、また地域の信念体系や社会的枠組みに合う方法で本マニュアルが提案する活動を取り入れたり、用いたりするか—これは、オリンピック教育の専門家および若いグループリーダーにとっての挑戦的な課題となるだろう。



← 2013年のオリンピック・デーを楽しむブラジルの子どもたち



# 本教材を用いて 課題にチャレンジする

今日の課題は、ピエール・ド・クーベルタンをオリンピック憲章の基盤にある近代オリンピック・ムーブメントの形成へと向かわせた、価値および原則を促進させることである。

↑ ピエール・ド・クーベルタン男爵は、1863年にパリで生まれた。軍人への道には進まず、フランスの教育改革、およびオリンピック競技大会の創設とオリンピック・ムーブメントという教育目標に人生を捧げた。クーベルタンは1890年、ウィリアム・ペニー・ブルックスから、英国のウェンロック・オリンピック競技会観戦の招待状を受け取った。この大会が最初に開かれたのは1850年だった。クーベルタンとブルックスの二人は、アテネで開催される国際競技大会としてオリンピック競技大会を復興させるという夢を語り合った。

オリンピック競技大会の開会式でオリンピック旗が掲げられるたび、世界中が近代オリンピック・ムーブメントの父、ピエール・ド・クーベルタン（1863-1937）の考えを称える。若者は身体と精神を鍛える必要があるとクーベルタンは確信していた。クーベルタンは、自国の学校でスポーツや身体活動を実践することを提唱した。そして、古代オリンピック競技会を土台とする国際的なスポーツ大会を開催すれば、自身の考えを広く知らしめることができると考えた。



1894年、ピエール・ド・クーベルタンは、仲間や友人を会議に招待し、オリンピック競技大会を復興させるという計画を訴えた。これらのオリンピック競技大会の企画立案を任せられた組織が国際オリンピック委員会と呼ばれた。

ピエール・ド・クーベルタンはオリンピック憲章の原本の起草に携わった。

オリンピック憲章はこれまでに何度も改定されてきた。オリンピック憲章は国際オリンピック委員会およびオリンピック・ムーブメントの活動の指針となるものである。そこにはオリンピズムの根本原則が含まれ、クーベルタンが最初に抱いたビジョンからさらに発展している。

## オリンピック・ムーブメントの目的（1894年）

- スポーツの基盤となる身体的および精神的資質の発達を促す。
- 相互理解および友情の精神を尊重してスポーツを通じた若者の教育を行うことで、より良い平和な世界の構築に寄与する。
- オリンピックの基本理念を全世界に広め、それにより国際親善を築く。
- 4年に1度のスポーツの祭典、オリンピック競技大会に世界中のアスリートを集結させる。

← 1896年アテネオリンピック競技大会の公式ポスター



# OVEPに参加する

オリンピック・ファミリーのメンバーは、オリンピック・ムーブメントの代表である。IOC 委員、オリンピック、大会組織関係者、スポンサー、どのような立場であれ、メンバーはオリンピックの価値と原則のために尽力する。

## オリンピック・ファミリーのメンバー

学校や地域社会のオリンピック・デー競技大会の開会式にゲストとして招かれたと想像してみしてほしい。何百人もの若者が胸を高鳴らせて、オリンピック・デー競技大会の正式な開幕宣言を待っている。若者たちは、オリンピックの歴史、他の参加国、オリンピック・ムーブメントの価値について学んできている。オリンピック競技大会には他のスポーツイベント以上の役割があるという信念に沿って、生徒たちはその日のためのトーチ、ポスターを制作し、スポーツと文化活動を行う日を心待ちにしてきた。そして、フェアプレーの実践、個人差の受容、ベストを尽くすという課題に立ち向かう。**これこそオリンピックの実践である。**このよ

うなオリンピックの教育的価値は、積極的にスポーツに参加することによってのみ高まるのではない。その価値は、教えられる必要がある。オリンピック・ファミリーの一員として、私たちは本書の内容を共有し、推進することができる特別な立場にいる。私たちの参加によって、子どもたちは未来のオリンピック、または人権擁護者になるという意欲をかき立てられるかもしれない。私たちがその子どもの人生を変えるかもしれないのである。



↑ 1988年ソウル：インド対パキスタンのホッケーの試合 Tahir Zaman と Muhammad Qamar (パキスタン)をかわそうとする Mohinder P. Singh (インド)

## コーチ、スポーツクラブおよびユースクラブのリーダー

IOC 前会長ジャック・ロゲはかつてこう言った。

「オリンピック・ムーブメントならではの強みは、若い世代を夢に邁進させ続ける力にある。

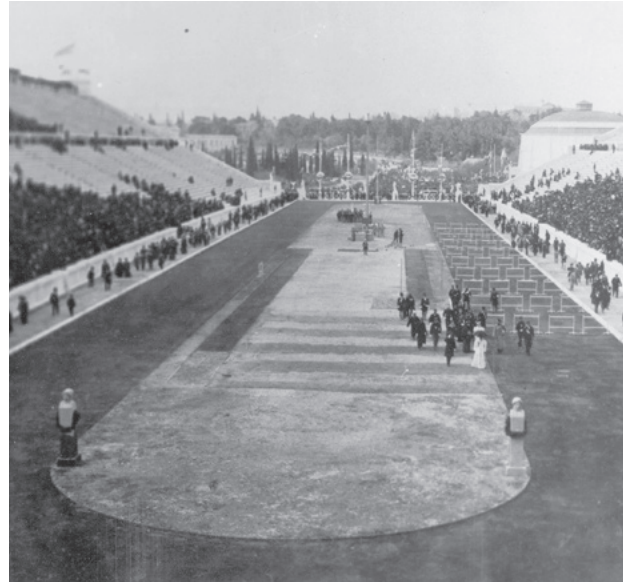
- チャンピオンたちが若者の意欲を刺激する。
- オリンピック競技大会に出場するという夢が若者をスポーツに向かわせる。若者は、スポーツを通じて教材の恩恵を受ける。
- スポーツは、若者の体と心を支える。
- スポーツは、規則を尊重することを若者に教える。
- スポーツは、対戦相手を尊重することを若者に教える。
- スポーツは、若者を社会に融合させ、その社会的能力を高める。
- スポーツは、若者にアイデンティティを与える。
- スポーツは、若者に喜びと誇りをもたらす。
- スポーツは、若者の健康を増進させる」<sup>6</sup>

スポーツクラブやユースクラブの指導者は、これらの言葉に賛同し、フェアプレー、規則の順守、対戦相手の尊重、優れた社会性、健全な行動がスポーツや身体活動への積極的な参加を通じて育まれるものであるということに疑わないだろう。だが、こうした成果は、単にスポーツに参加するだけでは得られない。教えられなければならないのだ。

学校でも地域社会でも、スポーツにおける熾烈な競争や勝利へのプレッシャーが、フェアプレーのようなオリンピックの価値の実現の障害になることがある。そのような中でも、全世界のコーチは、オリンピズムの価値を教えることができる特別な立場にいる。若い選手にフェアプレーについて学ばせるもっとも効果的な方法は、自分の行動の影響や結果について討論する機会を与えることである。コーチが教え子に価値観の違いについて深く考えるチャンスを与え、自分の感情、信念、行動について討論させるとき、価値教育が始まる。

年齢の高いグループでは、暴力や薬物乱用をテーマとして討論させることができる。また年齢の低いグループでは、規則に従ったプレー、平等な機会、フェアプレーに比重を置くことができる。

本書にあるストーリーや事例を討論の入り口にするといえよう。オリンピックの価値教育の活動は、学校や地域社会のクラブに一つの統合的な方法を与えるものであり、若者に対し、適切な価値と行動についての統一された一貫性のあるメッセージを伝えるために活用することができる。



↑ 1896年アテネ：第1回の近代オリンピック競技大会。白い大理石で造られたパナシナイコスタジアムにハードル競技の会場が設置されている様子。

## 教育当局および教育管理者

オリンピック競技大会は、国際的に広く受け入れられ、テレビを通じて世界中で観戦されている。近代オリンピックは、ピエール・ド・クーベルタンが構想した19世紀ヨーロッパの教育改革プロジェクトとして、100年以上前に始まった。今日、オリンピックは「人類史上最大の関心」を集めている<sup>6</sup>。

オリンピズムの教育的価値は、オリンピック・ムーブメントのシンボル、式典、価値、基本理念が現地の知識や文化的伝統の背景の中で作用し、成し遂げられ、適応し、作り変えられ得る「国境を超えた空間」を提供する<sup>7</sup>。シカゴ大学のジョン・マカルーン教授は「『ただ一つのオリンピック競技大会』があるのではない。何千ものオリンピック競技大会があるのだ」<sup>8</sup>と述べた。

本書は、オリンピックの物語、伝統、歴史をカリキュラムに基づく学習活動に転換するように作成されている。子どもや若者は、熱中して取り組む時に最も学習できる。オリンピズムの教育的価値に基づく学習活動は、その地で生まれた解釈、洞察、表現、活動に役立つと考えられる。

このことがもたらす学習の可能性は、学校を基盤とするカリキュラムに求められる学習成果と合致すると考えられる。たとえば、サハラ以南の古代語にウブントゥ（ubuntu）という言葉があり、翻訳すると「私は他のすべての人々の存在があってこそこの私である」という意味になるが、南アフリカの教師たちはこの概念を普遍性とヒューマニティというオリンピックの社会的価値と融合させている<sup>9</sup>。

このように、オリンピック・テーマに基づく実践や物語は、様々な教科における価値に基づく教育活動において自然な意欲を引き出す。それらは若者が自身の国家的および文化的コミュニティの伝統を探求する上で役に立つだろう。また、学校におけるスポーツおよび教育で共有する目標を支え、参加者および生徒の心身の発達に寄与するだろう。

オリンピズムの価値に基づくプログラムは、子どもたちの健全な成長を願う、という私たちの共通の思いにフォーカスすることにより、お互いの差異を称え合い、それを超越する助けとなる。私たちは子どもたちに対し、体をよく動かし、健康であってほしい、フェアにプレーしてほしい、他者を尊重してほしい、ベストを尽くしてほしいと望む。本書に収められている活動は、平和への貢献において、教育をスポーツおよび文化と融合させることにより、想像力や希望を刺激するために用いることができる。





↑ 2014年、ハイチの首都ポルトープランスに完成したスポーツ・フォー・ホープセンター

## 教師および指導者

スポーツや身体活動への参加を通じて子どもや若者の心身の発達に働きかけることは、オリンピック・ムーブメントの主要目的の一つである。これは世界保健機関（WHO）およびユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が共有する目標でもある。これらの機関は、経済先進諸国で深刻化している若者の肥満問題に懸念を示している。身体活動の不足に加えて、座ったままの生活スタイルがこの問題の悪化に拍車をかけている。健康を犠牲にして高等教育への狭き門を目指す経済先進国の子どもたちにとってもスポーツや身体活動への参加は課題である。

学校によっては、体育のための施設またはカリキュラムの時間がないこともあるだろう。体育を指導する資格を有する人材がないこともあるかもしれない。ピエール・ド・クーベルタンは、100年以上前に同じ状況に直面し、フランスの教育システムを改革しようとした。クーベルタンは、若者が「知識を詰め込まれている… [そして] …歩く辞書と化している」<sup>10</sup> と言って嘆いた。また、若者がフェアプレーや他者への敬意のような肯定的な価値、自らの能力を試す意欲を実際の状況に積極的に適用することで、特にそれをスポーツや試合において行うことで高めていくと考えた。

今日の教育研究は、スポーツや身体活動への参加が健全なライフスタイル、効果的な学習、肯定的な価値の発達に貢献するというクーベルタンの信念が正しかったことを裏付けている。さらに、オリンピック・ムーブメントの教育的価値—スポーツや身体活動において努力から得られる喜び、フェアプレー、他者への敬意、卓越性を求めて励む、肉体、意志、精神のバランス—は、スポーツという背景をはるかに超えて、関連性および適用性を持つ。これらの価値の発展を重視する活動は、様々な教科の学習成果の向上に貢献する。

国が課すカリキュラムには、追加的なプログラムや選択的な学習素材を取り入れる余地がほとんどないことが多い。これを踏まえて、本書は活用に最大限の柔軟性を持たせて作成および構成されている。従って、教師は以下のいずれかのみを行ってもよいし、すべてを行うこともできる。

- 本書から情報または活動を選択し、既存のプログラムを補完または拡充する。
- オリンピック教育のコースの基本テキストとして本書を用いる。
- 校内または校外活動として、オリンピック・デーあるいはオリンピック・ウィークを計画する。本書で紹介するさまざまなテーマの活動を組み合わせれば、全校で協力して取り組むことができる。また、オリンピック・シンボルや式典を参考に、オリンピック・デーの開会や閉会を行えば学習体験はさらに充実するだろう。オリンピック・デーの詳細については、セクション4の89ページを参照のこと。
- オリンピック関連の勝利や悲劇の物語を使って、学習者の夢を育む。オリンピック・シンボルや式典が伝えるメッセージ、魅力などを通して国際理解を深め、平和について考えさせる。
- オリンピックの価値を指導することにより、スポーツへの参加を増やす。



← スポーツ・フォー・ホープ プログラムの一環として2010年にザンビアに建設された初のオリンピック青少年育成センター。オープニング時のバスケットボール選手。

「生まれながらに肌の色、出身、宗教を理由に他者を憎む人はいない。人は憎むことを後から学ぶに違いない。憎むことを学べるなら、愛することも学べるはずだ。愛はその対極にある感情よりも、人間の心にもっと自然に生まれるものなのだから」

ネルソン・マンデラ



↑ 人々に感銘を与えた南アフリカのネルソン・マンデラ前大統領





「…平和と国際理解を追求する  
運動としてのオリンピックの  
イデオロギー、その抽象的な概念は、  
どのように人の血となり肉となるのか？…  
答えは式典の中にある…」

ジョン・マカルーン教授<sup>1</sup>

↓ 2012年ロンドン大会：閉会式でオリンピック聖火が消されるとき、聖火台の上に浮かんだ不死鳥





## セクション2

# シンボル、式典、 芸術を通して オリンピックを称える

オリンピック競技大会は、シンボルと伝統からイメージされる世界に存在する。このセクションではこれらのシンボルと伝統を紹介し、それを使っていかにオリンピックの価値を推進するかを説明する。

背景情報	32
輪によってつながる：オリンピック・シンボル	34
旗を掲げる	36
オリンピック・モットー：より速く、より高く、より強く	38
スピリット（魂）に点火する：オリンピック聖火	40
オリンピック競技大会開会式	42
オリンピック競技大会閉会式	44
オリンピック宣誓	46
古代と現代におけるオリンピック休戦	47
平和の言葉	49
平和のシンボル	50
古代ギリシャのスポーツと芸術	51
近代オリンピック競技大会のスポーツと芸術	52
ロゴとマスコット：自分のアイデンティティをデザインする	53



# 背景情報

本セクションでは、オリンピック競技大会に不可欠な様々なオリンピック・シンボルと伝統について詳しく紹介する。



↑ 1998年長野大会：選手宣誓をする荻原健司選手（日本）

オリンピック競技大会の創始者、ピエール・ド・クーベルタン（1863年-1937年）は、教育において感情と想像力を活用することの重要性を理解していた。クーベルタンはオリンピック競技大会の開催にあたり、スポーツを文化と結びつけた。そして、シンボルを創作し、式典、音楽、ショー（野外歴史劇）を奨励した。これらの芸術的かつ文化的な体験こそ、オリンピック競技大会を他のすべてのスポーツイベントと異なるものにしていく理由の一つであり、スポーツや体育に限らない広範なカリキュラムにおける価値教育活動の基盤となっている。



↑ 最初のオリンピック旗。ピエール・ド・クーベルタン男爵の依頼を受けて制作され、1914年に開催された全エジプト競技大会で初めて披露された。フランス語で「Alexandrie 5 Avril 1914」（1914年4月5日 アレクサンドリア）と旗に書かれているのが見える。

## オリンピック・リングとオリンピック旗

5つのオリンピック・リングは「オリンピック・シンボル」とも呼ばれる。その色は、青、黒、赤、黄、緑である。5つの輪はオリンピズムの普遍性を象徴して重なり結びつく。

これらの5色（または背景の白色）のうち少なくとも1色は、競技に参加する各国の旗に含まれている。輪はオリンピック競技大会に関わる世界の5つの地域、すなわちヨーロッパ、アジア、オセアニア、アフリカ、アメリカを表していると言われる。

オリンピック旗が初めて掲揚されたのは1920年、ベルギーでのアントワープ大会である。オリンピック競技大会では、開会式でスタジアムのポールに旗が掲げられる。そして、競技大会の開催期間中は常時、スタジアムに掲揚されなければならない。

閉会式で行う旗の降納は、競技大会の閉幕を告げる。オリンピック競技大会の開催都市の市長はこのとき、オリンピック旗を次期大会の開催都市の市長に手渡す。（詳しくは34-37ページを参照のこと）

## オリンピック・モットー

オリンピック・モットー「CITIVS, ALTIUS, FORTIVS」は、ラテン語で「より速く、より高く、より強く」という意味である。このモットーは、1891年にピエール・ド・クーベルタンの友人であるアンリ・ディドン神父によって考案され、1894年にIOCに採用された。（詳しくは38-39ページを参照のこと）

## オリンピック聖火と聖火トーチ

近代オリンピック競技大会におけるオリンピック聖火とは、人類は常に火に象徴的意味を見出してきたという肯定的な価値を具現化したものである。聖火リレーの役割は2つある。1つはオリンピック競技大会の到来を告げること、もう1つはルート上の人々に平和と友情のメッセージを伝えることである。近代オリンピック競技大会のオリンピック聖火の伝統は、1936年のベルリン大会から始まり、それ以来、オリンピックの慣例として続いている。聖火はギリシャのオリンピアで太陽光から採火され、開催都市まで走者から走者へとリレーで渡され、開会式が行われるオリンピック・スタジアムに設置された聖火台に点火される。聖火はオリンピック競技大会の期間中燃え続け、閉会式で消される。（詳しくは40-41ページを参照のこと）

## 開会式

開会式は、オリンピック競技大会の最初の公式行事である。主に開催都市の組織委員会が責任を持って行う。式次第はオリンピック憲章に明記されている。

## 閉会式

閉会式はオリンピック競技大会の正式な終了を告げるものであり、通常、開会式よりも短く、簡潔である。式次第は1956年に定められた。

## オリンピック讃歌

オリンピック讃歌は、ギリシャの作曲家、スピロス・サマラスが作曲し、1896年にギリシャの詩人、コスティス・パラマスが詩をつけた。1958年にIOCに採用された。オリンピック讃歌はオリンピック競技大会の開会式と閉会式、また国際オリンピック委員会によるすべての公式式典で演奏される。



↑ 2014年ソチ大会：女子スキークロスの表彰台上の銀メダリスト、ケルシー・セルワ（カナダ）、金メダリスト、マリエル・トンプソン（カナダ）、銅メダリスト、アンナ・ホルムルンド（スウェーデン）

## アクティビティシート 01

### ピエール・ド・クーベルタン男爵と オリンピック・ムーブメント

#### オリンピック教育のテーマ：

他者への敬意、バランス、フェアプレー

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

質疑応答、共有の輪式学習、ラウンドテーブル式学習、探究

#### ★ 学習到達目標

近代オリンピック・ムーブメントの創始者、ピエール・ド・クーベルタンの人生と功績について学ぶ。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 01

## オリンピック宣誓

**「私は、すべての選手の名において、この大会を律するルールを尊重し、これを守り、真の意味でのスポーツマンシップにおいて、決してドーピングをしないことを約束し、スポーツの栄光とチームの名誉のためにこのオリンピック競技大会に参加することを宣誓いたします」**

開会式では、必ず3つの宣誓が行われる。1つは全選手を代表する選手、1つは全コーチを代表するコーチ、1つは全役員を代表する審判/役員によるものである。オリンピック宣誓は、1920年のアントワープオリンピック競技大会で初めて行われた。（詳しくは46ページを参照のこと）

## 表彰式

古代オリンピック競技会では、優勝のみがオリーブの木の枝で作られた簡素な冠を授与されていた。冠は野生のオリーブの木から金の柄のナイフで切り出されたものだった。古代ギリシャの人々は、枝を通じて聖なる木の生命力が受け取った者に宿ると信じていた。

近代オリンピック競技大会では、1位、2位、3位の選手にメダルが授与される。1位には金メダル、2位には銀メダル、3位には銅メダルが贈られる。開催都市は、IOCが定めたガイドラインに従ってメダルをデザインする責任がある。各メダリストの国の国旗が掲揚される間、1位を獲得した選手の国の国歌が演奏される。

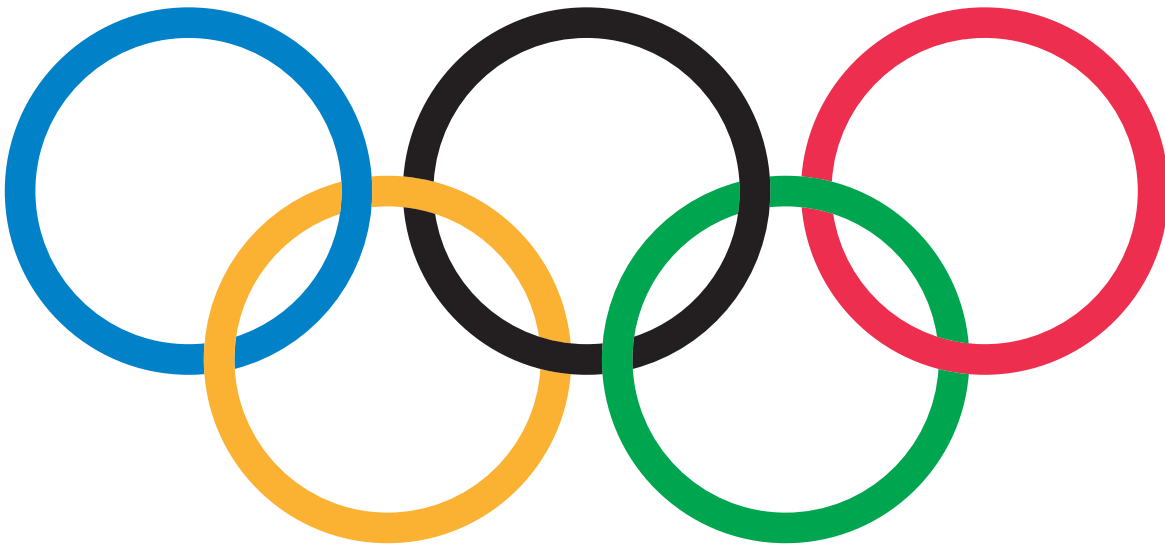


# 輪によってつながる： オリンピック・シンボル

本セクションでは、オリンピックを象徴するオリンピック・リングについて見ていき、オリンピック・ムーブメントの価値を導入し、調べ学習を進める上で、このオリンピック・シンボルをどのように活用すればよいかを説明する。

## ? 読む前の問いかけ

これまでにオリンピック・リングを見たことがありますか？どこで見ましたか？オリンピック・リングを見たことがない人に、あなたはどのように説明しますか？オリンピック・リングは何を意味すると思いますか？



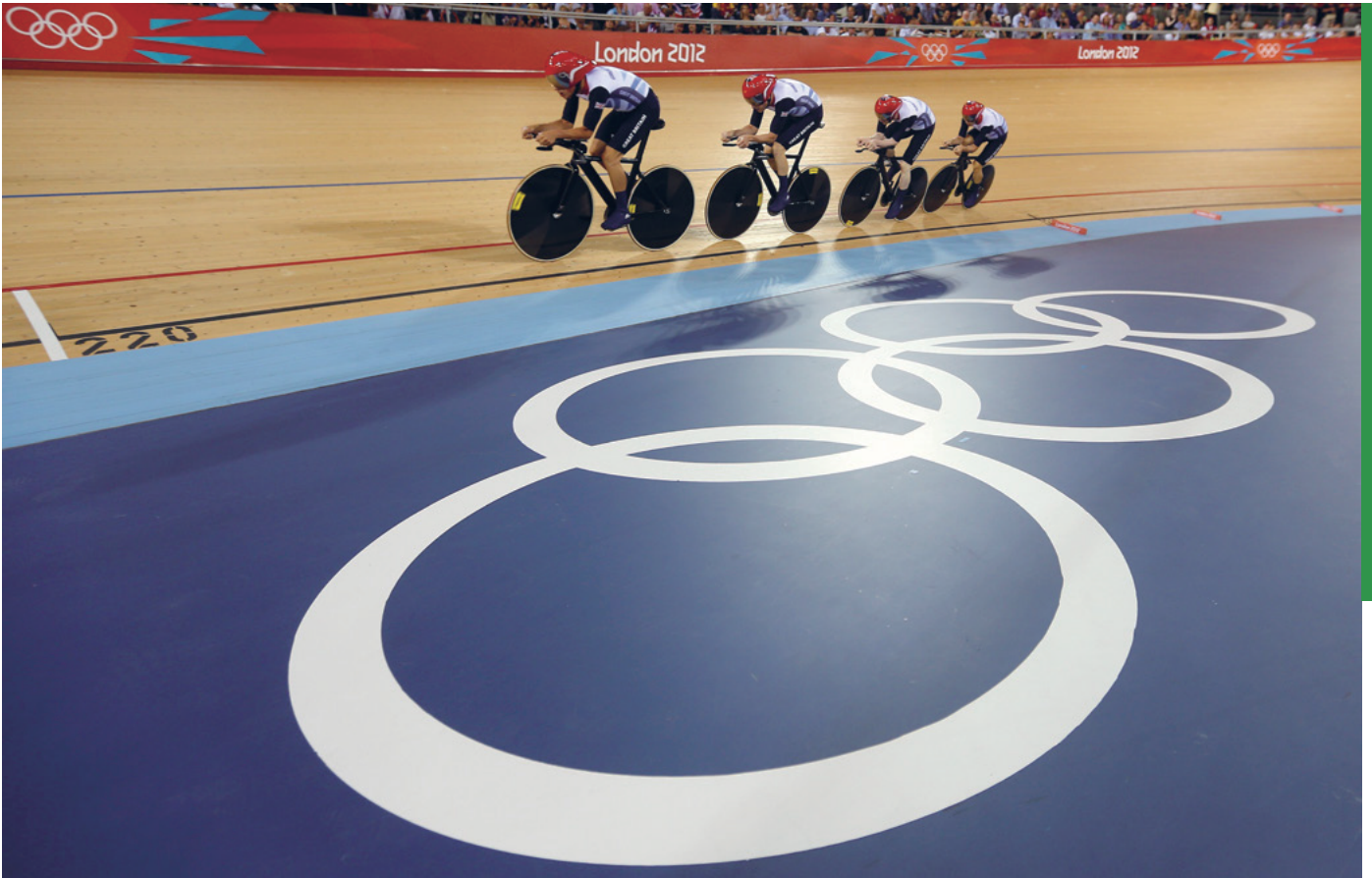
## 📖 読む

上に描かれた5つの輪を見てほしい。輪は鎖のように互いにつながっている。オリンピック競技大会の開催中、誰もがテレビをつければ必ずと言っていいほどこの5つの輪を見ることだろう。5つのオリンピック・リングは「オリンピック・シンボル」と呼ばれ、世界中で認知されている。上段の3つの輪の色は左から順に、青、黒、赤、下段は黄、緑である。

5つの輪は世界の5大陸の人々の友情を表すともいわれる。

これについてどう思うか述べなさい。





↑ 2012年ロンドン大会：ベルドロームでのチームパーシュートの予選で世界新記録を出す英国の男子自転車選手

## 話し合う

- このシンボルは1913年、近代オリンピック競技大会の創始者、ピエール・ド・クーベルタンによってデザインされました。
  - これはオリンピック競技大会にふさわしいシンボルだと思いますか？
  - なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？
- シンボルおよび色は、文化によって異なる意味を持っています。あなたの国の文化では、シンボルおよび色は何を意味していますか？特定の色が他の文化で表す意味を知っていますか？知っていれば例を挙げましょう。

## アクティビティシート 02

### オリンピック・シンボル

#### オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重、卓越

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

探究、共有の輪式学習、創造力、コラボレーション、エントリーカード、エグジットカード、パーソナライズ学習、思考能力

#### ★ 学習到達目標

オリンピック・リングの重要性を理解する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 02

# 旗を掲げる

国旗は、国を象徴するために用いられる。  
オリンピック旗は、スポーツとオリンピックの価値を通じた  
国際的な結束を表している。

## ? 読む前の問いかけ

オリンピック旗が掲げられているのをどこかで見たことがありますか？

どこで見ましたか？

なぜ、オリンピック・ムーブメントに旗が必要なのでしょう？



↑ 2002年ソルトレークシティ大会：世界的に大きな貢献をした8名が開会式でオリンピック旗を運ぶ。

**「私たち8名は、オリンピック旗をスタジアムに運び入れ、オリンピック競技大会の間中、旗が掲げられているのを見て、この上ない名誉を感じた。自分が環境に関わる者として選ばれたことをとても光栄に思う…感動するとともに、謙虚な気持ちになる体験だった」**

ジャン＝ミッシェル・クストー<sup>2</sup>

## 読む 1

開会式ですべての選手がオリンピック・スタジアムへの入場を終えると、会場は静まり返る。すると、スタジアムの片隅から白い服に身を包んだ8名がアリーナに入場する。一人ひとりがオリンピック旗の端を持ち、トラックの周りを慎重に運ぶ。掲揚ポール前で止まり、旗を取り付け、掲揚を始める。大合唱隊がオリンピック讃歌を歌う。それはとても感動的な瞬間である。

各オリンピック競技大会の間、オリンピック旗は常に開催国の国旗または開催都市の旗とともに掲げられる。これらの旗は、その都市が目下、オリンピック精神のもとにあることを象徴する。開会式で、特定のオリンピック旗（1つは冬季競技大会用、もう1つは夏季競技大会用）が次のオリンピック競技大会の開催都市の市長に手渡される。

## 読む 2

### 車椅子からたなびく旗<sup>3</sup>

バンクーバー（カナダ）の市長、サム・サリバンは車椅子を使用しており、手も最小限しか動かさない。オリンピック旗の高さはほぼ5メートルある。誰かが私の代わりに旗を振ることは望まなかった、とサリバン市長は言った。

「（誰かにしてもらうことは）私の信念に反することである。私はそれができる自分でありたい」と述べた。

サリバン市長は、10億人もの人々が見ると予想される2006年のトリノ大会の閉会式で旗を受け取ることの象徴的意味は重要だと語った。

サリバン市長によれば、「障がいのある人びとからたくさんの電子メールを受け取った。そこには、これはあなたとカナダの他の障がい者だけでなく、自分にとって実に重みのある瞬間だったと書いてあった。」

バンクーバーのエンジニアやボランティアは、3つの角度を取れるフラッグホルダーをデザインして、サリバン市長の車椅子の肘掛部分に取り付けた。想定される様々な状況に対処できるように考案したのだった。

「もし風がその大きな旗を捉えたら、大失敗に終わるのだろうか、自分はステージの端から転がり落ちてしまうのかと心配だった」とサリバン市長は言った。

当時のIOC会長、ジャック・ロゲが旗を手渡すと、サリバン市長は電動の車椅子を前後に動かし、旗をたなびかせた。

## アクティビティシート 03

### 旗を掲げる

#### オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

議論、創造力、コラボレーション、課題カード

### ★ 学習到達目標

アイデンティティや価値を反映する旗の重要性を理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 03



→ 2006年トリノ大会：閉会式で2010年冬季競技大会開催都市のバンクーバー市長、サム・サリバンにオリンピック旗が手渡される。





オリンピック・モットー：より速く、より高く、より強く

# オリンピック・モットー： より速く、より高く、より強く

モットーやメッセージは、重要な価値をわかりやすく伝えることができる。オリンピック・モットーやメッセージを参考にしながら、オリンピックの価値をよく表す別なモットーや言葉を考えよう。

シティウス アルティウス フォルティウス

**Citius, Altius, Fortius** は、「より速く、より高く、より強く」を意味するラテン語である。  
このモットーは、卓越性を求めて励み、ベストを尽くすというオリンピックの価値を示している。

一部のオリンピック競技は、採点方式を用いて誰が金メダルを獲得するかを決定する。代表的なのは、体操競技、高飛び込み、フィギュアスケートの3つである。ジャッジパネル（審判団）が、華やかな動き、身体コントロール、芸術的表現、動きの難易度または動きの組み合わせなどの要素を審査する。

## 話し合う

審判員や役員は不正行為ができると思いますか？もしできるとしたら、どのようにするでしょうか？

なぜそのような行為をするのでしょうか？

スポーツでの不正行為に対する罰や制裁があるべきですか？もしそうであれば、どのような罰や制裁であるべきですか？



↑ 2014年ソチ大会：アドレル・アリーナ・スケートティングセンターで滑走するカナダのスピードスケート選手、ブリタニー・シュスラー、カリ・キリスト、イバニー・ブロンディン。

## 話し合う

「オリンピック競技大会でもっとも重要なことは、勝つことではなく参加することである。同様に、人生でもっとも重要なことは成功ではなく奮闘努力することである。肝心なのは、勝つことよりも、よく戦うことである」

ビエール・ド・クーベルタン男爵

このメッセージは、すべてのオリンピック競技大会でスコアボードに表示されます。これはどんなことを意味していると思いますか？あなた自身の言葉で説明してみましょう。

- このメッセージに同意しますか？なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？
- すべての選手またはそのコーチがこのメッセージに賛成するとは限りません。そのような人たちは、ときには勝つために不正をすることがあります。選手が行う不正にはどのようなものがありますか？なぜ彼らは不正を行うのでしょうか？
- 不正行為は他の選手にどのように害を及ぼしますか？不正行為は、不正をした選手にどのような結果をもたらしますか？



↑ 2014年ソチ大会：ロザ・フトル・エクストリーム・パークで行われた男子スキークロス、フリースタイル決勝で滑走中のジーン・フレデリック・シャビュイ、アルノー・ボポレンタ、ジョナタン・ミドル（すべてフランス）、プレイディー・レマン（カナダ）

オリンピック・モットー：より速く、より高く、より強く

## アクティビティシート 04

オリンピック・モットー：  
より速く、より高く、より強く

オリンピック教育のテーマ：  
卓越、バランス、努力から得られる喜び

学習活動の提案：  
5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

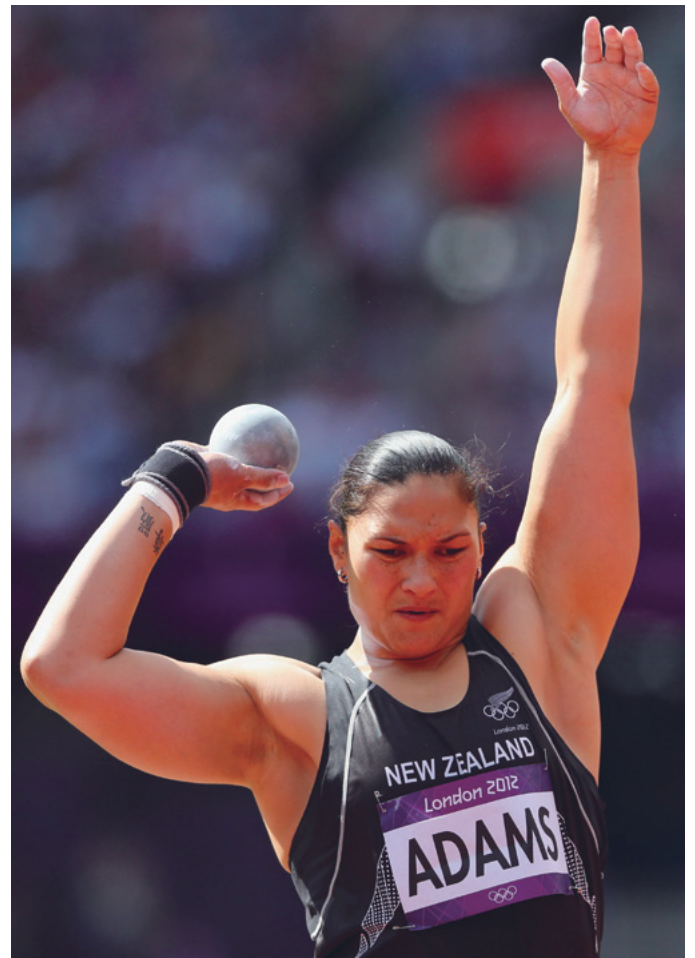
探究、構成主義的指導法、創造力、討論劇、問題解決、コラボレーション

### ★ 学習到達目標

- オリンピズムを探究するときに、児童・生徒たちをインスパイア（元気づけ、明るくさせる）し、元気づけるモットーの力を明確に理解する。
- オリンピック・モットーの意味を理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 04



↑ 2012年ロンドン大会：オリンピック・スタジアムで女子砲丸投げ予選に臨むニュージーランドのバレーリー・アダムス

# スピリット（魂）に点火する： オリンピック聖火

火、炎、トーチ、キャンドルは、人類にとって常に特別な意味を持ち、儀式や式典で重要な役割を果たす。これは、古代および近代オリンピック競技大会においても同じである。

「私はアテネオリンピックに選手として参加できないけれど、とても意味のある大会になるでしょう。なぜなら、全世界をめぐるオリンピック聖火リレーに参加できるのだから。」

シドニーオリンピック競技大会(2000年) 金メダリスト、**キャシー・フリーマン**

## 読む

各オリンピック競技大会には、特別な炎が用意される。聖火リレーとして知られる長い旅をするこの炎は、古代オリンピック競技大会が行われた場所の遺跡で採火され、開催都市へと向かう。聖火の採火式は、古代オリンピアのヘラの神殿跡の柱の前で行われる。聖火は、鏡の反射で集められた太陽光の熱で、大きな聖火台に用意された油に灯される。この炎から火が移され、世界の他の地のオリンピック・スピリットに点火するための旅が始まる。

## 話し合う

写真の女性を見てください。この女性たちは、古代ギリシャの巫女（みこ）の役を演じる女優です。高位の巫女が、大きなボールまたは聖火台の中の油に鏡で太陽光を反射させています。

- 近代オリンピック競技大会を実施する人々は、なぜ古代オリンピックに由来する象徴や式典を用いると思いますか？
- あなたの地域社会に、特別な炎または火を使う行事はありますか？例えば、ろうそくあるいはかがり火を使うような行事や式典はありますか？
- なぜ式典で、火や光がこれほど重要なのだと思いますか？



## アクティビティシート 05

### スピリット（魂）に点火する： オリンピック聖火

#### オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

議論、探究学習、討論劇、ラウンドテーブル式学習、創造力、コラボレーション、教え合い学習

#### ★ 学習到達目標

希望をいだかせ、世界に共通する価値とつながっているシンボルとしてのオリンピック聖火の価値を理解する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 05

← 2012年アテネ大会：ギリシャの古代オリンピアで行われたオリンピック聖火の採火式で、高位の巫女役のイノ・メネガキが2012年オリンピック大会の聖火をとす。





↑ 2012年ロンドン大会の聖火リレーがイギリスのカーライルの街に到着



← 2014年ソチ大会：国際宇宙ステーションに到着したオリンピック聖火



# オリンピック競技大会 開会式

オリンピック競技大会の一部として不可欠な式典や儀式は、オリンピックをその他のすべての国際競技大会と異なるものに行っている。音楽、歌、ダンス、花火を織り交ぜた開会式および閉会式を通じて、人々はオリンピック競技大会が開催される国の文化を新たに知ることになる。

## 開会式

開会式は、オリンピック競技大会の最初の公式行事である。主に開催都市の組織委員会が責任を持って開催する。式次第はオリンピック憲章に明記されている。

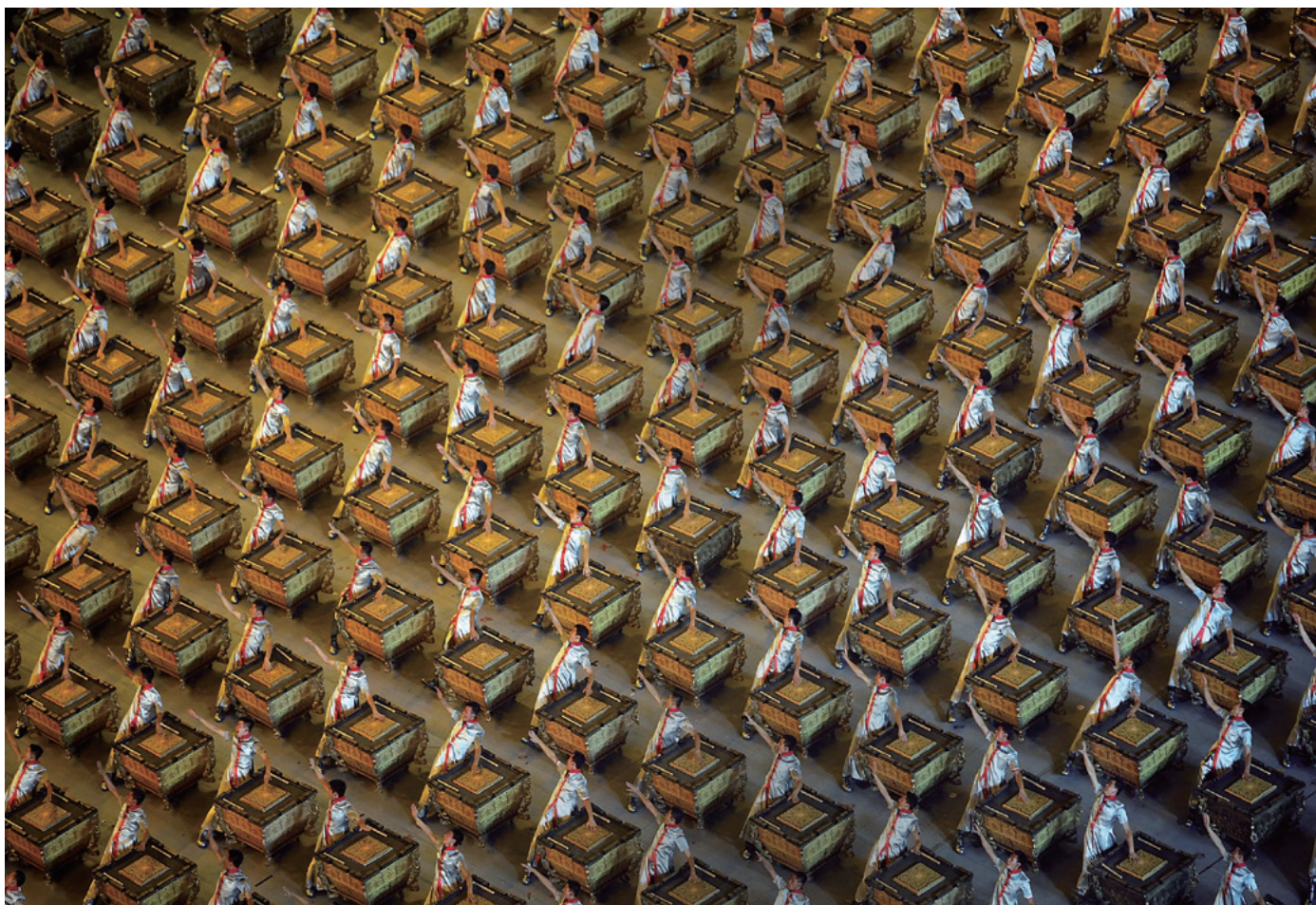
### 式次第：

- 開催国の国家元首によるオリンピック競技大会の正式な開会宣言
- 各国のパレードーギリシャが先頭、開催国が最後尾、その他の国々はアルファベット順に行進
- 組織委員会会長および国際オリンピック委員会会長によるスピーチ
- トーチから聖火台への点火
- 平和のシンボルである鳩の象徴的な表現
- 選手、コーチ、役員によるオリンピック宣誓
- 組織委員会が行う開催国の文化と歴史を反映するエンターテインメント・プログラム



↑ 2014年ソチ大会：伝統的なロシアのダンサーと建築物の色とりどりのディスプレイ。フィシュト・オリンピック・スタジアムで行われた2014年ソチオリンピック冬季競技大会の開会式。





↑ 2008年北京大会：中国の首都にある国家スタジアムで行われた開会式でパフォーマンスをする太鼓奏者たち

## アクティビティシート 06

### オリンピック競技大会開会式

#### オリンピック教育のテーマ：

卓越性の追求、バランス、他者への敬意、フェアプレー

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応



ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 06

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

探究、創造力、討論劇、コラボレーション、質疑応答型発表

### ★ 学習到達目標

- オリンピックの象徴的意味の力を明確に理解する。
- オリンピック競技大会の開会式を通じてどのように開催国の文化、歴史、精神が表現されるのかについて学ぶ。



# オリンピック競技大会 閉会式

閉会式はオリンピック競技大会の正式な終了を告げるものであり、通常、開会式よりも短く簡潔である。1956年に定められた式次第に沿って行われる。

## 閉会式

### 式次第：

- 開会式とは対照的に、選手は国ごとに分かれずにスタジアムに入場し、オリンピック競技大会の結束と友情を象徴する。
- ギリシャ、開催国、次期開催国のそれぞれの国旗が各国歌演奏とともに掲揚される。
- オリンピック旗が次期開催都市の市長に手渡される。
- 国際オリンピック委員会会長がオリンピック競技大会の閉会のことばを述べる。「私は、ここに、第…回オリンピック競技大会の閉会を告げ、伝統に従って、世界の若者にこう呼びかけるものであります。4年後には、…（次期開催都市）に集まろう。そしてそこで、われわれとともに第…回オリンピック競技大会を開催しよう！」
- オリンピック聖火が消される。
- オリンピック讃歌が演奏され、オリンピック旗が降納される。
- 次期開催都市の組織委員会による文化エンターテインメントショーが行われる。



← 2010年バンクーバー大会：2010年バンクーバーオリンピック冬季競技大会の閉会式でオリンピック聖火台の周りを歩く選手たち



↑ 2012年ロンドン大会：2012年ロンドンオリンピック競技大会の閉会式でオリンピック・スタジアム上に打ち上げられた花火

## 話し合う

開会式および閉会式は、開催都市および開催国に、その文化、伝統、アイデンティティを世界と共有し、称える機会を提供します。

グループになって、あなたの住む地域または国の文化、伝統、アイデンティティについて話し合みましょう。どのような文化や伝統が生まれ育った場所をもっとよく表しているか考えましょう。

あなたの国の文化の主要な特徴を取り入れた簡単なダンスの振り付けを考えてみましょう。何を組み入れ、何を除外するかをどのように決めましたか？

## アクティビティシート 07

### オリンピック競技大会閉会式

#### オリンピック教育のテーマ：

卓越、バランス、他者への敬意、フェアプレーの追求

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

議論、導きをとまなう探究、コラボレーション、コミュニケーション能力、ジグソー学習、回転木馬式学習、教え合い学習

### ★ 学習到達目標

- オリンピック競技大会における伝統やプロトコル（儀礼上の決めごと）の重要性を明確に理解する。
- オリンピズムがどのように称えられ（大切にされ）、その価値が閉会式を通じて表現されているかを明確に理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 07



# オリンピック宣誓

開会式で選手、コーチ、役員が行う宣誓は、オリンピックの重要なプロトコルである。オリンピック宣誓は、古代および近代両方のスポーツにおける不正行為の問題を調べる学習活動の基盤として活用することができる。



↑ 古代オリンピック競技会で不正行為を行った選手は、自らの名前を刻まれたゼウスの小さな彫像の支払いをさせられることで罰せられた。

**「私は、すべての選手の名において、この大会を律するルールを尊重し、これを守り、真の意味でのスポーツマンシップにおいて、決してドーピングをせず、薬物を使用しないことを約束し、スポーツの栄光とチームの名誉のためにこのオリンピック競技大会に参加することを宣誓いたします」** 選手宣誓

## 読む

### 古代オリンピックにおける不正行為と罰

地域社会のスポーツ行事で不正をした人がいたとすると、あなたはどのようにその人を罰するだろうか？

古代ギリシャでは、不正を犯した選手を罰するのに、とても変わった方法を取っていた。

古代ギリシャのオリンピック競技大会は、近代オリンピック競技大会と同様に、多くの規則と儀式のもとで開催されていた。競技大会は聖なるものとみなされ、ギリシャ神話の神ゼウスを称えるために行われていた。競技大会が始まる前、選手、その父、兄弟、役員は、ゼウス神殿の前で行われる特別な儀式で、規則に従うことを約束した。

しかし、中には不正を犯す者がいた。不正行為に対する罰として、選手とその出身都市は、高額な罰金を支払わなければならなかった。これらの罰金は、「ザーネス (Zanes)」と呼ばれるゼウスの小さな彫像を建てるために使われた。何百年もの間、他の選手たちはスタジアムに入場するとき、これらの彫像のそばを通った。

彫像は、不正行為に対する処分を決して忘れさせないという役割を果たした。これらの彫像の土台のいくつかは、今日の古代オリンピックで見ることができる。不正行為を行った者たちの名前は 3000 年を経た今もそこにあり、そこを訪れる人の目にさらされている。

## 話し合う

- どのような行動がオリンピック競技の競技会規則に反しますか？
- 規則を破る者にはどのようなことが待ち待っていますか？
- 自分が属する文化または伝統における約束または宣誓の儀式について説明しましょう。なぜそのような形で約束をするのでしょうか？
- あなたは誰かに対して約束をしたことがありますか？
- あなたはその約束を守りましたか？
- 自分の約束を守ったこと、または破ったことについてどのように感じましたか？
- なぜあなたはそのように感じたのでしょうか？
- 自分が競技会で不正を犯したとして、学校や地域社会によって自分の名前が学校の前の彫像に刻まれても構いませんか？
- なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？
- そのとき、両親はどのように感じると思いますか？
- クラスメイトが不正行為をしたとしたら、どのような罰が適切だと考えますか？
- それは不正行為を行ったことに対する効力のある「報い」だと思いますか？
- 今日、スポーツで不正を犯す者にはどのような罰が与えられていますか？
- これらの罰は不正行為を防止していますか？
- なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？
- 競技会で不正行為を防止するために、どのような手段を推奨したいですか？

## アクティビティシート 08

### オリンピック宣誓

#### オリンピック教育のテーマ：

フェアプレー、他者への敬意、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

ソクラテス式問答法、構成主義的指導法、探究、コラボレーション、ジグソー学習、回転木馬式学習、日記、思考日記、ブログ

### ★ 学習到達目標

- 選手宣誓の重要性を理解する。
- 不正行為は、スポーツだけでなく人生においても影響を及ぼすことを明確に理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 08



# 古代と現代における オリンピック休戦

本セクションでは、国際的な平和と結束の促進を目指す、オリンピックとオリンピックの価値に基づく誓約と確約について考える。

国際オリンピック休戦財団の使命は、オリンピックの理想を奨励し、平和、友情、国際理解に貢献することである。特に、オリンピック競技大会開催期間中すべての戦闘を停止し、平和のために世界中の若者を結集させることを求めるオリンピック休戦の順守に向けて努力する。<sup>4</sup>



↑ 2014年ソチ大会：オリンピック村を訪れた潘基文国連事務総長

## オリンピック休戦について<sup>5</sup>

「休戦 (truce)」という言葉は、「true (真実)」と同じ語源から派生しており、通常「敵または戦闘相手との間で戦闘または紛争を一時的に停止する合意」<sup>6</sup>と定義されている。競技会の開会を前に休戦が宣言された古代に起源を持つこの言葉は、オリンピック競技大会にとって常に特別な意味を持つ。



↑ 古代オリンピアで鳩を放つ巫女

## オリンピック休戦の歴史

「休戦」または「エケケイリア」の伝統は、紀元前9世紀の古代ギリシャで、ギリシャの都市国家エリスの3人の王の間で交わされた協定への署名から生まれた。休戦期間中は、選手とその家族、そして一般の旅人は、オリンピック競技会に出場または参加するための往路、その後の帰路を安全に旅行することができた。競技会の開始が近づくと、エリス市民によって聖なる休戦が宣言された。その使者は休戦を伝えるため、ギリシャ中を巡った。ギリシャの人々は1000年の間、安全に旅をしてオリンピック競技大会に参加することができたのである。

1992年、国際オリンピック委員会は以下を行う手段として、古代のオリンピック休戦の考えをよみがえらせた。

- 選手およびスポーツの利益を守る。
- 戦争をしている双方の人々に、自国の選手がオリンピック競技大会で競技している2週間、紛争を停止する機会を提供し、その結果、対話、理解、和解の糸口を作る。
- スポーツを通して紛争中の地域間に交流と共通の基盤を確立する。

オリンピック休戦は、オリンピック・リングの上をはばたく平和の鳩によって象徴されている。鳩は、もう一つの平和の象徴であるオリブの枝をくわえている。背景にはオリンピック聖火が描かれている。

## アクティビティシート 09

### オリンピック休戦

#### オリンピック教育のテーマ：

他者への敬意、バランス、フェアプレー

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

ソクラテス式問答法、構成主義的指導法、コミュニケーション能力、ブログ、ビデオブログ、ロールプレイ法、ラウンドテーブル式学習、パネルディスカッション法

#### ★ 学習到達目標

平和と国際理解を促進する手段としてオリンピック休戦の力を理解する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 09



↑ オリンピック休戦のシンボル

# 平和の言葉

オリンピック競技大会は、世界の若者が集結し、スポーツ競技で持てる力のすべてを発揮することに挑む祭典である。だが、それだけではない。平和と選手間および国家間の理解を促進する強力な社会的エネルギーでもある。

## 話し合う

平和な生活を送ることについて深い洞察と示唆に富む言葉を紹介し、それぞれの文章を読んでから、右欄について話し合います。

「世界に平和を。それを私から始めよう」  
サイ・ミラー&ジル・ジャクソン

議論：自分と家族、または自分と友だちに平和をもたらすために今日できる行動を1つ挙げよう。

「治を以て乱を待ち、静を以て譚を待つ。此れ心を治むる者なり」(統制のとれた状態で相手が乱れるのを待ち、冷静さを保って相手の集中力が途切れるのを待つ。これが感情を理解する者のやり方である)  
孫子

議論：孫子は、混沌とした状況に対処するにはどのような戦略を用いるべきだと言っていますか？

「禍は足るを知らざるより大なるはなく、咎は得るを欲するより大なるはなし。故に足るを知るの足るは常に足るなり」  
老子

議論：老子は、何が紛争の原因だと言っていますか？どうすればこれらの紛争を解決できると考えますか？

「人々は速く前へ進めるようになったが、彼らが、より良いものに行きつけるかどうかは私には分からない」  
ウィラ・キャザー

議論：オリンピック・モットーは「より速く、より高く、より強く」です。「より速く、より高く、より強く」を実践しようとするのが、必ずしも「より良い、より平和な世界」を実現する方法ではない、と考える人もいます。ウィラ・キャザーとマハトマ・ガンジーは何を言おうとしているのでしょうか？彼らの意見に同意しますか？なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？

「速度を上げるばかりが、人生ではない」  
マハトマ・ガンジー

「自然の様子をご覧ください。木々、花々、草は静寂の中で成長します。星々、月、太陽をご覧ください。それらは静寂の中で動きます・・・それらの魂に触れるには、私たちに静寂が必要なのです」  
マザー・テレサ

議論：状況が対立する中で冷静さを保つために毎日数分の静寂な時間が役に立つと、多くの偉大な師が言っています。毎日数分間、静寂に浸る静かな場所をあなたはどこで見つけることができますか？できるとすれば、それはいつだろう？

「怒りを心に抱き続けることは、誰かに投げつけるために熱く燃えている石炭をしっかりと手に握っているようなものだ。やけどするのは自分自身なのです」  
ブッダ

議論：怒りは、それを抱く人をどのように傷つけますか？あなた自身が怒った時の状況について話しなさい。その怒りはどのようにあなたを傷つけましたか？

「考えもなしに話すことは、狙いを定めずに撃つようなものだ」  
スペインのことわざ

議論：悪い言葉は、いつまでも残る傷を相手に残します。どうすれば、自分の発言が招く結果について考える前に「言葉が飛び出す」ことを防げるでしょう？

「『平和』と『平静』の二語には千金の価値がある」  
中国のことわざ

議論：この言葉の作者はなぜ平和と平静にそれほど価値があると考えたのだと思いますか？自分はどんなときに平和を感じるかを説明しなさい。

「こぶしを握り締めたまま握手はできない」  
インディラ・ガンジー

議論：この言葉について説明しなさい。この言葉に同意しますか？負けた試合の最後に、握手をすることに抵抗を感じる場合もあります。それでも握手をすることが大事なものはなぜでしょう？



# 平和のシンボル



↑ 1985年の国際子ども絵画コンテスト。ルーマニアのバーブ・エレナ（12歳）の絵。

## アクティビティシート 10

### 平和とオリンピック競技大会

#### オリンピック教育のテーマ：

他者への敬意、フェアプレー

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

市民リテラシー、コラボレーション、問題解決、批判的思考力、ソクラテス式問答法、共有の輪式学習

#### ★ 学習到達目標

平和のためのイニシアチブと、こうした活動を各自の人生で実践する方法を学ぶ。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 10

## アクティビティシート 11

### 平和遺産ゲーム

#### オリンピック教育のテーマ：

他者への敬意、フェアプレー、友情、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

探究、問題解決、コラボレーション、創造力、市民リテラシー、共有の輪式学習、ラウンドテーブル式学習、演劇、歌、語り

#### ★ 学習到達目標

- スポーツと平和に関して、他の人々の伝統や文化の重要性を理解する。
- 平和と和解の重要性についての知識と理解、認識を深める。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 11

 **読む**

古代ギリシャ人は、すぐれた詩、脚本、物語を書いた。また、古代ギリシャには、美しい建築物、彫像、芸術もあった。それらの彫像および陶磁器に描かれた絵から、そのスポーツの伝統について多くを学ぶことができる。

# 古代ギリシャのスポーツと芸術

身体の鍛錬と競技会は、古代ギリシャの少年教育の一環として重視されていた。

古代ギリシャの陶磁器に描かれた図柄には、運動をしている選手がよく登場する。以下の写真を用いて、学習者に古代ギリシャのスポーツ活動について検討させ、次に、学習者自身の文化におけるスポーツの伝統を探究させる。



 **話し合う**

このページの写真を見て話し合しましょう。

- 何の競技種目が描かれていますか？
- これらの写真から古代ギリシャの生活について他にわかることが何かありますか？
- 古代ギリシャと近代のオリンピック競技の競技種目を比較し対照させましょう。



↑ 古代オリンピック競技会の種目が描かれたギリシャの工芸品

## アクティビティシート 12

### 古代ギリシャのスポーツと芸術

**オリンピック教育のテーマ：**


敬意／尊重、バランス、卓越

**学習活動の提案：**

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

 **指導法および学習スキルの提案**

探究、創造力、コラボレーション、問題解決

 **学習到達目標**

古代オリンピックの歴史と遺産の保持において芸術と文化が果たした役割の重要性を理解する。

 **ダウンロード**

The Resource Library 内のアクティビティシート 12

# 近代オリンピック競技大会のスポーツと芸術

ポスターは、言葉、絵、シンボルを通してメッセージを伝える。オリンピックのポスターを調べる学習は、地域の伝統やオリンピック・ムーブメントの価値を表現する様々な方法を紹介することができる。



↑ 1960年ローマオリンピック競技大会の公式ポスター

## 📖 画像から読み取る<sup>7</sup>

**背景：**ローマ（イタリア）は、1960年のオリンピック競技大会の開催権を得たとき、ローマの歴史の豊かさを強調することを決めた。ポスターには、人の姿をかたどった図柄入りの「柱頭」と呼ばれる柱の頭部が描かれている。天辺には、二人の赤ん坊に乳を与える雌オオカミが見える。文字、日付、オリンピック・リングが入り、そのデザインは完成した。

**ロムルスとレムスに乳を与えるオオカミ：**雌オオカミと双子は、ローマの発見にまつわる有名な神話を表している。伝説によれば、双子の兄弟はローマの軍神マルスの息子であり、アルバ・ロンガの王の甥だった。

王は王位の奪還を恐れ、双子をかごに入れてティベレ川に流したが、かごは岸に流れ着き、雌オオカミに発見された。

双子は雌オオカミに育てられ、後に羊飼いに引き取られてロムルスとレムスと名付けられた。言い伝えによると、成人したロムルスとレムスは紀元前753年に、自分たちが雌オオカミに発見された場所にローマの都市を建設した。その後、どちらが主導者になるかで争いになり、ロムルスがレムスを殺してローマの単独の支配者になった。

雌オオカミのイメージは、紀元前6世紀に遡るルバ・カピトリーナ（カピトリノの雌狼）の彫像が基になっている。元の彫像は古代に損傷し、ルネサンスの時代に復元された。現在見られる双子像は、この時代のものである。この彫像は、ローマのシンボルとして広く知られるようになった。

**円柱—アスリートと群衆：**アスリートが右手で自分の頭に冠を載せ、左手で勝利のシュロの葉をつかむ場面が描かれている。アスリート自身は裸だが、それを取り囲む人々はトーガを着ている。その他の数人のアスリートも、勝利のシンボルである冠を戴く。

**文字：**ポスターの数字には、現在、西欧文字で使われているアラビア数字ではなく、古代ローマの文字（ローマ数字）が使われている。ローマ数字は、1960年ローマオリンピック競技大会のアイデンティティを強固にしている。表記は「第XVII回オリンピック競技大会、ローマ、25.VIII-11.IX」および大文字で「ROMA MCMLX」となっている。

## 💬 話し合う

コミュニケーション手段としてのポスターにはどのような効果がありますか？

## アクティビティシート 13

### 近代オリンピック競技大会のスポーツと芸術

**オリンピック教育のテーマ：**  
敬意／尊重、バランス、卓越

**学習活動の提案：**  
5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✔ 指導法および学習スキルの提案

創造力、コラボレーション、問題解決、ジグソー学習、回転木馬式学習

### ★ 学習到達目標

オリンピックの主要なメッセージを伝えるための視覚芸術の技巧を深める。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 13





↑ **1988年ソウル大会：**  
1988年ソウル大会のマスコットは、親しみやすい虎の「ホドリ」。虎は韓国の多くの伝説に登場する。

## ロゴとマスコット： 自分のアイデンティティを デザインする

ロゴ、マスコット、および聖火トーチのデザインを活用し、オリンピック開催都市の文化や都市の芸術と伝統がどのように表現されているかを紹介する。これにより、文化の違いが理解しやすくなる。



↑ **2006年トリノ大会：**  
2006年トリノ大会で選ばれたマスコットは、優しげでエレガントな雪玉の「ネーベ」（上左）と陽気で元気いっぱいな氷の「クリツ」（上右）。ウィンタースポーツの特質を擬人化し、生命力と活力に満ちた若い世代を象徴するねらいでデザインされた。

### 読む 1—マスコット

オリンピック競技大会の開催都市は、開催国にとって特に象徴的な意味を持つ動物をマスコットとして選ぶことが多い。1980年モスクワ大会（ソ連）では熊（ミーシャ）、1984年サラエボ大会（ユーゴスラビア）では狼（プチコ）、1988年カルガリー大会（カナダ）では白熊（ハイディとハウディ）だった。アニメやマンガのキャラクターが使われることもある。

### 読む 2—ロゴ、エンブレム、シンボル

ロゴとは、オリンピック競技大会開催都市と組織委員会のアイデンティティを示すエンブレムまたはシンボルである。また、大会を視覚的に識別させる役目も果たす。ここに、過去のオリンピック競技大会で選ばれたロゴの例を2つ挙げる。1つは1968年のメキシコシティオリンピック夏季競技大会（メキシコ）、もう1つは1994年のリレハンメル冬季オリンピック競技大会（ノルウェー）のロゴである。

## アクティビティシート 14

### ロゴとマスコット

#### オリンピック教育のテーマ：

バランス、敬意／尊重、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

構成主義的指導法、創造力、文学サークル

### ★ 学習到達目標

メッセージを伝えるシンボルの力を理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 14



↑ **1994年リレハンメル大会：**  
1994年冬季競技大会のエンブレムは、自然界の空と雪から発想を得て、オーロラ（北極光）、五輪、雪片をモチーフとしている。



← **1968年メキシコシティ大会：**  
このエンブレムは、オリンピック・リングと大会開催年を組み合わせられている。メキシコの先住民、ウィチョル族の伝統的な陶磁器やタバストリーのデザインにヒントを得ている。



「オリンピズムの目的は、  
人間の尊厳の保持に重きを置く  
平和な社会の推進を目指すために、  
人類の調和のとれた発展に  
スポーツを役立てることである」

オリンピック憲章



↑ 2014年ソチ大会：アルペンスキー男子滑降の花セレモニーの表彰台上で称え合う銀メダリスト、クリストフ・インネルホファー（イタリア）と金メダリスト、マティアス・マイヤー（オーストリア）

## セクション3

# スポーツとオリンピック 競技大会を通じて オリンピズムを伝える

本セクションでは、社会にオリンピズムを奨励し実行する組織とイベントに目を向ける。

オリンピック・ムーブメント	56
オリンピック・ミュージアムとオリンピック研究センター	58
オリンピック競技プログラム	60
ユースオリンピック競技大会（YOG）	62
障壁を突破する：オリンピック競技大会における女性	65
パラリンピック競技大会：「スピリット・イン・モーション」	68
世界を歓迎する—オリンピック競技大会の開催	70
オリンピック競技大会の開催都市	72
オリンピック村	73
オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発	74
オリンピック競技大会の課題を克服する	77



# オリンピック・ムーブメント

オリンピック・ムーブメントとは、スポーツおよびオリンピズムの基盤を構成する考えや価値に取り組み、尽力する組織、オリンピック競技大会組織委員会、団体、個人のネットワークである。

## 話し合う

オリンピック競技大会とオリンピック・ムーブメントは、なぜ世界各地の多くの異なる国や文化を魅了するのでしょうか？その理由は何だと思えますか？

## 国際オリンピック委員会 (IOC)

国際オリンピック委員会はオリンピック競技大会の組織運営を監督し、オリンピック関連のスポーツ、文化、教育の各活動を調整する。IOC委員はスポーツに貢献した影響力のある人物が務める。これらの人々は、各人の国でIOCの代表として活動する。

IOC委員は政府の代表ではない。IOC委員は時として、複数の国でIOCの代表を務めることがある。IOC委員は選手を代表する者もいるし、国際競技連盟から選出される委員もいる。IOC委員の定員は115名で、この中には名誉委員と名誉委員は含まれない。委員は年に1回、IOC総会で一堂に会する。

## 国内オリンピック委員会 (NOC)

オリンピック競技大会の開会式では、世界200余りの国と地域の選手がそれぞれの旗に続いて行進する。これらの国と地域には国内オリンピック委員会(NOC)が存在する。各国と地域のNOCは、それぞれの国または地域の選手団に加え、領域内でのオリンピック・ムーブメントの価値の振興と奨励を行う責任を持つ。

## オリンピック競技大会組織委員会 (OCOG)

投票により選ばれたオリンピック開催都市が最初に行うのがOCOGの設置である。OCOGは、専門家およびボランティアの集団で構成され、その人数は絶え間なく増加する。これらの専門家とボランティアはこの先7年間にわたりオリンピック競技大会のあらゆる面を計画し、施設を建設し、スポーツや文化的なイベントを開催し、何千人もの選手や観戦者およびメディアを迎えるための準備を整えていく。OCOGはまた、オリンピック競技大会の開催費用の確実な調達についても責任を持つ。また、国際パラリンピック委員会の監督のもと、オリンピック競技大会の10日後から行われるパラリンピック競技大会を開催する責任も持つ。

## 国際競技連盟 (IF)

オリンピック競技の規則とプロトコル(儀礼上の決めごと)は、各選手の出身国や地域にかかわらず、同様に適用されなければならない。つまり、各競技は国際競技連盟(IF)の規則に従う。現在、夏季競技のIFは28団体、冬季競技のIFは7団体ある。IFはオリンピック競技大会において各競技の専門的分野および競技の管理に携わる責任を持つ。IFはまた、オリンピック憲章に則り、オリンピック競技大会への参加資格を決定し、IOCと協働してドーピングとの戦いに取り組む。

## IOC 専門委員会

IOC専門委員会は、特定の問題の精査と検討に責任を持ち、IOC会長に助言し、IOC理事会に提言を行う作業部会である。IOC専門委員会は以下の通りである。2022調整委員会、2024評価委員会、アスリート・アントラージュ、監査委員会、コミュニケーション、第3回夏季ユースオリンピック競技大会(2018/ブエノスアイレス)調整委員会、第3回冬季ユースオリンピック競技大会(2020/ローザンヌ)調整委員会、第31回オリンピック競技大会(2016/リオ)調整委員会、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)調整委員会、第23回オリンピック冬季競技大会(2018/平昌)調整委員会、文化・オリンピックヘリテージ委員会、代議員、倫理、評価、財務、IOC委員選挙、WADA常任理事会および理事会におけるIOC代表、法務、マーケティング、医療および科学、オリンピック・チャンネル、オリンピック・チャンネル・サービス、オリンピック教育、オリンピック競技大会調整、オリンピック・プログラム、オリンピック・ソリダリティー、広報およびスポーツ選手を通じた社会的発展、アスリート、スポーツと活動的社会、持続可能性とレガシー、女性のスポーツ振興、ユースオリンピック競技大会の調整。

## オリンピック・スポンサー

オリンピック・ムーブメントは、オリンピック競技大会の放映権をメディア関連企業に売ることによって資金の大半を調達している。また、TOP(オリンピック・パートナー)スポンサーのプログラムを通じて、複数の多国籍企業からの支援も受けている。調達した資金はごく一部を除いてNOCとOCOGおよびIFを通じて各競技に配分される。

# オリンピックの世界

スポーツの普遍性とオリンピズムの価値は、以下の国と地域の国内オリンピック委員会の活動を通じて支持されている。

## アフリカ大陸

アルジェリア (ALG)  
 アンゴラ (ANG)  
 ベニン (BEN)  
 ボツワナ (BOT)  
 ブルキナファソ (BUR)  
 ブルンジ (BDI)  
 カメルーン (CMR)  
 カーボベルデ (CPV)  
 中央アフリカ共和国 (CAF)  
 チャド (CHA)  
 コモロ (COM)  
 コンゴ (CGO)  
 コンゴ民主共和国 (COD)  
 ジブチ (DJI)  
 エジプト (EGY)  
 赤道ギニア (GEQ)  
 エリトリア (ERI)  
 エチオピア (ETH)  
 ガボン (GAB)  
 ガンビア (GAM)  
 ガーナ (GHA)  
 ギニア (GUI)  
 ギニアビサウ (GBS)  
 コートジボワール (CIV)  
 ケニア (KEN)  
 レソト (LES)  
 リベリア (LBR)  
 リビア (LBA)  
 マダガスカル (MAD)  
 マラウイ (MAW)  
 マリ (MLI)  
 モーリタニア (MTN)  
 モーリシャス (MRI)  
 モロッコ (MAR)  
 モザンビーク (MOZ)  
 ナミビア (NAM)  
 ニジェール (NIG)  
 ナイジェリア (NGR)  
 ルワンダ (RWA)  
 サントメ・プリンシペ (STP)  
 セネガル (SEN)  
 セーシェル (SEY)  
 シエラレオネ (SLE)  
 ソマリア (SOM)  
 南アフリカ (RSA)  
 南スーダン (SSD)  
 スーダン (SUD)  
 スワジランド (SWZ)  
 タンザニア連合共和国 (TAN)  
 トーゴ (TOG)  
 チュニジア (TUN)  
 ウガンダ (UGA)  
 ザンビア (ZAM)  
 ジンバブエ (ZIM)

## アメリカ大陸

アンティグア・バーブーダ (ANT)  
 アルゼンチン (ARG)  
 アルバ (ARU)  
 バハマ (BAH)  
 バルバドス (BAR)  
 ベリーズ (BIZ)  
 バミューダ (BER)  
 ボリビア (BOL)  
 ブラジル (BRA)  
 英領バージン諸島 (IVB)  
 カナダ (CAN)  
 ケイマン諸島 (CAY)  
 チリ (CHI)  
 コロンビア (COL)  
 コスタリカ (CRC)  
 キューバ (CUB)  
 ドミニカ (DMA)  
 ドミニカ共和国 (DOM)  
 エクアドル (ECU)  
 エルサルバドル (ESA)  
 グレナダ (GRN)  
 グアテマラ (GUA)  
 ガイアナ (GUY)  
 ハイチ (HAI)  
 ホンジュラス (HON)  
 ジャマイカ (JAM)  
 メキシコ (MEX)  
 ニカラグア (NCA)  
 パナマ (PAN)  
 パラグアイ (PAR)  
 ペルー (PER)  
 プエルトリコ (PUR)  
 セントクリストファー・ネーヴィス (SKN)  
 セントルシア (LCA)  
 セントビンセント及びグレナディーン諸島 (VIN)  
 スリナム (SUR)  
 トリニダード・トバゴ (TTO)  
 アメリカ合衆国 (USA)  
 ウルグアイ (URU)  
 米領バージン諸島 (ISV)  
 ベネズエラ (VEN)

## アジア大陸

アフガニスタン (AFG)  
 バーレーン (BRN)  
 バングラデシュ (BAN)  
 ブータン (BHU)  
 ブルネイ・ダルサラーム国 (BRU)  
 カンボジア (CAM)  
 中華人民共和国 (CHN)  
 チャイニーズタイペイ (TPE)

朝鮮民主主義人民共和国 (PRK)  
 香港 (HKG)  
 インド (IND)  
 インドネシア (INA)  
 イラク (IRQ)  
 イラン・イスラム共和国 (IRI)  
 日本 (JPN)  
 ヨルダン (JOR)  
 カザフスタン (KAZ)  
 大韓民国 (KOR)  
 クウェート (KUW)  
 キルギス (KGZ)  
 ラオス人民民主共和国 (LAO)  
 レバノン (LIB)  
 マレーシア (MAS)  
 モルディブ (MDV)  
 モンゴル (MGL)  
 ミャンマー (MYA)  
 ネパール (NEP)  
 オマーン (OMA)  
 パキスタン (PAK)  
 パレスチナ (PLE)  
 フィリピン (PHI)  
 カタール (QAT)  
 サウジアラビア (KSA)  
 シンガポール (SIN)  
 スリランカ (SRI)  
 シリア・アラブ共和国 (SYR)  
 タジキスタン (TJK)  
 タイ (THA)  
 東ティモール民主共和国 (TLS)  
 トルクメニスタン (TKM)  
 アラブ首長国連邦 (UAE)  
 ウズベキスタン (UZB)  
 ベトナム (VIE)  
 イエメン (YEM)

## ヨーロッパ大陸

アルバニア (ALB)  
 アンドラ (AND)  
 アルメニア (ARM)  
 オーストリア (AUT)  
 アゼルバイジャン (AZE)  
 ベラルーシ (BLR)  
 ベルギー (BEL)  
 ボスニア・ヘルツェゴビナ (BIH)  
 ブルガリア (BUL)  
 クロアチア (CRO)  
 キプロス (CYP)  
 チェコ共和国 (CZE)  
 デンマーク (DEN)  
 エストニア (EST)  
 フィンランド (FIN)

フランス (FRA)  
 ジョージア (GEO)  
 ドイツ (GER)  
 英国 (GBR)  
 ギリシャ (GRE)  
 ハンガリー (HUN)  
 アイスランド (ISL)  
 アイルランド (IRL)  
 イスラエル (ISR)  
 イタリア (ITA)  
 コソボ (KOS)  
 ラトビア (LAT)  
 リヒテンシュタイン (LIE)  
 リトアニア (LTU)  
 ルクセンブルク (LUX)  
 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 (MKD)  
 マルタ (MLT)  
 モルドバ共和国 (MDA)  
 モナコ (MON)  
 モンテネグロ (MNE)  
 オランダ (NED)  
 ノルウェー (NOR)  
 ポーランド (POL)  
 ポルトガル (POR)  
 ルーマニア (ROU)  
 ロシア連邦 (RUS)  
 サンマリノ (SMR)  
 セルビア (SRB)  
 スロバキア (SVK)  
 スロベニア (SLO)  
 スペイン (ESP)  
 スウェーデン (SWE)  
 スイス (SUI)  
 トルコ (TUR)  
 ウクライナ (UKR)

## オセアニア

米領サモア (ASA)  
 オーストラリア (AUS)  
 クック諸島 (COK)  
 ミクロネシア連邦 (FSM)  
 フィジー (FIJ)  
 グアム (GUM)  
 キリバス (KIR)  
 マーシャル諸島 (MHL)  
 ナウル (NRU)  
 ニューゼーランド (NZL)  
 パラオ (PLW)  
 パプアニューギニア (PNG)  
 サモア (SAM)  
 ソロモン諸島 (SOL)  
 トンガ (TGA)  
 ツバル (TUV)  
 バヌアツ (VAN)



# オリンピック・ミュージアムと オリンピック研究センター

IOC 本部（スイス、ローザンヌ）の近くに位置するオリンピック・ミュージアムとオリンピック研究センターは、オリンピック・ムーブメントの教育拠点である。

ミュージアムとオリンピック研究センターの設置を構想したのは、19世紀にオリンピック競技大会を復活させたフランス人、ピエール・ド・クーベルタン男爵である。何よりもまず教育者であったクーベルタンは、オリンピック・ムーブメントは教育的な目的を追求しなければならないと考えていた。クーベルタンは「私はまだ目的を達成できていない。オリンピック研究に関するセンターがあれば、それは何にもまして私の仕事を保存し、前進させることに役立つと信じている」と記している。

ピエール・ド・クーベルタンはローザンヌに IOC 本部が置かれた数年後に、オリンピック競技大会に関する遺産（レガシー）を収集し、保存するためのオリンピック・ミュージアムの原形をヴィラ・モン・ルポに設置した。オリンピック・ミュージアムは1982年6月23日にローザンヌの中心部（ルシヨネ通り）に開館し、同年10月11日には同ミュージアムの2階に図書館とオリンピック研究センター（OSC）が開設された。

オリンピック・ミュージアムと OSC は1993年からはレマン湖に面したウシーに置かれ、現在に至っている。OSC は現在、図書館、大学関係部門、歴史アーカイブ部門、研究・レファレンス・サービス部門で構成されている。オリンピックに関わる参考文献や情報は全て、各部門が保管・管理している。

OSC は、オリンピック・ムーブメントとオリンピック競技大会に関わる文書と視聴覚情報を保存する世界有数の機関である。近年大規模な改修が行われたオリンピック・ミュージアムでは、インタラクティブな展示が常設されているほか、定期的に特別展が開かれている。また、学校向けのプログラムも積極的に実施している。

## アクティビティシート 15

### オリンピック・ミュージアム

オリンピック教育のテーマ：

努力から得られる喜び、バランス、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、他者への敬意

学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

探究、ソクラテス式問答法、創造力、コラボレーション、問題解決、ジグソー学習、回転木馬式学習、共有の輪式学習、マルチメディアを活用した発表

### ★ 学習到達目標

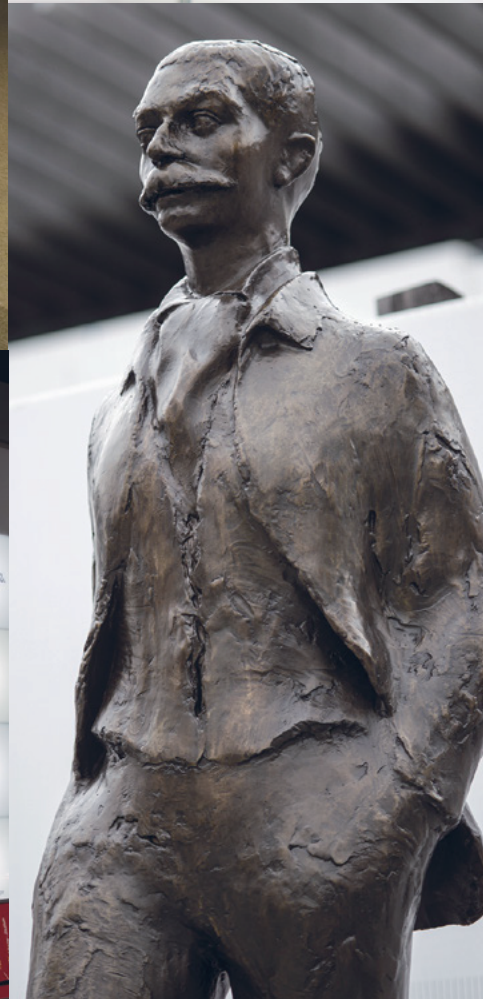
オリンピック・テーマを体験し、刺激を受ける。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 15



セクション3：スポーツとオリンピック競技大会を通じてオリンピズムを伝える



↑ ローザンヌのオリンピック・ミュージアム。左上から時計回りに、2012年ロンドン大会のオリンピック休戦を願う壁、オリンピックのフィギュアスケートで優勝したソニア・ヘニーのサイン入りスケート靴、彫刻家ジャン・カルドによるピエール・ド・クーベルタン像、常設展示のオリンピック競技大会ピクトグラム



# オリンピック競技プログラム

オリンピック競技プログラムは、定期的に新しい競技を追加しながら、歳月をかけて発展しつづけている。IOC 承認の国際競技連盟が統括する競技のみがオリンピック・プログラムに採用される。



↑ 2012年ロンドン大会、男子トライアスロン：アリスティア・ブラウンリー（イギリス）を追うハビエル・ゴメス（スペイン）と弟のジョナサン・ブラウンリー

## 競技プログラム： 2016年リオ大会

- 水泳
- アーチェリー
- 陸上競技
- バドミントン
- バスケットボール
- ボクシング
- カヌー
- 自転車
- 馬術
- フェンシング
- サッカー
- ゴルフ
- 体操
- ハンドボール
- ホッケー
- 柔道
- 近代五種
- ボート
- ラグビー
- セーリング
- 射撃
- 卓球
- テコンドー
- テニス
- トライアスロン
- バレーボール
- ウエイトリフティング
- レスリング

## 話し合う

- あなたの国で人気のあるオリンピック競技は何ですか？あなたの国で行われる競技で、これらの競技に似ている、または基となっている競技はありますか？
- オリンピック競技には採用されていないが、あなたの国で人気がある伝統的なスポーツは何ですか？
- 現在オリンピック・プログラムに採用されていない競技が見つかったら、その競技のオリンピック・プログラムへの採用計画について考えてみましょう。
- 元々オリンピックで行われている競技から最近採用された競技まで、年代順に並べた競技種目の表を作成しなさい。

↓ 2008年北京大会：チンタオ・オリンピック・セーリング・センターで行われたセーリングのフィン級で競技するハリス・パドプーロス（キプロス）、ベン・エイズリー（イギリス）、ティム・グッドボディ（アイルランド）



 読む

スケートやスキーなどの冬季競技は、冬の気温が低く、水が氷となり雨が雪になる地域で人気が高い。寒い国々では子どものみならず大人にとっても、氷上を滑ったり雪に覆われた勾配をスキーやそりで滑ったり飛び越えたりするのは楽しいものだ。オリンピック憲章では、「オリンピック冬季競技大会のプログラムに含まれることができるのは、少なくとも25カ国3大陸で行われている競技のみとする」と定められている。

競技プログラム：  
2014年ソチ大会

- バイアスロン
- ボブスレー
- カーリング
- アイスホッケー
- リュージュ
- スケート
- スキー



↑ 2014年ソチ大会：スノーボード女子パラレル回転で競技するジュリア・デモビッツ（オーストリア）




↑ 2010年バンクーバー大会：アイスホッケー男子決勝戦のアメリカ対カナダ戦でゴールを許すカナダのゴールキーパーのロベルト・ルオンゴ

アクティビティ  
シート 16


オリンピック競技プログラム

オリンピック教育のテーマ：  
バランス、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、他者への敬意、努力から得られる喜び

学習活動の提案：  
5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

 指導法および  
学習スキルの提案

構成主義的指導法、探究、討論劇、質疑応答、ラウンドテーブル式学習、エントリーカード、エグジットカード

 学習到達目標

- 国によって異なるスポーツが楽しまれていることを理解する。
- オリンピック競技プログラムは、スポーツの多様性を受け入れるために年月とともに変化していることを明確に理解する。

 ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 16





# ユースオリンピック競技大会 (YOG)

ユースオリンピック競技大会 (YOG) は、15-18 歳の選手が参加して複数の競技が行われる最高水準の世界的な大会である。競技大会には教育と文化プログラムが組み入れられており、参加者がオリンピックの価値に基づいて生き、真のオリンピズム・アンバサダーとなれるよう喚起している。



第1回 YOG は 2010 年夏にシンガポールで開催され、2年後にはインスブルックでユースオリンピック冬季競技大会が開かれた。さらに2年後の 2014 年には南京で第2回夏季大会が行われた。2016 年にはリレハンメルで冬季大会が開催された。今後は、2018年にアルゼンチンのブエノスアイレス(夏季)、2020年にスイスのローザンヌ(冬季)で開催される。

YOG は当初から、スポーツイベント以上の目的を持っている。同大会では、世界各地の若者が一堂に会し、大会期間中、教育および文化と競技能力が融合した豊かな環境に身を置く。参加者は各競技で競い合うことはもとより、選手の

キャリアにおける重要なスキルを学び、オリンピックの価値を体感するワークショップに参加する機会を得る。

↓ 2012年インスブルック大会：手にプリントした YOG エンブレムを見せる2人の参加者



## 関連情報

- 第1回ユースオリンピック夏季競技大会（YOG）は2010年にシンガポールで、第1回ユースオリンピック冬季競技大会は2012年にインスブルックでそれぞれ開催された。
- YOGには、スポーツと文化・教育（CEP: Culture and Education Programme）という、等しく重要な2つのプログラムがある。
- YOGの参加選手は競技により、15-16歳、16-17歳、17-18歳の3つの年齢グループに分かれて競い合う。
- 2010年シンガポール大会では各NOCに対し4名分の「ユニバーシティ枠」が保証された。
- 団体戦では、シンガポール大会で実施された種目のうち5%は男女混合および／またはNOC混合だった。
- 冬季YOGでは7競技が実施される。
- YOGは冬季大会が約10日、夏季大会は約12日にわたって開催される。
- 夏季YOGでは26競技が実施される。
- 2010年シンガポール大会には205のNOCが招待された。
- 冬季YOGの2016年リレハンメル大会には1,100人の選手が参加した。
- 夏季YOGの2014年南京大会には3,800人の選手が参加した。



↓ 2016年リレハンメル大会：学びと共有に焦点を当てる「Learn & Share フォーカス・デー」。オリンピック・ソリダリティーのブースでロープによる障害物コースを潜り抜けようと奮闘する少年

ユースオリンピック競技大会（YOG）



↑ 2014年南京大会：女子トライアスロンで金メダルを獲得したブリタニー・ダットン（オーストラリア）を称える銀メダリストのステファニー・ジェンクス（米国）と銅メダリストのエミリー・モリエ（フランス）

## YOG DNA

ユースオリンピック競技大会（YOG）のDNAの核には、若者の精神とダイナミズムが存在する。そのDNAは以下の通りである。

- スポーツには、友情を築く固有の力がある。
- YOGは、知らない文化、豊かな伝統、異なる価値について参加者の学びを支援する。
- YOGは、参加者が競技で最善を尽くすことを促す。
- YOGは、若者がオリンピックの価値を伝えるエネルギーと情熱にあふれた親善大使になり、それぞれのコミュニティの他の若者にもオリンピックの価値が広がることを確信している。
- YOGは、新しい独創的なアイデアが生まれるプラットフォームとなる。

## YOG 競技プログラム

国際競技連盟の革新を進んで受け入れること、これはYOGの特徴的な側面である。各競技連盟は新種目や競技形式（国際チームや男女混合チーム、選手数の制限など）を提案することができる。たとえば、2014年南京大会では5人制ホッケーが、2016年リレハンメル大会ではモノボブ（1人乗りボブスレー）が行われた。競技プログラムに含まれていない競技も、学びと共有（L&S: Learn & Share）の活動の一環として紹介される機会がある。2014年南京大会のスポーツラボでは、スケートボードとローラースポーツ、スポーツクライミング、武術太極拳が行われた。YOGの競技プログラムは、開催都市が会場およびインフラに応じて競技を入れ替えられるよう、柔軟なものとなっている。





## 学びと共有

YOGにおける学びと共有のアクティビティは5つの鍵となるテーマに基づいて構成されている。

- **オリンピズム**
- **スキル開発**
- **ウェルビーイング (健康で安心な状態) と健康的なライフスタイル**
- **社会的責任**
- **表現**

ユースオリンピック競技大会組織委員会 (YOGOC) はIOCとともに、双方向で革新的な学びと共有のアクティビティを計画する。こうした活動を通じて5つのテーマがワクワクする印象深い体験へと変化する。学びと共有のアクティビティは、大会開催期間中に実施される。選手に加え、コーチや開催地域の若者なども参加する。組織委員会には上述の目的とテーマを尊重した上で、こうしたアクティビティを開催する柔軟性と自由が与えられている。

並行して、IOCはYOGの前後および開催期間中に、若者の参加者にオリンピックの価値を奨励する一連のプログラムを設けている。こうしたプログラムには以下のものが含まれる。

- **YOG アンバサダー**— YOG アンバサダーは、YOGの認知度を高め、若年層の観客に訴える力のある世界的に有名なエリート選手から選ばれる。YOG アンバサダーは、競技大会に先駆けて活動に参加し、世界各地の若者にスポーツに積極的に参加することを奨励する。
- **アスリート・ロールモデル (ARM)** — YOG選手の模範となるアスリート・ロールモデルは、現役または引退して間もないアスリートの中から国際競技連盟が指名する。こうしたアスリートらは競技大会中、学びと共有のアクティビティの一環として自らの体験と助言を選手と共有する。国際競技連盟は、指名したアスリート・ロールモデルたちをスポーツの紹介活動などにも従事させる。
- **ヤング・アンバサダー**— ヤング・アンバサダーは、国内オリンピック委員会 (NOC) が指名するスポーツに関心があり意欲にあふれる18歳から25歳までの若者が務める。ヤング・アンバサダーはNOC選手団の一員として大会に参加し、YOG精神を広めて、選手が学びと共有のアクティビティに参加するのを奨励する。
- **ヤング・リポーター**— ヤング・リポーターは、ジャーナリストを志す18歳から24歳までの若者で、スポーツジャーナリズムのトレーニングプログラムのために大会に参加する。リポーターは各NOCによって推薦され、YOGを通じて専門のトレーナーおよびジャーナリストと連携して活動する。プログラムは、写真撮影、執筆、放送から構成されている。YOG夏季競技大会のヤング・リポーター・プログラムに参加した上位15名のジャーナリストは次回のYOG冬季競技大会に招待され、さらに経験を積んでスキルを生かす機会が与えられる。

## アクティビティシート 17

### ユースオリンピック競技大会 (YOG)

#### オリンピック教育のテーマ：

バランス、卓越性の追求 (向上心)、フェアプレー、他者への敬意、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳 (小学生) から15～18歳 (高校生) までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

構成主義的指導法、探究、討論劇、質疑応答、ラウンドテーブル式学習、エントリーカード、エグジットカード

#### ★ 学習到達目標

- 若者がオリンピズムを取り入れる方法としてユースオリンピック競技大会の重要性を明確に理解する。
- 選手がいかにアンバサダーとなり、社会的責任を自覚し、担うかを学習する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 17



↑ ワールドカルチャービレッジ (世界文化村) 内の活動に参加する若い選手



「人種、宗教、政治、性別、その他の理由に基づく国や個人に対する差別はいかなる形であれオリンピック・ムーブメントに属する事とは相容れない。」

—オリンピック憲章 根本原則5

## 障壁を突破する： オリンピック競技大会における女性

第1回の近代オリンピック競技大会以降、女性とスポーツに関する考えは徐々に変化してきた。IOCは女性がスポーツや身体活動に参加することを積極的に奨励している。本セクションではオリンピック・チャンピオンに輝いた女性たちの物語を取り上げる。

障壁を突破する…オリンピック競技大会における女性



↑ 2014年ソチ大会：アイス・キューブ・カーリング・センターで行われた女子カーリングの準決勝でカナダとプレーするアンナ・スローン（イギリス）

ギリシャで開催された第1回近代オリンピック競技大会から4年後の1900年パリ大会で、女性は初めて公式にオリンピック競技大会に参加した。

ビエール・ド・クーベルタンは女性の参加に反対だったが、パリ大会に参加した全選手997名のうち22名は女性だった。女性選手らはテニスとセーリング、クリケット、馬術、ゴルフの5競技に参加した。1970年以降、オリンピック競技大会に参加する女性の数は急増した。今日、オリンピック競技大会で競技する選手の4割強は女性で、IOCはオリンピック・プログラムに女子種目を引き続き追加している。1991年以降、オリンピック・プログラムへの追加を提案する競技は全て、女子種目も採用しなければならないとされている。

### アクティビティシート 18

#### 障壁を突破する：スポーツにおける女性

オリンピック教育のテーマ：

バランス、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、他者への敬意、努力から得られる喜び

学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応



ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 18

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

ロールプレイ法、探究、討論劇、日記、思考日記、ブログ、ビデオブログ

#### ★ 学習到達目標

- オリンピック競技大会の歴史上、女子／女性は男性と同等の機会を与えられていなかったことを理解する。
- IOCの取り組みを通じて、現在、女性には均等の機会が与えられており、この原則はオリンピック憲章（根本原則の6）にも明記されていることを理解する。



ガブリエラ・サバティエニ（アルゼンチン）

アルゼンチンのテニスプレーヤー、ガブリエラ・サバティエニは3度、世界ランキング3位に入った。1996年の現役引退後は、競技に注いだ体力とエネルギーを「テニスが与えてくれた多くのことの一部でも恩返しすること」に費やした。サバティエニはアルゼンチン・テニス連盟を通じて若手選手の育成プログラムに全額出資した。また、公には知られていないことだが、女子テニストーナメントや幼児のための無料テニススクールの資金も提供している。



女子サッカーの日本代表チーム

なでしこジャパンの愛称で知られる女子サッカーの日本代表チームは、日本の女子サッカーをはじめ、女子スポーツを取り巻く環境に大きな変化をもたらしている。日本中が津波と原発事故によって失われた命を嘆き悲しんでいた時、日本代表チームは2011 FIFA女子ワールドカップで優勝し、その後、2012年ロンドン大会への出場資格を得た。

また、なでしこジャパンのベテラン選手は日本各地で指導研修を行い、女子サッカーの普及と次世代の代表選手の育成に尽力した。こうした活動は多くのメディアで取り上げられ、サッカーをはじめとする日本の女子スポーツに良い影響をもたらしている。



テグラ・ロルーベ（ケニア）

テグラ・ロルーベ（2011年IOC女性とスポーツ賞の大賞受賞）は貧しい立ちを克服した国際スポーツの象徴的な人物となり、母国ケニアをはじめとする多くの国の女性のロールモデルとなった。女子マラソン元世界記録保持者でオリンピック選手、さらにアフリカ人女性として初めてニューヨークマラソンを制したロルーベは多くの女性を勇気づけた。また、ロルーベの謙虚さと辛抱強さ、ひたむきな努力と団結心も多くの共感を得た。自らの資金を投じて、紛争が続く東アフリカ3カ国の女性およびコミュニティを支援し、力を与え、教育することを目的としたテグラ・ロルーベ平和基金を設立した。同基金は多くのレースを開催しており、参加する女性と女兒は回を重ねるごとに増加し、物理的、社会的そして経済的な力を与えている。同基金は女性と女兒が国内および国際的な競技大会に参加するためのトレーニングやコーチからの指導を受ける機会も創出している。ロルーベはまた、スポーツの運営管理の分野で女性を支援する取り組みも指揮している。



ザーラ・ネマティ（イラン）

ザーラ・ネマティは2012年ロンドンパラリンピック競技大会のアーチェリーで金メダルを獲得し、イラン人女性としてオリンピックとパラリンピックを通じて初の金メダリストとなった。ロンドンで表彰台に上がったザーラはイランで多くのメディアから取材を受け、障がい者に対する認識を変えただけでなく、多くの女性にスポーツに参加する勇気を与えた。1985年4月生まれのザーラはテコンドーの黒帯保持者だが、2004年に事故で脊髄を損傷した。事故の2年後、大学生だったザーラはアーチェリーを始め、障がいによって競技能力が制約されないことを示した。2011年にイタリアで開催されたアーチェリー世界選手権大会で、ザーラは4距離からの合計点で争う種目と30mの種目でそれぞれ世界記録を更新した。2012年ロンドン大会ではパラリンピック記録を更新し、個人金メダルに加えて団体でも銅メダルを獲得した。優れた競技成績に加えて、強い意志、勇気、自発性を備えたザーラはイラン社会におけるロールモデルとして、障がいのある人々に対する理解に変化をもたらすきっかけを与えた。ザーラの功績により、イランのパラ・アーチェリー競技人口も増加した。同氏は2013年にスピリット・オブ・スポーツ個人賞（Spirit of Sport Individual Award）を受賞した。





キャシー・フリーマン (オーストラリア)

キャシー・フリーマンは、クイーンズランド州マッカイで生まれた。8歳の時、学校の陸上競技大会で人生初の金メダルを獲得した。オーストラリア先住民アボリジニのフリーマン一家は貧しく、多くのアボリジニ同様、白人から差別を受けていた。小学校の競技会で多くの勝利を収めていたフリーマンだが、ある時レースで自分に負けた白人の少女たちがトロフィーを受け取る姿を目の当たりにするということもあった。フリーマンは1989年まで義父のブルース・バーバーから指導を受け、一家はフリーマンがシドニーやキャンベラ、メルボルンで開催される競技大会に参加するための費用を懸命に貯めた。その後、コーラルビン・インターナショナル・スクールから奨学金を獲得したキャシーは、マイク・ダニラから専門的な指導を受けることとなり、一家も1989年にキャシーの住むブリスベンへと移住した。

現在、フリーマンは自ら設立したキャシー・フリーマン財団の理事長を務め、先住民と非先住民の子どもの教育格差の縮小に尽力している。

## 話し合う

- 若い女性がオリンピックのチャンピオンとなるのが難しいのには、多くの理由があります。その理由について話し合みましょう。
- 以前は、女性はマラソン競技のような長距離を走ることができなると考えられていました。オリンピック競技大会では1984年まで、女子マラソンが種目として存在していませんでした。ジョーン・ベノイト（米国）はマラソン競技での世界初の女性金メダリストとなりました。なぜ、女性はマラソンの距離を走ることができなると考えられていたと思いますか？
- あなたの地域社会または国は、女性や女兒の身体活動への参加を支援していますか？なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？女兒もスポーツや身体活動に参加し、競技をするべきだと思いますか？なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？
- 自身の地域社会にいる女性選手にインタビューしましょう。選手にとって、なぜ競技は重要なのか、どのような障壁を克服しなければならなかったか、どのようにして、こうした障壁を克服したのか、また特別な支援を受けたかについて聞きなさい。



カリーナ・フォークト (ドイツ)

ドイツのカリーナ・フォークトは、ワールドカップでは一度も優勝経験がないにもかかわらず、2014年ソチ大会、オリンピック女子スキージャンプで金メダルを獲得する偉業を成し遂げた。

男子スキージャンプが初めて行われた1924年冬季競技大会から90年後の2014年ソチ大会から、女子スキージャンプは公式競技となった。

スタマタ・レヴィチ (ギリシャ)

スタマタ・レヴィチは、1896年の夏季オリンピック競技大会で40キロマラソンに参加したギリシャ女性だ。競技大会から女性は排除されていたが、レヴィチは走ることを認めるべきだと主張した。レヴィチは男子の公式レースが行われた翌日に走り、約5時間30分で完走した。その記録を立証し、署名してくれる証人を見つけていたにもかかわらず、レースの最後となるパナシナイコスタジアムへの入場は許されなかった。レヴィチは自身の功績が承認されることに一縷の望みをかけてギリシャ・オリンピック委員会に記録を提出しようと試みたとされるが、実際に提出されたかどうかは明らかではない。その後のレヴィチの生涯に関する記録は残っていない。

現在の資料によれば、別な女性「メルボメネ」も1896年大会でマラソンを走った。レヴィチとメルボメネが同一人物かどうかをめぐっては、オリンピック史研究者の間でも議論が分かれている。



# パラリンピック競技大会： 「スピリット・イン・モーション」

国際パラリンピック委員会 (IPC) は、障がいのあるアスリートがスポーツでの卓越性を実現し、世界に刺激を与え興奮させるというビジョンのもと、パラリンピック競技大会を組織運営・調整する。

パラリンピック競技大会は、さまざまな障がいのある選手のためのエリートスポーツの大会である。パラリンピックでは、参加する選手の障がいではなく競技における達成に重点が置かれている。2012年ロンドン大会以降、開催都市はオリンピック競技大会の閉会式から1カ月以内にパラリンピック競技大会を開催することが義務付けられている。

## 話し合う

- 国際パラリンピック委員会は「スピリット・イン・モーション」をモットーとしています。これは優れたモットーだと思いますか？なぜ、そう思いますか？
- パラリンピック選手はなぜ、私たちに刺激を与えてくれるのでしょうか？
- 「スピリット・イン・モーション」を表現するポスターを作りなさい。
- 以下の各引用文の意味について、自身の言葉で説明しなさい。

**「人生には二通りの生き方がある。四方を壁に囲まれた中に閉じこもって、現実から逃避して全てが消えてしまうことを祈るか、あるいはボクシングのグローブをはめて戦い、自分にできる最善の方法で人生を生き抜くかだ」**

リリアーナ・リュビシク (カナダ)、パラリンピック砲丸投げおよび円盤投げで4個のメダルを獲得

**「あらたな発見、それがすべてだ。水泳によってさまざま物事への扉が開いたこと、これが私にとっての発見だ。水泳が私に自由を与え、社会での居場所を与えてくれた」**

ベアトリス・エス (フランス)、パラリンピック競泳種目で25個のメダルを獲得



↑ 2012年ロンドン大会、オリンピック・スタジアム。女子走幅跳で跳躍するケリー・カートライト (オーストラリア)

## アクティビティシート 19

### パラリンピック競技大会： 「スピリット・イン・モーション」

#### オリンピック教育のテーマ：

バランス、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、他者への敬意、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

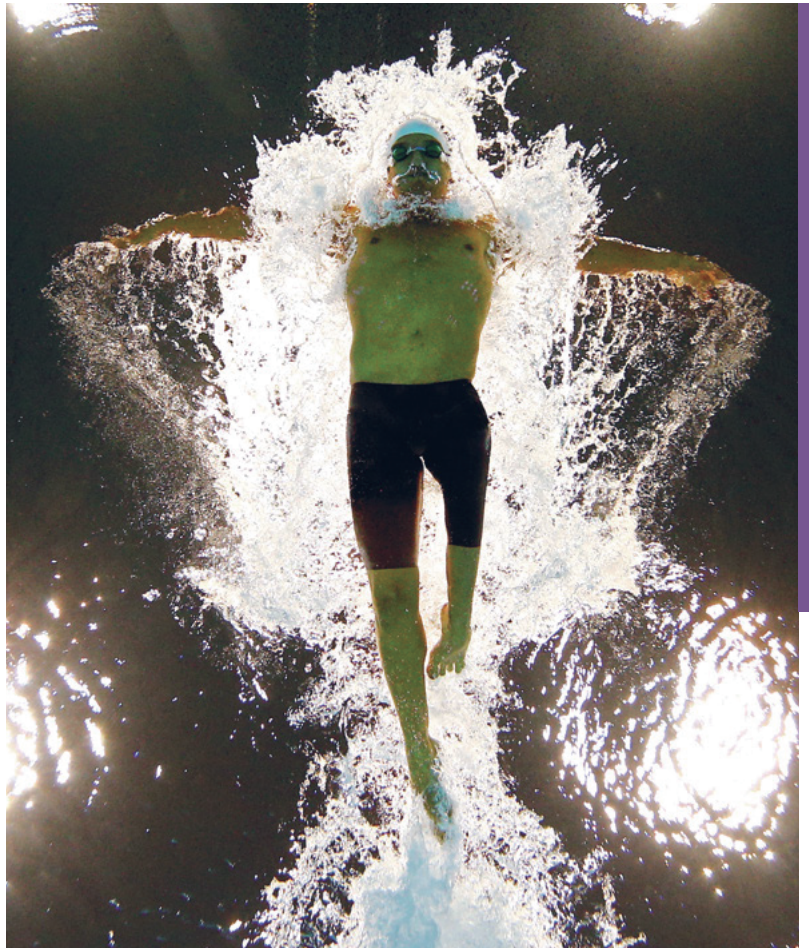
ソクラテス式問答法、体験学習

#### ★ 学習到達目標

障がいのある選手がどのように練習し、競技を行うかを理解する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 19



↑ 2012年ロンドン大会、アクアティック・センター。競泳男子100mバタフライで力泳するフェデリコ・モラッチ（イタリア）



↑ 2010年バンクーバー大会、ウィスラー・クリークサイド。女子スーパー大回転（立位）で滑走するアリソン・ジョーンズ（米国）



# 世界を歓迎する— オリンピック競技大会の 開催

開催都市はオリンピック競技大会を招致する上で、組織面、財政面で大きな責任を負う。本章ではオリンピック競技大会の開催にあたって必要となる事柄について考える。

## 📖 読む

### Let the Games begin! バンクーバーが2010年大会の開催都市に決定<sup>1</sup>

2003年7月2日の朝、赤白の洋服に身を包み声援を送る群衆に、バンクーバーが2010年オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催都市に決定したとの一報が届いた。ジャック・ロゲ IOC 会長が開催都市を発表したとき、バンクーバーの GM プレイスには歓声が沸き起こった。数千人もの群衆が飛び上がって喜びを分かち合い、カナダ国旗と白いタオルを振り続けた。その歓声は数分間も続いた…。



## 💬 話し合う

- 右側の写真から、人々はどんな気持ちだと思いますか？なぜ、多くの人々がそのように感じたのでしょうか？どのようなオリンピックの価値が示されていると考えますか？

## オリンピック競技大会の組織委員会の任務<sup>2</sup>

- 所要の競技施設、競技会場、スタジアムおよびトレーニング施設を選び、必要に応じて建設する。
- 必要な用具がすべて揃っていることを保証する。
- 環境および持続可能性の問題に注意を払う。
- プログラムの各競技を平等に扱い、それぞれの国際競技連盟（IF）の規則に従って競技が行われることを保証する。
- 選手とその支援団体および役員に宿泊施設を提供する。
- 医療サービスを用意する。
- 輸送物流を整える。
- 競技大会に関する情報の流れと取材が包括的かつ可能な限り高品質であることを保証するため、マスメディアのニーズを満たす。
- オリンピック競技大会の開催において不可欠な要素である文化・教育プログラムを実施する。
- 大会中に開催都市または近隣都市で政治的デモおよび集会が行われないことを保証する。
- IOC の2つの公式言語である英語とフランス語で公式の大会報告書を作成し、大会終了後2年以内に配布する。



## 読む

国際オリンピック委員会は、ブエノスアイレス（アルゼンチン）で行われた第125次IOC総会で、第32回オリンピック競技大会の開催都市に東京を選んだ。イスタンブールとマドリードも立候補していたが、2回目の投票で東京が勝ち取った。

2013年9月10日に12年の任期を終えて退任が予定されていたジャック・ロゲIOC会長（当時）は、次のように述べた。「2020年夏季オリンピックの開催都市は、東京に決まった。東京は招致段階の初期から技術面では非常に有利だったが、イスタンブールとマドリードとの競争は楽ではなかったはず。3都市とも2020年大会を開催することができただろうが、最終的にIOC委員の共感を最も多く得られたのが東京だった。オリンピックの価値を高め、同時に次の世代にスポーツの意義を伝えるために、総合的に良く練られた計画に基づく安全なオリンピックを開催するという『Discover Tomorrow～未来（あした）をつかもう』への招致だった。」

## 話し合う

- 下の写真の人々はどのような気持ちだと思いますか？
- 2012年大会の開催都市であるロンドンは、大会の計画および準備に向けてどのようなことを行いましたか？これらは大変な仕事だったと思いますか？その理由は？

## アクティビティシート 20

### オリンピック競技大会を開催する

#### オリンピック教育のテーマ：

バランス、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、他者への敬意、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

ソクラテス式問答法、探究、プロジェクト学習、創造力、パーソナライズ学習、コラボレーション、質疑応答、ラウンドテーブル式学習、マルチメディアを活用した発表

### ★ 学習到達目標

- オリンピック競技大会の開催都市がどのようにして選ばれるかを調べ、学ぶ。
- オリンピック競技大会によって、開催都市および国の文化にどのようにスポットを当てられるかを学ぶ。
- オリンピック競技大会の開催がどのように社会を変えるかを学ぶ。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 20

↓ 2020年オリンピック夏季競技大会の開催都市に決まったことを喜ぶ東京の人々





# オリンピック競技大会の開催都市

立候補都市について詳細にわたる評価を行った後、IOC 総会は夏季および冬季の競技大会を組織・運営、開催する権利を1都市に付与する。

オリンピック競技大会は夏と冬に行われ、それぞれ4年ごとに開催される。冬季競技大会では、雪上または氷上での競技が行われる。

## オリンピック競技大会の開催都市

開催年	都市名
1896	アテネ（ギリシャ）
1900	パリ（フランス）
1904	セントルイス（アメリカ）
1908	ロンドン（イギリス）
1912	ストックホルム（スウェーデン）
1916	戦争により中止
1920	アントワープ（ベルギー）
1924	パリ（フランス）
1928	アムステルダム（オランダ）
1932	ロサンゼルス（アメリカ）
1936	ベルリン（ドイツ）
1940	戦争により中止
1944	戦争により中止
1948	ロンドン（イギリス）
1952	ヘルシンキ（フィンランド）
1956	メルボルン（オーストラリア）、 ストックホルム（スウェーデン） 馬術
1960	ローマ（イタリア）
1964	東京（日本）
1968	メキシコシティ（メキシコ）
1972	ミュンヘン（西ドイツ）
1976	モントリオール（カナダ）
1980	モスクワ（ソ連）
1984	ロサンゼルス（アメリカ）
1988	ソウル（韓国）
1992	バルセロナ（スペイン）
1996	アトランタ（アメリカ）
2000	シドニー（オーストラリア）
2004	アテネ（ギリシャ）
2008	北京（中国）
2012	ロンドン（イギリス）
2016	リオデジャネイロ（ブラジル）
2020	東京（日本）

## オリンピック冬季競技大会の開催都市

開催年	都市名
1924	シャモニー（フランス）
1928	サン・モリッツ（スイス）
1932	レークプラシッド（アメリカ）
1936	ガルミッシュ・パルテンキルヘン（ドイツ）
1940	戦争により中止
1944	戦争により中止
1948	サン・モリッツ（スイス）
1952	オスロ（ノルウェー）
1956	コルチナ・ダンベッツォ（イタリア）
1960	スコパレー（アメリカ）
1964	インスブルック（オーストリア）
1968	グルノーブル（フランス）
1972	札幌（日本）
1976	インスブルック（オーストリア）
1980	レークプラシッド（アメリカ）
1984	サラエボ（ユーゴスラビア）
1988	カルガリー（カナダ）
1992	アルベールビル（フランス）
1994	リレハンメル（ノルウェー）
1998	長野（日本）
2002	ソルトレークシティ（アメリカ）
2006	トリノ（イタリア）
2010	バンクーバー（カナダ）
2014	ソチ（ロシア）
2018	平昌（韓国）
2022	北京（中国）

## ? 読む前の問いかけ

どのような都市がオリンピック夏季競技大会を開催できると思いますか？冬季競技大会についてはどう思いますか？あなたの近くにある都市でオリンピックを開催できるでしょうか？

## 📖 読む

もともと冬季競技はオリンピック・プログラムに含まれていなかった。冬の競技は多くの北国で人気が高く、オリンピック競技への採用が強く望まれていた。1924年、フランスのシャモニーで冬季競技週間が開かれた。国際オリンピック委員会（IOC）が支援した同大会は大成功を収め、IOCはこれを第1回オリンピック冬季競技大会と認めることに同意した。以来、オリンピック冬季競技大会は4年ごとに開催されている。当初、冬季大会は夏季大会と同じ年に開催されていた。現在、夏と冬の大会は2年間隔で行われている。

## ? 読む前の問いかけ

オリンピック村に滞在する人々にはどんなニーズがあると思いますか？選手にとっての特別なニーズとは何でしょうか？

# オリンピック村

オリンピック競技大会で、オリンピック村は重要な役割を果たしている。オリンピック村は参加する全ての国・地域の選手に宿泊、食事のほか、リラックスし、友好の精神のもとで一体となる場を提供する。

## 📖 読む

共に楽しみ、共に生活する：オリンピック村

オリンピック選手には競技するためのスタジアムが必要だが、食事や睡眠をとり、リラックスするための場所も必要だ。オリンピック村はそのために存在する。

オリンピック村では、各国ごとに居住スペースが割り当てられるが、共有の食堂およびレクリエーション・エリアもあり、全ての国・地域の人々が一緒に楽しむことができる。オリンピック村は食事と睡眠をとる場所に加え、選手が必要なものを購入できる商業施設や競技をしていないときに楽しむための娯楽の場も提供している。

想像してみよう！各国の間には言葉以外には、それぞれを隔てる国境も壁もない。戦争状態にあって敵対している国同士の選手でさえも、共に生活し、食事をし、楽しむことができる。

## 🗨️ 話し合う

オリンピック競技大会中、あなたはオリンピック村に滞在しているオリンピック選手だと仮定します。快適かつ安全と感じるためにはどのようなことが重要だと考えますか？どうすれば他の国の人々と友達になれると思いますか？友達になることは簡単だと思いますか？なぜそう思いますか、あるいはそう思いませんか？どのようなものを食べたいですか？

国際オリンピック委員会は、オリンピック村が存在することでより良い、さらに安全な世界が構築されると述べています。どのような理由から、これは真実だと言えますか？



## アクティビティシート 21

### オリンピック村

オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重、卓越、フェアプレー

学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

共有の輪式学習、議論、ソクラテス式問答法

### ★ 学習到達目標

- オリンピズムの本質的価値を促進する手段としてのオリンピック村の重要性を理解する。
- 人々を団結させ、相互理解を構築する上でのオリンピック村の重要性を明確に理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 21

← 2014年ソチ大会オリンピック村のオリンピック・リング



# オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発

「将来世代のニーズを損なうことなく現在の世代のニーズを満たすこと」

我ら共有の未来、ブルントラント報告書 (1987)

国際オリンピック委員会は、持続可能な開発に対する取り組みとして、環境問題、社会的公正さ、経済的効率の3つが重要な優先事項であるとしている。IOCはオリンピック組織委員会に対し、オリンピック競技大会を計画・準備する際には、地球の持続可能性に関する課題に取り組む方法を確認することを強く奨励している。

## ロールモデルとしてのオリンピック開催都市

オリンピック競技大会の開催都市は今日、環境を保護して持続可能な開発を推進するために様々な計画を策定している。以下に具体例を示す。環境の保護および持続可能性の推進のためになすべきことについて、自身のコミュニティで議論する際の基準として参考にすることができる。



↑ 2010年バンクーバー大会：伝統的な石組みの陸標「イヌクシュク」

### 1994年リレハンメル大会

初の「環境に配慮したオリンピック競技大会(グリーンゲーム)」

省エネルギー、人々の教育：ハーマル・オリンピック・ホールの空調および氷表面からの余剰熱は、会場内のその他の場所で使用する熱源として再利用された。組織委員会は、環境保護に関する情報をオリンピック競技大会の入場券に印刷した。

### 1998年長野大会

絶滅危惧種の保護

ギフチョウ：八方尾根の森は、男子滑降競技のゴール地点となっていた。この場所は絶滅に瀕しているギフチョウの生息地でもあった。オリンピックのボランティアや地元の中学生を含む300人余りが、ギフチョウの食草であるミヤマアオイの移植を行った。中学生らはギフチョウの産卵を誘導するため、ミヤマアオイをスキージャンプ台の周りにも移植した。

### 2000年シドニー大会

都市環境の向上

ミレニアム・パークランズ：シドニーは古い工業地帯を再開発し、巨大な新しい都市公園やオリンピック・スタジアム、その他のオリンピック関連施設の本拠地へと整備した。この公園は絶滅危惧種であるキンスジアメガエルの生息環境も保護している。

### 2006年トリノ大会

気候への関心

HECTOR計画：冬季競技大会は気象条件の安定のほか、寒冷な気候と降雪の有無による直接的な影響を受ける。これらは競技大会の真の「原材料」となる。こうした理由から、トリノ・オリンピック組織委員会(TOROC)は気候保護を環境政策の優先事項に掲げた。HECTOR計画(トリノの気候保護プログラム)は気候変動の問題に対する認識を促し、大会中に排出される温室効果ガスの相殺を目指した。

### 2008年北京大会

オリンピック都市を超える変革

北京オリンピック組織委員会(BOCOG)の環境プログラムでは、改善と保護、認知度の向上に重点が置かれた。オリンピック会場およびオリンピック公園の建設には、環境に優しい省エネルギーの建材が使用された。北京および近隣都市では、植林の拡大や大気質の改善、公共下水および汚水やごみ処理設備の向上に著しい努力が払われた。

### 2010年バンクーバー大会

統合的計画および地域社会のレガシー

2010年にバンクーバーで開催されたオリンピック冬季競技大会は、環境に対する尊重と関与が計画に組み込まれた代表的な例だ。オリンピック村と周辺地域は、建物環境総合性能評価指標であるLEED認証制度でプラチナ認証を取得し、持続可能な都市計画の模範と認められた。建物は未処理汚水が生み出す熱を利用して暖められた。スピードスケートのリンクであるリッチモンド・オリンピックオーバルの屋根は、松くい虫に侵された木が利用された。オーバルの屋根から集められた雨水はトイレの水洗に活用された。オリンピック競技大会後、会場は地元コミュニティがさまざまな用途に利用できるセンターに転換された。この他にも大会組織関係者は、スポーツやレクリエーション関連の持続可能なプロジェクトを開発するために地域のグループ、NGO、政府機関や民間セクターと協力する非営利団体を設置して、バンクーバー市内の持続的な環境レガシーを保証するとした。

### 2012年ロンドン大会

"Towards a One Planet Olympics"

持続可能性は、2012年ロンドン大会の招致の際の鍵となる構成要素であった。関係者は、バイオ・リージョナルおよび世界自然保護基金(WWF)と協力して「Towards a One Planet Olympics(地球1個分のオリンピックに向けて)」というコンセプトを掲げた。同コンセプトの原則は、気候変動と廃棄物、生物多様性、インクルージョン(社会的包摂)および健康な暮らしの5つをテーマとする2012年ロンドン大会の持続可能性に関する計画という形で進められた。2012年ロンドン大会の準備期、大会開催時およびレガシー期の3段階で、真に持続可能な大会の実現という枠組みが組み込まれた。

ロンドンは、プレ大会における持続可能性に関する計画が公約に忠実であることを示し、オリンピック競技大会の1年後さらにはその後においても持続可能で恒久的なレガシーを実現した。2012年ロンドン大会の願いは、ロンドン市内の顧みられない地域社会に活力を取り戻し、より健全で好ましいライフスタイルを英国内外で促進し、障がいに対する人々の認識を変え、全ての世代にスポーツへの参加を促すことにあった。インフラ整備とオリンピック競技大会の開催を通じて、建設業者やケータリング業者、ホスピタリティ企業やイベント会社などの2012年ロンドン大会のパートナーは、持続可能な事業活動を実践する価値を示した。



↓ 2012年ロンドン大会の拠点となったストラトフォードに開発中のオリンピック公園

### 2014年ソチ大会

持続可能な開発への刺激を活用する

2014年ソチ大会では、大会の準備と開催のあらゆる局面で、提携パートナーの取り組み、専門知識、経験を結集し、持続可能な開発原則を効率的に組み込むことを使命とした。2014年ソチ大会と多数のパートナーは一丸となって、以下のテーマに基づく一連の持続可能性の目標達成に向けて協力した。

- 健康的な暮らし
- バリアフリーな世界
- 文化価値と国家的価値
- 自然との共存
- 経済的繁栄
- 現代的なテクノロジー

2014年ソチ大会は国連環境計画(UNEP)や国連開発計画(UNDP)のほか、世界自然保護基金(WWF)やグリーンピースなどの独立した環境保護団体と協力することで、持続可能な開発への刺激を活用した大会となった。こうした国際的な専門知識を取り込んだ結果、複雑な生態系の保護や回復に加え、大会後も継続している独自の環境保護レガシーの定着が可能になった。その他、文化と教育および草の根運動に焦点が当てられた。

2013年は「ミュージアム・イヤー」と定められた。ロシア国内では、オリンピック競技大会に向けてボランティア活動に参加する人々が増加し、2014年ソチ大会の準備の一環としてロシア国際オリンピック大学が創設された。

## アクティビティシート 22

### オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発

オリンピック教育のテーマ：

バランス、他者への敬意

学習活動の提案：

5～8歳(小学生)から15～18歳(高校生)までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

探究、構成主義的指導法、プロジェクト学習、日記、思考日記、ブログ、独創的思考、問題解決

#### ★ 学習到達目標

環境に配慮する必要性を理解する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 22

### ? 読む前の問いかけ

- 「環境」という言葉の意味は何ですか？
- なぜ環境を保護しなければならないのでしょうか？

### 📖 読む

ボブスレー：環境的な課題

ボブスレーは、選手が2人または4人一組となり、空気抵抗が少ないそりに乗り、氷が張った1マイルのコースを滑走する競技だ。速度は時速145キロ(90マイル)に達する。順位は2本の合計タイムで争われ、最も早かったチームが勝者となる。約1500メートルに及ぶボブスレーのコースは通常、山腹に設けられ、起伏に富んでいる。コースは人工氷で作られ、超高度の計時機器が必要である。コースの建設には費用が掛かり、環境に関わる多くの難しい判断を下す必要もある。





オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発



↑ 2012年ロンドン大会：オリンピック公園の航空写真



# オリンピック競技大会の課題を克服する

全ての組織と同様に、IOCも課題に直面している。時にはオリンピック・ムーブメントの価値と相反する状況が発生し、その信頼性が脅かされることもある。

## 話し合う

以下のそれぞれの状況では、オリンピック・ムーブメントとどのような価値の衝突があるか明らかにしなさい。

- **戦争によるオリンピック競技大会の中断**：第1次および第2次世界大戦のため1916年、1940年、1944年のオリンピック競技大会の開催は中止になりました。これはどのような点でオリンピック・ムーブメントの価値に反しますか？
- **ボイコット**：たとえば1967年のモントリオール大会や1980年のモスクワ大会、1984年のロサンゼルス大会のように、一部の国が参加をボイコットした理由を調べなさい。あなたはオリンピック競技大会でメダルの獲得が期待される選手だったにもかかわらず、国が大会のボイコットを決めたため参加できなくなったとしたら、どのように感じますか？
- **ミュンヘンオリンピック事件**：1972年のミュンヘン大会では何が起きましたか？IOCはどのように対応しましたか？この事件を受けて、IOCと組織委員会は今日、オリンピック競技大会の参加者の安全対策に多くの費用と細心の注意を払っています。オリンピック競技大会のセキュリティにおける複雑な手順について調べなさい。
- **ドーピング・スキャンダル**：ドーピングとは何ですか？どのような薬物が禁止されていますか？なぜ禁止されているのでしょうか？なぜドーピングは、オリンピックの価値に反するのでしょうか？なぜ一部の選手は、禁止物質を使用するのだと思いますか？選手による禁止物質の使用を検査するための手順を調べなさい。どのような罰則がありますか？
- **内部不正**：2002年の冬季競技大会はソルトレークシティで開催されましたが、招致段階で一部のIOC委員が同市への投票の見返りとして便宜を受けていたことが、開催前にわかりました。IOCの調査から、IOC委員による様々な不適切な行動が明らかになりました。一部の委員は辞任、または追放されました。IOC委員のこのような行動はどのような点でオリンピックの価値に反しますか？

**「107年余りの歴史の中で、オリンピック・ムーブメントは多くの危機を乗り越えてきた。2回の世界大戦による中断やボイコット、ミュンヘン事件、ドーピング・スキャンダル、さらには内部不正をも乗り越えてきた。IOCはそのたびに、是正処置を講じてきた。とはいえ、我々は現状に満足してはならない」**

ジャック・ロゲ IOC 前会長、オリンピック・レビュー (2004)

## アクティビティシート 23

### オリンピック競技大会の課題を克服する

#### オリンピック教育のテーマ：

バランス、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、他者への敬意、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

導きをとまなう探究、ソクラテス式問答法、思考能力、ジグソー学習、回転木馬式学習、共有の輪式学習、日記、思考日記、エントリーカード、エグジットカード

#### ★ 学習到達目標

オリンピック競技大会がこれまで直面してきた課題を認識し、こうした課題への対処法を理解する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 23



↑ 2009年にコペンハーゲンで開催された第13回オリンピック・ kongressの開会式：人道支援のためのオークションに出品予定のボールにサインする  
ジャック・ロゲ IOC 会長と潘基文（潘・ギムン） 国連事務総長

# セクション4

## オリンピックの 教育テーマを指導する

スポーツの文化	80
古代ギリシャの競技種目	82
根本原則の解釈	83
5つのオリンピック教育テーマ	84
<b>A. スポーツと身体活動を通して努力から得られる喜びを経験する</b>	<b>85</b>
喜びを実践する	87
オリンピックを称える：オリンピック・デー	89
<b>B. フェアプレー学習</b>	<b>90</b>
フェアプレーとは何か？	91
フェアプレーの規則に従って行動する	92
コミュニティ・スポーツにおけるフェアプレー	94
フェアプレー・プログラムの実施	96
コーチによるフェアプレー宣誓	97
親（保護者）によるフェアプレーの誓約	98
選手と参加者によるフェアプレーの誓約	99
<b>C. 自他共に尊重する</b>	<b>100</b>
敬意／尊重の原則に従って生きる	101
人権：敬意／尊重と受容の基盤	102
権利があるということは、責任があるということの意味する	103
「私には夢がある」	104
難しい選択をする	105
<b>D. 卓越性を目指してベストを尽くす</b>	<b>106</b>
卓越性を目指して生きる	107
勝利への長い道のり：ある選手の物語	110
最後まで走る	111
自分のベストを尽くす	112
<b>E. 肉体、意志、精神の調和のとれたバランスの良い生活を送る</b>	<b>113</b>
バランスを見出す	114
活動的な生活	115
活動的なライフスタイル	116



# スポーツの文化

「スポーツの試合ほど社会  
を克明に映し出すものはな  
い。」

ジェームズ・ミッチェナー

「スポーツは社会の縮図だ」  
ビリー・ジーン・キング

スポーツは、多くの社会において文化の重要な要素となっている。たとえば古代ギリシャで兵士の身体能力を試すためにスポーツが利用されたように、スポーツは何世紀も、あるいは何千年にもわたり、さまざまな目的で活用されてきた。近代においては、アスリート、地域社会、さらには国家同士を結びつける、競争と平和を促進するための祭典としてスポーツが使われている。スポーツは躍動する身体の美を表現するものであり、芸術性が競技成績を決める重要な要素になることもある（古代オリンピックで行われた多くの種目がそうであったし、近代オリンピックでもアイススケートや体操がこれに当てはまる）。また、文化によっては、スポーツが政治的イデオロギーを宣伝するための道具とみなされたり、アスリートが経済的な苦境を脱するための手段になったりすることもある。

## オリンピックの価値の原点 —古代ギリシャからの遺産

古代ギリシャの哲学を理解することは、近代オリンピック・ムーブメントを支える理念を正しく理解する助けとなる。また、他の文化の哲学と比較することも有益だろう。

オリンピックや古代ギリシャの祭典では、単にスポーツの競技だけではなく、演劇、詩、音楽を競う催しも行われていた。こうした祭典を行うことで、ギリシャ人は自分たちの文化的な価値や原則を強固なものとした。現代に生きる私たちは、古代ギリシャ人がどのように価値を教えていたか、その伝え方を学ぶことで自らの価値を豊かにできる。本書では、古代ギリシャにない、物語、対話、演劇、詩、音楽、舞踊など、さまざまな手法を利用して価値を伝える。進行役は多様な教育メディアを活用し、さまざまなニーズに対応しながら、若者へのアピールを高めることができる。

**「スポーツは単なる身体活動ではない。スポーツは健康を増進し、現代文明から生じるさまざまな疾患の予防に役立ち、場合によってはこれを治療させる。さらにスポーツは教育の手段でもあり、年齢に伴う知能の発達を促し、社会的行動を教え、社会全体の絆づくりに貢献する。」**

トーマス・バッハIOC会長

## 古代ギリシャの原則と価値を理解する

古代ギリシャは、社会が直面する問題に対処する行動や考え方を浸透させるための原則と価値を取り入れていた。ギリシャ人は、自国に忠実であると同時に、無用な戦いを避けるために隣人と友好的になれる戦士気質を備えた人間を育てようとしていた。近代オリンピック競技大会のモットーである「より速く、より高く、より強く」は、これらの価値に発している。

同様に、オリンピック・ムーブメントの本質的価値（コアバリュー）である卓越、敬意／尊重、友情（Excellence, Respect and Friendship）は、古代ギリシャの価値を現代的に適応させたものである。こうした価値の指導を支援するために、以下のようなオリンピック・ムーブメントの5つの教育テーマが考案された。

- 努力から得られる喜びを体験する
- フェアプレーの規則に従って行動する
- 自分自身、他者、自然環境に対する敬意／尊重の気持ちを実践する
- 卓越性を目指す
- 肉体、意志、精神のバランスを見いだす



↑ 2012年ロンドン大会。男子10種競技の円盤投げ種目で競技をするリトアニアのダリウス・ドゥロードピラ

古代ギリシャの大会は、多くの側面で近代オリンピック競技大会のムーブメントの形式に影響を与えているが、現在は古代オリンピックでの競技会での限られた数をはるかに越えて発展してきている。近代オリンピック競技大会は、大会開催国の固有な文化的アイデンティティを示す競技を採用した（リオ大会ではカポエイラ、北京大会では武術太極拳）。陸上競技のような古代からの伝統的なスポーツを尊重し続けると同時に、世界の選手たちに人気の新しいスポーツ（トライアスロン、テコンドーなど）を大会に取り入れることに積極的である。

## 伝統的なスポーツ

議論のための質問例

- あなたの国には古くからの伝統的なスポーツがありますか。
- どのような人たちがそのスポーツをしていましたか。
- どのような用具を使っていましたか。
- 勝者はどのような方法で決まりましたか。
- 勝者にはどのような褒美（賞）が与えられましたか。
- そのスポーツは昔のあり方から変化していますか。

スポーツは文化によって異なる意味合いを持っている。それらを一括りにできないまでも、なにか結びつける共通の糸はないだろうか？ オリンピック・ムーブメントは一貫してスポーツを平和と理解の促進のために活用し、世界の選手たちの競技での功績を称えてきた。フェアプレー、敬意／尊重、卓越性を目指す努力などの価値は、オリンピック精神の中心に深く根ざしている。OVEPは、これらの価値の個人的な意義を若者たちの生活に取り込むことを目的として作成された。

# 古代ギリシャの競技種目

この活動は、学習者にいろいろなスポーツ活動を試すよう促すこと、文化の違いによってスポーツの伝統がいかに異なるかを示すことが目的である。

## 古代オリンピックの競技に挑戦しよう

### 競走—徒競走

古代ギリシャでは、距離を測るために「スタジア（複数スタディオン）」とよばれる測定単位を使っていた。1スタジアは約200メートルである。2スタディオンのレースの場合、走者は1スタジアを走り、向きを変えてスタートラインに戻ってきた。50メートルでこのレースを試してみよう。このくらいの距離が若者にちょうど良い距離だ。

マラソンは、有名なギリシャの戦いの場所にちなんで名づけられた。戦場からアテネまで、兵士は勝利の知らせを伝えるために42キロを走ったが、知らせを伝えたところで息絶えた。学校の周囲または地域で1、2キロを走るような催しを計画し、マラソンとはどのようなものかを体験してみよう。そのような催しに向けた準備として、短い距離を定期的に走ることが推奨される。長距離走では、自分自身でペース配分しなくてはならないことに留意する。競走（ランニング）プログラムを開始する前にコーチから指導を受けること。

- あなたの国または地域社会では特別なランニング・イベントはありますか？ もしあれば、ぜひ挑戦してみよう。

### 跳躍—幅跳び

古代ギリシャでは、選手は両手に重りを持って立ち幅跳びで競い合った。重りを持つことでより距離を伸ばすことができた。両手に重りをもって立ち幅跳びに挑戦してみよう。マットまたは砂場に向かってジャンプするとき腕を振る。腕の使い方を変化させたり、重りを持ったり持たなかったりして距離を比べてみよう。

- あなたの国には特別な跳躍種目がありますか？ もしあれば、ぜひ挑戦してみよう。

### 投てき—やり投げ、円盤投げ

古代ギリシャの戦士には、戦闘中にやり投げと円盤投げが必要とされていた。古代ギリシャで行われていたスポーツは、戦争で兵士に必要な技能を起源とするものが多い。

大人の指導を受けながら、やりを使ってやり投げに挑戦してみよう。体の位置を変えたり、立ったまま、あるいは助走をつけるなどして投げ方を比べよう。

円盤投げでは、ボール、輪、大きな石あるいは円盤を使うことができる。投げ方や立ち位置を変えて、結果を比較しよう。

- あなたの国には伝統的な投てきがありますか？ もしあれば、大人の指導のもとでぜひ挑戦しよう。

↓ 2012年ロンドン大会。7種競技選手のジェシカ・エニス（英国）のやり投げ





# 根本原則の解釈

この学習活動は、オリンピックの根本原則の理解に役立つ。

オリンピックの原則に由来する3つの本質的価値（コアバリュー）は、卓越（Excellence）、敬意／尊重（Respect）、友情（Friendship）である。オリンピック・ファミリーの誰もがこの本質的価値（コアバリュー）を行動で示すことが期待されている。

## ? 読む前の問いかけ

原則とは一般的に認められた信念で、長期間にわたり持続し、人々の生き方を導くものです。この原則に由来する価値は、私たちの行動を定めます。

オリンピック・ムーブメントの指針となる3つの原則は以下の通りです。

**原則1**：バランスのよい全人に到達し、肉体、意志、精神の優れた資質によりスポーツを文化と教育に融合させる。

**原則2**：スポーツを人類の調和のとれた発展に役立てること。

**原則3**：スポーツをすることは人権の一つである。全ての個人はいかなる種類の差別も受けることなくスポーツをする機会を与えられなければならない。

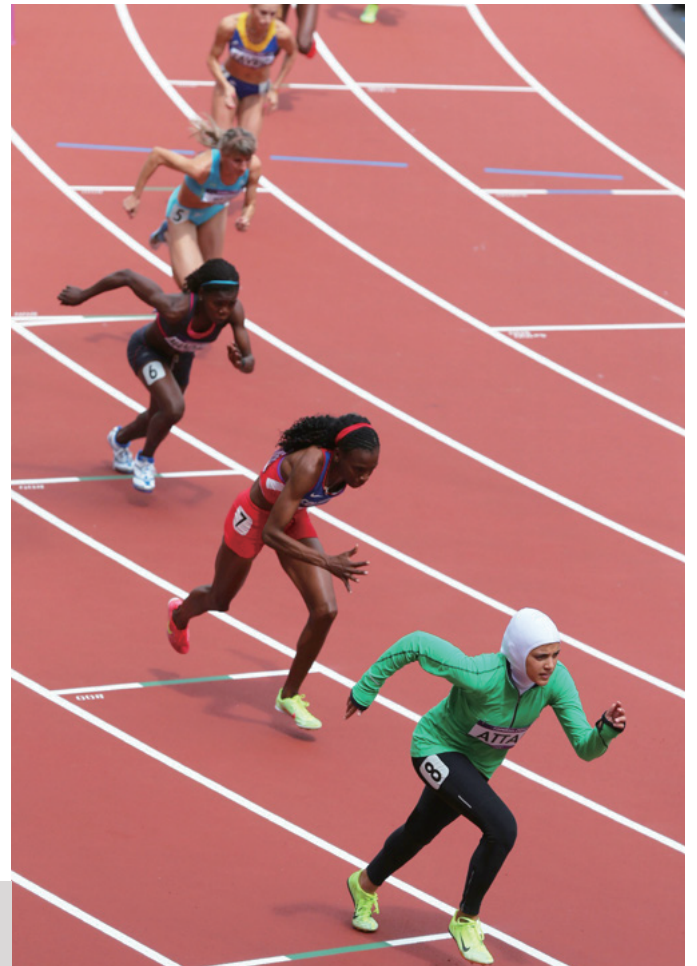
## 話し合う

1. あなたの地域社会や学校で、もっとも重要な指針となる原則は何ですか。
2. グループになって、そのような原則が地域社会や学校でどう人々により良い生活をもたらすか話し合しましょう。
3. 「〇〇は人権である」というとき、それはどういうことを意味しますか？他にも人権であると思うものを挙げてみましょう。

学校、地域社会、国のそれぞれの観点から、「スポーツをすることは人権の一つである」ことを実践する意味を考えてみましょう。

## 話し合う

オリンピックの中核となる価値をどのように実践すればオリンピックの原則を行動で示すことができますか。



→ 2012年ロンドン大会。女子800メートル予選でのサラ・アッターール（サウジアラビア）

# 5つのオリンピック教育テーマ

オリンピック・ムーブメントには5つの鍵となる教育テーマがある。各テーマは若者がオリンピズムの原則を理解し、実践する上で助けとなる。

オリンピックの価値を学ぶ助けとなり、若者の行動に良い影響を与えるために、IOCはオリンピックの中核となる3つの価値をもとに、5つのオリンピック教育のテーマを定めた。

## A. 努力から得られる喜び

若者は身体活動、運動、ゲーム、スポーツを通じて、自分自身あるいは相互に挑戦することで、身体、行動そして知力のそれぞれのスキルを発達させ、実践する。

## B. フェアプレー

フェアプレーはもともとスポーツから生まれたコンセプトだが、試合の場を越えてさまざまな方法や状況で応用することができる。スポーツでフェアプレーの行動を学ぶことは、日常生活におけるフェアな行動の育成と強化につながる。

## C. 他者への敬意

多文化世界に生きる若者が多様性を受け入れて尊重することを学び、個人として平和な行動を実践すれば、平和や国際理解を促進することになる。

## D. 卓越性の追求（向上心）

卓越性を目指して集中することは、若者が前向きで健全な選択をし、何をするにせよ自己ベストを達成しようと努力する助けとなる。

## E. 肉体、意志、精神のバランス

学ぶという行為は、精神的な面だけではなく全身で行うものであり、フィジカル・リテラシー（身体に関する知識・能力）や運動を通じた学習は、道徳的そして知的な学びに寄与する。



↑ 2016年リオ大会。ポルト競技会場ラゴアでジョギングをするブラジルの人たち

# A. スポーツと身体活動を通して努力から得られる喜びを経験する

若者は身体活動、運動、ゲーム、スポーツを通して、自分自身あるいはお互いに競争することで、身体、行動そして知力のそれぞれのスキルを発達させ、実践する。

## 子どもたちと身体活動

- 低年齢児は、本来活発なものだが、成長とともに活動的でなくなる傾向がある。活動がもっとも大きく落ち込むのは十代で、特に女子にその傾向が顕著だ。若者には、やる気を起こさせるような方法や活動、そして向上が実感できることが必要である。
- 子どもの成長速度は年齢によって大きく異なり、成長期には動きにぎこちなさがみられる。スポーツ活動は、学習者の年齢、能力、技能のレベルに合わせる必要がある。
- 運動技能を学ぶのに遅すぎるということはないが、成人スポーツやレクリエーションで必要とされる多くの技能は、若年期に習得される。体育・スポーツ教育のプログラムは、学校のカリキュラムでも地域社会でも優先的に実施されるべきである。
- スポーツの世界では、多様性が良い刺激となる！子どもたちは、幅広い身体活動に接する機会があれば、自身の力で情熱や刺激の源となる活動を見出そうとするだろう。
- 学校の体育プログラムと、スポーツクラブや地域社会ベースのプログラムや施設を関係づけよう。



「もし子どもが運動に対して自発的でないあるいは好まない様子が見られるなら、つまり運動を強制されているとすると、本来楽しんでもらいたくないはずのスポーツに対して、子どもは悪い思い出や、嫌悪感を抱いてしまうだろう」

ピエール・ド・クーベルタン<sup>1</sup>

↑ 2014年中国南京でのIAAFキッズアスレティックス・プログラム、男子のリレー





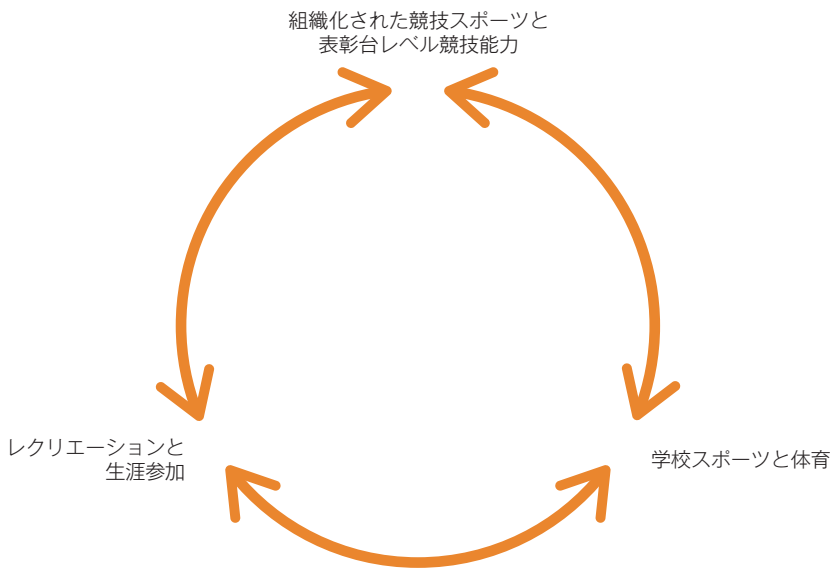
A スポーツと身体活動を通して努力から得られる喜びを経験する



「オリンピック教育…それはスポーツや体育を基盤とし、価値観の発展に結びついている。この2つの側面は、どちらも人格の発達に貢献し、社会をより良い場所にする働きがある。」

R・ゲスマン<sup>2</sup>

### 体をよく動かす生活のサイクル<sup>3</sup>



「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発及び平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。」

『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』、国連（2015年）

## アクティビティシート 24

スポーツと身体活動を通して努力から得られる喜びを経験する

オリンピック教育のテーマ：

努力から得られる喜び、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、バランス、他者への敬意

学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

✓ 指導法および学習スキルの提案

議論、振り返り、コラボレーション

★ 学習到達目標

身体活動がすべての参加者のウェルビーイング（健康で安心な状態）の促進に果たしている重要性を明確に理解する。

↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 24

# 喜びを実践する

この章では、良い手本となるエリート選手の力を称える物語を紹介する。スポーツに情熱を傾ける人々を特徴づける要素はどのようなものかを学習者に理解させるために活用するとよいだろう。

## ? 読む前の問いかけ

これまでに有名な人に会ったり、有名なアスリートについて読んだことがありますか。その人たちはなぜ有名なのか、そして成功を収めるためにどのようなことをしなければならなかったのでしょうか。真の意味で成功を収めるアスリートは、「喜び」だけでなく「高潔さ」も示します。つまり、自分自身だけでなく他者に対する敬意も行動で示しています。

## 📖 読む

### 走るという喜び：キプチョゲ・ケイノ（ケニア）

勉強したければ、走って行くしかない。ケニアのナンディ高原で生まれ育った少年キプチョゲ・ケイノは、幼いころからそう考えていました。自宅から学校まで4マイル（約6.4キロ）、しかも公共の交通機関はありません。家族にキプと呼ばれていた5歳の少年は、学校に通うには自力で走るしかないと思いました。そして、村から学校までの舗装されていない道を往復する毎日が始まりました。年齢とともに走る距離は延びていきました。昼休みにいったん帰宅して昼食をとり、学校へ戻って午後の授業を受けたあと、ふたたび村へ帰る。そうやって1日16マイル（約25.6キロ）走りました。走れば走るほど、キプの身体は素晴らしい生理学的な適応を起こしていました。やがて国内トップクラスのランナーと競り合うほどの能力をもたらす、驚くべき心肺機能を発達させていたのです。1日も欠かさず走って通学する姿を見ていた人々は、キプが心の底からランニングを楽しんでいることを知っていました。生まれながらのアスリートであるその動きは、優雅で軽やかでした。アスリートとしての成功が約束されているかのようでした。

キプの人生は、まだ年端も行かないうちに両親と死別するという、突然の悲しい転機を迎えます。キプは孤児になりましたが、しかしその経験は後年、見事な形で活かされています。

学校を卒業するとケニア警察部隊に入り、体育教官の職に就きました。体力づくりの習慣を彼から学んだ若い見習い警察官たちにとって、手強いお手本だったに違いありません。競技会で着々と好成績を上げたキプは、1968年のメキシコ・オリンピック代表に選ばれました。メキシコシティは標高が非常に高く、長距離ランナーにとってとても困難な大会でした。多くの選手が苦戦した中、キプ・ケイノは例外でした。標高が高いナンディ高原で、長年にわたって走り込んできた経験から、困難を克服し、金と銀のメダルを獲得しました。

アスリートとしてのキプの進化はさらに続きました。走ることはキプにとって、単なるスポーツ以上の意味がありました。それは彼の生き方であり、彼が夢中になって取り組む何かでした。メキシコ・オリンピックの4年後、キプは3,000m障害走のスタート地点にいました。そのとき彼の脳裏をかすめたのは何だったのでしょうか。学校へ行くために数えきれないほど走った、あの未舗装の道だったのかどうか、私たちに知るすべはありません。ただひとつ確かなのは、その数分後、彼の胸に金メダルが輝いていたという事実です。それはキプ・ケイノがアスリートとして成し遂げた最後の偉業ではなく、ある意味、始まりに過ぎませんでした。



↑ 2010年、ケニアのエルドレトにあるキプチョゲ・ケイノ・スクールの開校式

孤児としての経験がそうさせたのか、それとも成功への揺るぎない決意に根差しているのか、キプ・ケイノは妻フィリスとともに、青少年を支援するために人生を捧げました。キプとフィリスにはすでに7人の子どもがいましたが、家のない子どもを養子として育てることにしたのです。1人の養子から始めて2人、4人と増えていきました。やがて30人、40人、70人、100人の孤児の世話をするようになりました。何よりも教育が大事だという信念から、キプは小学校を設立し、後に高校を設立しています。

貧しい少年時代から出発したキプチョゲ・ケイノは、ケニアで最も権威あるケニア国民栄誉賞をH・E・ムワイ・キプキ大統領から授与されました。彼は今なお、国際オリンピック委員会の委員として輝かしい業績を残し続けています。

## 🗨️ 話し合う

- キプ・ケイノの人生で、努力から得られる喜びはどのような点に現れていますか。
- ケイノは努力から得られる喜びを通して、社会にどのような形で貢献しましたか。





## 話し合う

- セシリア・タイトが「スポーツは人格、希望、尊厳への基盤になる」と語る理由について考えてみましょう。
- セシリアが成し遂げたことは、社会からどのように称えられましたか。
- 生活の中で、希望、尊厳、喜びをもたらしてくれる活動には、どのようなものがありますか。

← 2003年に行われたIOC女性スポーツ賞授賞式で、元IOC会長ジャック・ロゲ、IOC委員イヴァン・ディボス（ペルー）とともに。

## 読む

### 気高く生き抜く：セシリア・タイト<sup>4</sup>（ペルー）

ペルーの首都リマ近郊にある非法法居住区の、ひと部屋しかない掘っ立て小屋。セシリア・タイトが育ったのはそんな環境でした。家には電気も水道もありませんでしたが、扉を開けるとすぐ目の前の路上が、仮設のバレーボールコートでした。14歳のとき、すでに身長が約6フィート（1.8メートル）あった「女の子にしては背が高すぎる」セシリアには、幸運なめぐり合わせでした。

バレーボールの才能に恵まれていたタイトは、兄の靴を借りてクラブ・チームの入団テストを受けに行き、そこを出発点にして、国家代表チームへと上りつめました。最初のうちは、ボールを運んだり、水を汲んだりの雑用に追われる毎日でした。ある日、ソ連との試合中、右利きのアタッカーが足首を捻挫しました。監督がタイトに向かってどなりました。「おい、その君！」監督は彼女の名前を知らなかったし、しかも実は左利きでしたが、（タイト自身「アドレナリン全開だった」と回想するように）華麗なパフォーマンスを披露し、ペルーを勝利に導きました。“Zurda de Oro”（黄金の左腕）と呼ばれる彼女のニックネームが誕生した瞬間です。まだ16歳でした。

その後セシリアは、日本、イタリア、ブラジルのプロチームで選手生活を送ります。1988年、26歳のとき、ペルーの国家代表チームに主将として復帰し、ソウルで行われたオリンピック競技大会に出場しました。当時のペルーは内戦に揺れ動いていました。しかしチームが勝ち進むと、すべての政治勢力が銃を置き、試合を見守りました。国内がひとつにまとまったのは、過去10年で初めてのことでした。

惜しくも金メダルを逃しましたが、ペルーは銀メダルを獲得しました。タイトは国民的英雄でした。大統領候補者のマリオ・バルガス・リョサに政界入りを勧められても、彼女の関心はスポーツにありました。その後、ひざ関節に障害が起きました。「本当に強い身体をつくるには、子どものころの食生活が不十分だった」。ドイツに渡って手術を受けました。1996年、ペルーに帰国すると、女子のためのバレーボール選手育成制度を自己資金で設立しました。スラム街を行進し、「人生を変えたい子は、こっちおいで！」と呼びかけました。こうして瞬間に800人の女子選手を育成しましたが、運営は苦しく、政府資金を得ようと奔走しました。それは容易なことではありませんでした。このときタイトは、公職選挙への立候補を決意します。2000年、大衆主義を掲げる大統領候補アレハンドロ・トレドの政治運動に参加し、一般投票で高得票を獲得して、国会議員に当選しました。タイトは公職を続けながら次女を出産しました。「生まれる日まで働いていた」と笑顔で語ります。「スポーツをしてきた強み！」

この強みを、すべての人に行き渡らせたい。それが国会議員としてのタイトの使命です。彼女の尽力によって、青少年スポーツ局長の役職が閣僚級に昇格し、すべての小学校に体育教員が配属されました。「貧困層の人々の考え方を変えること」が目標だという彼女は、「スポーツは人格、希望、尊厳への基盤になる」と語っています。

## アクティビティシート 25

### 人類を称える：オリンピック競技大会を題材とする物語

#### オリンピック教育のテーマ：

他者への敬意、バランス、フェアプレー、卓越性の追求（向上心）、努力から得られる喜び

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

議論、振り返り、コラボレーション

### ★ 学習到達目標

オリンピック選手の功績と未来のビジョンについて知り、そこから刺激を受ける。

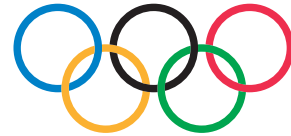
### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 25



# オリンピックを称える： オリンピック・デー

オリンピック・デーあるいはオリンピック・ウィークを実施して、地域社会におけるオリンピックやオリンピックの価値を普及しよう。



## OLYMPIC DAY

### オリンピック・デー／ウィーク

6月23日は、スポーツとオリンピックの価値（卓越、敬意／尊重、友情）を称える日だ。

オリンピック・デーはスポーツイベントの日であり、世界中がアクティブになる日だ。

3つの柱となる**動く、学ぶ、発見する**をベースに、世界中の国内オリンピック委員会（NOC）は、スポーツ、文化、教育の活動を催している。

一部の国ではオリンピック・デーを学校のカリキュラムに組み込み、オリンピック・デーを記念してコンサートや展覧会を開催するNOCも多い。

### 動く（MOVE）

オリンピック・デーには体を動かそう。“動く（Move）”は、すべての年齢層、あらゆる人々のためのすべての身体活動を指している。

### 学ぶ（LEARN）

社会におけるスポーツの役割、そしてオリンピックの価値について教え、学ぼう！

### 発見する（DISCOVER）

これまでやったことのなかったスポーツや事柄に挑戦してみよう。

### 参考文献

The IOC Olympic Day Start-up Kit for NOCs（NOCのためのIOCオリンピック・デー スタートアップ・キット）には、オリンピック・デーの開催と実施のための詳細情報やアクティビティシートが収められている。

オリンピック・デーへの参加を希望する場合は、国内オリンピック委員会（NOC）に問合せられたい。NOCの問い合わせ先は [www.olympic.org](http://www.olympic.org) で入手できる。

このキットに関する情報はNOCnetでも入手できる (<http://extranet.olympic.org>)。



↑ ボツワナでのオリンピック・デー



↑ トンガでのオリンピック・デー

## B. フェアプレー学習

フェアプレーはもともとスポーツから生まれたコンセプトだが、試合の場を越えてさまざまな方法や状況で応用することができる。スポーツでフェアプレーの行動を学ぶことは、日常生活におけるフェアな行動の育成と強化につながる。

**「フェアプレーは人権にかかわることだ。人間が持つ普遍的な権利についてより広い意識を一人一人が獲得することは、教育によって可能になる。」**

松浦晃一郎、UNESCO 事務局長  
「人権と知る権利」UNESCO、2001年1月

そもそもフェアプレーは、ルールを守りながらプレーすることに重きを置くというスポーツの概念である。審判や役員がルールを解釈し、ペナルティや罰則という手段でルールを実施してきた。フェアプレーは今日、スポーツの枠を越え、単にルールを守ること以上の意味を帯びようになっている。「フェアプレー精神」を定義するのは難しいが、ある種の行動(たとえば、試合終了時の握手)によって容易にそれと分かる。フェアプレーの概念は広く知られており、ほとんどの国々で、フェアプレーに相当する概念が発達し、それを表す独自の言葉がある

ほどだ。元来、欧米文化の価値体系に含まれていたフェアプレーは、人権の基本的な原則として、世界中で正当に評価されている。

青少年がチームやグループ活動に参加したからといって、フェアプレーが自然に習得できるわけではない。ある種の競技スポーツ活動が、不正行為、薬物乱用、攻撃性などといったアンフェアな行動の温床になることへの懸念は、各国の研究によって裏付けられている<sup>5</sup>。スポーツにせよ、スポーツ以外の状況にせよ、フェアプレーについて教育する必要がある。そして子どもは、フェアプレーの概念を容易に理解できるので、フェアプレーを教えることは、教育に関わるさまざまな状況で有益である<sup>6</sup>。

子どもは何がフェアであるかに対して鋭い感覚を持っている。そのため、フェアプレーは初等教育で教えることも可能であり、高い年齢の集団に教えることも可能である。以下に示すアクティビティは、このような幅広い応用例を示す。



↑ 2012年ロンドン大会。女子ボクシング・フライ級(51kg)決勝戦で、レフェリーのヴェロニカ・スーチが、イギリスのニコラ・アダムズ選手の勝利をアナウンス。対戦相手は中国の任燦燦。ロンドン2012エクセル・アリーナにて

# フェアプレーとは何か？<sup>7</sup>

この学習アクティビティでは、学習者がフェアプレーの意味について考え、フェアプレーとアンフェアなプレーの違いはどこにあるのかを考察することを促す。

**「フェアプレーは、チームメートや対戦相手を尊重すること。フェアプレーが難しいときもある。」**

14歳 生徒

**「自分はフェアプレーを心がけている。つまり、ルールを守ることだ。だけどぜっ  
たいに試合に勝ちたいときには、タクティカル・ファウルをするのもやむを得ない。」**

14歳 サッカー選手

**「フェアプレーとは、書面化されたルールを順守するだけのことではない。スポーツをする者としての態度や行動に現れる正しい精神を指す。」**

国際フェアプレー憲章

## 話し合う

これらの発言に、あなたは共感しますか。

それはなぜですか。

あなたが考えるフェアプレーとは、どのようなものですか。

フェアプレー精神を貫くのが難しい状況について話し合  
いましょう。

## アクティビティシート 26

### フェアプレーの規則に従って行動する

オリンピック教育のテーマ：

フェアプレー、敬意／尊重、バランス

学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層  
への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

構成主義的指導法、創造力、問題解決、コラボレーション、ロールプレイ法、振り返り、  
議論

### ★ 学習到達目標

フェアプレーはスポーツにおいてだけでなく、生活においても重要であることを理  
解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 26



# フェアプレーの規則に従って行動する

フェアプレーに基づいた行動の物語はすべての人をインスパイア、すなわち元気づけ、明るい気持ちにさせる。学習者は、以下の物語を読んだり、聞いてから、自分のフェアプレー物語を語ったり、書いたりするとよいだろう。

## ? 読む前の問いかけ

誰かがあなたのために、その人がやる義務のない何かをしてくれた、あなたを助けるために自分のことをさしおいて行動した。そんな状況について考えてみましょう。どんな気持ちになりましたか。このような行動を「フェアプレー」と呼ぶのはなぜだと思いますか。

## 📖 読む

### ボブスレーにおけるフェアプレー<sup>8</sup>

ユージェニオ・モンティは、オーストリアのインスブルックで行われた1964年の冬季競技大会で、オリンピックにおけるフェアプレーの歴史に名を刻みました。イタリア人のモンティは、世界最高レベルのボブスレー選手でした。ボブスレーは、ランナーと呼ばれる刃（エッジ）の付いたファイバーグラス製の流線型のそりに乗り、山腹に設けられた氷のトラックを、時速150キロメートルのスピードで滑降する競技です。ボブスレーのそりには、2人乗りと4人乗りがあります。ハンドルを操作するドライバーと残りの選手が、できるだけ安定したバランスを保ちながら、曲がりくねったトラックを猛スピードで滑走し、ゴールまでのタイムを競います。

モンティはすでに男子4人乗りボブスレーで銅メダルを獲得していました。彼の悲願は、男子2人乗りボブスレーで金メダルを獲得することでした。パートナーとともに山頂で滑走の順番を待っている時のことでした。そばにいたイギリスのロビン・ディクソンとトニー・ナッシュ組のボブスレーに、重大な問題があることに気がつきました。ランナーをそりに固定するボル

トが紛失していたのです。このボルトがなければレースに出場することはできません。どうすればいいでしょうか。

モンティは一瞬もためらうことなく、自分たちのそりから外したボルトをモンティにとっての最大のライバルであるイギリス組に貸しました。ナッシュとディクソンのチームは無事レースに出場し、金メダルを獲得しました。モンティ自身は、ふたたび第3位という結果に甘んじました。彼が示した寛大な行為に対し、国際フェアプレー委員会（CIFP）から特別フェアプレー賞が贈られました。

モンティはオリンピックで金メダルを獲得するという夢のために、現役続行を決意しました。40歳になっていましたが、1968年の冬季競技大会をめざしてトレーニングを再開しました。彼のスキルと長年にわたる経験は、ついに報われ、ボブスレー競技男子2人乗りと4人乗りの両方で優勝を果たすことができました。

## 🗨️ 話し合う

- 長年の夢だった金メダルを逃す可能性があるにも関わらず、モンティが対戦相手のチームにボルトを貸したのは、なぜだと思いますか。
- だれでも同じ行動をするでしょうか。それはなぜですか。
- モンティにとって勝つことよりも重要だったのは何だと思いますか。
- ボブスレーなどの競技では、装備の良し悪しによって勝敗が大きく左右されます。これはフェアと言えるでしょうか。その理由も考えてみましょう。最新鋭の高価な装備が必要な競技は、他にどんなものがありますか。



← 1964年インスブルック大会：ボブスレー競技に出場したイタリアチーム。ユージェニオ・モンティ選手とセルジオ・シオルバエス選手。

## 読む

### スキーのストックをありがとう！<sup>9</sup>

カナダ国民、レース中のサラ・レナーにストックを貸してくれたノルウェーのコーチに感謝

トリノ・オリンピック競技大会で、カナダのクロスカントリー・スキー選手、サラ・レナーのストックが競技中に折れたとき、彼女にストックを貸したノルウェー・チームのコーチ、ビョルナル・ホーケンスモーエンに、止むことのない称賛の声が寄せられました。

レナーはお礼として、ホーケンスモーエンにワインを贈りました。カナダのクロスカントリー・カナダ(CCC)は、感謝の意を伝えました。ノルウェーの団長に対しても、カナダ・オリンピック委員会から感謝状が送られました。借りたストックのおかげで、レナーとそのチームメートであるベッキー・スコットは、最終的に銀メダルを獲得しています。

ホーケンスモーエンは次のように語っています。「反射的な行動で、考える必要もなかった。互いに助け合うことが、ノルウェー・チームのポリシーだし、私自身のポリシーでもある。競技は対等な条件で行われるべきだ。すべての選手が2本のスキー、2本のストックで戦うのが当然なのだから。」

ホーケンスモーエンにとって、レナーに予備のストックを貸すのは、ごく当たり前の行動でした。彼以外の人々から見ると、メダル争いの中で失われがちなオリンピック精神を示す模範でした。



↑ ノルウェーのスキー・コーチ、ビョルナル・ホーケンスモーエン

## 話し合う

- このノルウェーのコーチにとって、オリンピックでメダルを取るよりも重要なものは、何だったのでしょうか。
- ノルウェー・チームは第4位に終わり、メダルを逃しました。自分たちがメダルを取れる可能性が低くなるのに、他のチームを助けるのは果たしてフェアでしたか。

## 読む

### 外洋でのフェアプレー

1988年9月24日、土曜日。カナダのヨット選手、ローレンス・レミュールは、ソウル・オリンピック競技大会のスター級ヨットレース競技で、2位のポジションにつけていました。この日、レースが行われた韓国の海は荒れ模様。強風にあおられ高い波が押し寄せていました。レミュールにとって、悪天候はお手の物でした。荒れた海でのセーリング経験が豊富だったからです。先行艇を追い上げ、金メダルを狙える圏内にいました。

そのとき、視界の隅で、荒波に揺れる無人のヨットが見えました。無人のヨット近くでは、冷たい海に投げ出された人がもがいています。突然の大波を受け、落水した選手がいたのです。

レミュールはただちにコースを外れ、遭難している選手に近づいて、水から引き上げました。次に自艇の舳先(へさき)を海岸に向け、救助を求めに行きました。レスキュー隊が到着すると、レミュールはふたたびレースに戻りましたが、先頭集団から大差をつけられてのゴールとなりました。対戦相手を助けるために、優勝するチャンスを自ら放棄したのです。

IOCはレミュールの功労を認め、オリンピック特別賞を授与しました。レミュールからすればヨットマンとして当然の行動だったのに、メディアの大興奮を目の当たりにして、うれしさと驚きが半ばするところでした。「セーリングにおける第一のルールは、遭難した人を救うこと」と彼は語っています。

## 話し合う

- 勝つことに対するノルウェーのコーチとカナダのレミュール選手の考え方は、どんな点が似ていますか。
- 彼らの考え方に共感しますか。その理由も考えてみましょう。
- この2つの物語は、どちらも個人競技におけるフェアプレーに関するものです。サッカーやアイスホッケーなどの団体競技では、フェアプレーの問題が紛争の火種になることが少なくありません。団体競技でフェアプレーに問題が起こりやすいのはなぜなのか、考えてみましょう。競技団体は、このような状況にどう対処していますか。競技団体の取り組みは、成功しているのでしょうか。その理由も考えてみましょう。
- 次のトピックについて討論してください。「敗者には常にフェアプレー賞が与えられる」。これは本当ですか。仮にそうだとすれば、フェアプレー賞の価値が下がるでしょうか。



# コミュニティ・スポーツにおけるフェアプレー

多くのスポーツ組織は、選手や観戦者の無礼な行動や一部の人が競技中に見せる「どんなことをしても勝つ」態度に懸念を持っている。このような問題に取り組むには「フェアプレー文化」を育むことが有効である。



↑ 2006年トリノ大会。女子10キロクロスカントリーのサラ・レナー（カナダ）

## フェアプレー文化は誰にとってもプラスとなる

フェアプレー・プログラムを実施することで、組織は、

- 参加することは権利であり、同時に権利には責任が伴うことを確認できる
- 教師、生徒、コーチ、参加者、親（保護者）、審判員などの役員に肯定的な価値を普及推進する組織文化を作ることができる
- 選手のフェアプレー、安全性、敬意／尊重を普及する上で目に見えるかたちでの取り組みを示すことができる
- 楽しさや身体的技能やスポーツスキルの育成を重視する
- 選手、生徒、観戦者、教師、コーチ、親（保護者）、審判員、ボランティアなどあらゆる参加者がさまざまなプログラムに参加して肯定的な体験をすることを促進する
- 組織内のすべての人々に対して各人が期待されることを明確に伝え、そのためのガイドラインを提供し、組織として期待に応えるための責任の所在を明らかにすることができる
- 未来に向けたビジョン、そして独自のプログラムを実施できるように組織が総合的なガイドを策定できる



## 話し合う

変化のための環境づくりを！何から始めるか。

フェアプレー・プログラムは必要ですか？以下に挙げた質問について組織内の人たちと話し合って、このコンセプトを検討しましょう。

- 以下のことを私たちは配慮していますか。
  - 対戦相手あるいは仲間に対して悪い態度を取っていないか？
  - 教師、コーチ、審判員、親（保護者）に対して悪い態度を取っていないか？
  - プレーヤー、生徒、観戦者である親（保護者）がひどい言葉を使うことはないか？
  - いじめあるいはハラスメントはないか？
  - 一部の地域社会の人たち（少女、若い女性、または異なる文化的伝統をもつ人々）の活動への参加が少なくないか？
  - 脱落率はどうか？
  - 私たちの組織に対して、より肯定的なイメージ作りをしているか？
  - ネガティブな課題に対して、どのくらい負のエネルギーを費やしているか？
  - 不正行為はないか？
- 私たちの組織には、上記のような懸念に対処するための方策や介入策はありますか。
- 私たちの指導者（理事会、執行部など）は、フェアプレーの方針に責任を持って取り組んでいますか。
- 私たちの組織の目標または使命についての態度表明（ステートメント）は、フェアプレーや組織に関わる全ての人に対する敬意といった肯定的な価値の促進について言及していますか。
- 私たちの組織の目標または使命についての態度表明（ステートメント）は、参加者や生徒の安全性、楽しく肯定的な環境の促進について言及していますか。
- 私たちの組織または学校の目標または使命についての態度表明（ステートメント）は、参加者の年齢に相応しいやり方で知識や技能を育成する教育的な役割について言及していますか。
- 私たちの組織には、フェアプレーの課題や問題に対応する委員会または責任者はいますか。こうした課題について話し合うことはありますか。
- 私たちの組織または学校は、自分たちのフェアプレー・プログラムの目的や期待することを各自に明確に理解させていますか。
- 私たちの組織には、生徒、プレーヤー、親（保護者）、コーチ/教師のための行動規範はありますか。

## 私たちのフェアプレーの未来に対するビジョン：現状評価を行う

変化を起こそうと前進するとき、考えなくてはならないことがいくつかある。

- フェアプレーを奨励する自分たちの組織や学校の特徴や強み（たとえば、強力なリーダー、親（保護者）たちの責任ある関与、資金、優れた子どもたち）
- フェアプレーの実現にとってもっとも重要な課題
- 自分たちにとってのフェアプレーの目標：5年後には我々の団体は・・・と言われているだろう
- 今年から実施できるようなフェアプレーのための介入策（親などによる子どもの教育）
- ・・・したときに、成功したことがわかる



# フェアプレー・プログラムの実施<sup>10</sup>

現状評価を終えたら、組織または学校のフェアプレーのビジョンに向けて以下のステップを進めよう。

	はい	いいえ	現在進行中	担当責任者は？
1. 組織としてフェアプレーに長期的に責任を果たすことについて理事会または執行部の承認を得ている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2. 敬意／尊重、安全性、肯定的な価値、技能育成、楽しさなどの目標を明記したフェアプレーの方針声明を文書化している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3. 鍵となるコーチや教師が確実に責任を果たすようミーティングを開催している（注：人選は、各人のフェアプレー方針に対する責任レベルにより行う）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4. フェアプレー関連の課題について執行部や理事会と取り組むためのサポートチームを設置している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5. フェアプレーのための介入策（親などによる子どもの教育）（確約、ニュースレター、パンフレット、ポスター、フェアプレー小委員会、賞の授与、試合前のアナウンス）を計画している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6. フェアプレー・イニシアチブの一部として（法人などからの）財政支援を獲得している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7. コーチ・プレーヤー・親（保護者）の確約を策定し、組織や学校の関係者全員に対してフェアプレー・プログラムを説明する資料やニュースレターを作成している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8. チームまたはクラス、親（保護者）とのミーティングを行っている。ミーティングでは、確約／ガイドラインを配布し、フェアプレー・プログラムや介入策（親などによる子どもの教育）について説明を行っている。フェアプレー・ニュースレターを配布している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9. フェアプレー・プログラムを周知するペナント（三角旗）／バナー／ポスターを施設内に掲示している。フェアプレーの原則やプレーヤーの責任について描いたポスターを更衣室や洗面所に掲示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10. 試合前あるいは場内アナウンスでフェアプレーを呼びかけるための文書を作成し、チームや教室で配布している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11. チームの評価表を作成し配布している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12. フェアプレーにおける「優勝」チーム、生徒、プレーヤー、クラスを選ぶためにボランティアを選考している。フェアプレー受賞者を表彰する予定がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13. レフェリー評価シートを作成し、配布している。ジュニア審判員プログラムを作成し、実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

# コーチによる フェアプレー宣誓

若年選手のコーチにとって重要なのは、子どもや若者が技能を向上させ、フェアプレーを実践し、熱心に取り組み、チームワークを築き、楽しみ、そして何よりも、チームメート、コーチ、対戦相手、審判員とその判定、そして試合を尊重することを学ぶことである。

**私たちはコーチとして、次のガイドラインに従うことに同意します。**

1. 私たちは、規則を守り、対戦相手に敬意を表し、審判員とその判定を尊重し、誰も排除することなく（インクルージョン）、どんなときも自制心を持つというフェアプレーのコンセプトを積極的に奨励し、サポートします。
2. 私たちは、このような活動のために時間を最大限に使って、練習や試合に向けて用意・準備をします。
3. 私たちは、自分のチームのプレーヤー、対戦チーム、審判員、他のコーチに対して公然と非難しません。
4. 私たちは、すべての選手に敬意をもって接し、それぞれを公平に扱います。
5. 私たちは、すべての選手の安全性とそのニーズを認識し、それらに対応します。
6. 私たちは、敬意／尊重、チームワーク、楽しさを重視し、選手が試合を好きになるよう育成します。
7. 私たちは、コーチングの役割が若者のニーズに応えることであり、コーチや親（保護者）のためではないことを十分に理解しています。
8. 私たちは、選手に力を尽くして取り組んで勝つようにと指導するが、どんなことをしても勝つようにとは指導しません。
9. 私たちは、仲間のコーチに敬意を表し、選手が最大限の恩恵を受けられるようにコーチたちと協力します。

署名： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_

チーム名： \_\_\_\_\_

コーチングスタッフにより署名されたこの同意書のコピーをシーズン開始時にチームの各プレーヤーの親（保護者）に渡さなければならない。





# 親（保護者）による フェアプレーの誓約

若い選手の親（保護者）は、以下のガイドラインに従わなければならない。また、スポーツを行う子どもたちを観戦する全ての同行者もガイドラインに従うことに合意しなければならない。

シーズン開始時にこの誓約書のコピーを親（保護者）に渡し、親（保護者）は署名をしたうえで、子どものチームの監督に渡さなければならない。

1. 私たちは、常にフェアプレーの考えを積極的に奨励し、支援します。フェアプレーの考えには、規則の尊重、対戦相手への敬意、審判員やその判定の尊重、誰も排除しないこと（インクルージョン）、どんなときにも自制心を持つことを含みます。
2. 私たちは、若者たちを予定された全ての試合・練習への安全で時間通りの移動について責任を負います。
3. 私たちは、試合、練習またはその他のイベント開始前の更衣室や準備室におけるプレーヤー1名につき親（保護者）1名の制限を守ります。これらの制限エリアに兄弟姉妹、友人あるいは親戚等を連れてくることを避けるよう適切に取り計らいます。
4. 私たちは、試合や練習の前後に各プレーヤーが専用のスペースを持ち、コーチとの時間を作る必要性を尊重します。
5. 私たちは、コーチングをコーチングスタッフに委ね、どんなときにもコーチに対して干渉や攻撃をしません。私たちは自分たちの子どもがコーチの指導や計画に相反する態度で試合をさせないようにします。
6. 私たちは、一切の懸念について、チーム監督に連絡し、コーチングスタッフには直接連絡しません。必要な場合、監督は親（保護者）とコーチとのミーティングを設定します。
7. 私たちは、要請があれば、資金調達の手伝い、チームミーティングや特別イベントへの参加などチームの支援をします。
8. 私たちは、自分たちの子どもが使用する適切かつ安全な用具の準備を行います。

..... 以下の署名部分をチーム監督に渡してください .....

氏名： \_\_\_\_\_

このガイドラインに従うことに同意します。

署名： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_

チーム名： \_\_\_\_\_

# 選手と参加者による フェアプレーの誓約

この誓約は、プレーヤーが競技場の内外で自らの行動の指針となる原則を守り、責任を取るうえで役立つ。

1. 私はフェアプレーの規則に従います。私は試合の規則を尊重します。私は対戦相手を尊重します。私は審判員とその判定を尊重します。私はチームメート全員に参加の機会が確実に与えられるようにします。私は常に自制心を保ちます。
2. 私はチームの一員であり、チームプレーヤーとして行動します。
3. 勝利がすべてではありません。もっとも大切なことは、すべての試合と練習で自分のベストを尽くすことです。
4. 私はチームメートを尊重します。
5. 私が得点したら、得点するのを助けてくれたチームメートに感謝します。私たちが負けたら、チームメートを励まし、次回にはチームメートを助けるためにもっと頑張ります。
6. 私はコーチの指示に従います。
7. スポーツは楽しいけれど、学校の方がもっと大切です。

..... 以下の署名部分をチーム監督に渡してください .....

氏名： \_\_\_\_\_

この規則に従うことに同意します。

署名： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_

チーム名： \_\_\_\_\_

# C. 自他共に尊重する

多文化世界に生きる若者が多様性を受け入れて尊重することを学び、個人として平和な行動を実践すれば、平和や国際理解を促進することになる。

人と人との間には大昔からの憎悪や、価値観の違い、あるいは経済的な格差が存在する。そのような社会に平和をもたらすために何をなすべきか。スポーツ指導者や教育者にとって、これは重要な課題である。いつの時代も教育に課せられた役割には、伝統を守り伝えることがある。その伝統とは通常、社会に影響力のある文化の伝統である。しかし多文化社会の指導者には、これとは違った役割がある。異なる文化に属する人々を受け入れ、尊重の気持ちをもって接する地域社会を作ることだ。

たとえば南アフリカでは、アパルトヘイトを撤廃して以来、すべての人種の受容と尊厳のある新しい社会を築くために国民が努力してきた。この過程において、スポーツ指導者と教育者は重要な役割を果たしている。

しかし、他者への敬意とは、何を意味するのだろうか。そして何よりも、それをどうやって教えればよいのだろうか。子どもたちが文化的な違いを尊重して受け入れることを学ぶとはどういうことなのか。子どものときも、また大人になってからも互いに仲良く生活することを学ぶには、児童や若年層にとってどんな学習活動が有益なのだろうか。ここでは、以上のような問題について考察する。

多文化教育は、学校管理者および教育者の心の中から始まる。多文化教育に携わる者は、次の原則を受け入れなければならない。

- すべての人に、すべての文化にそれぞれ価値がある。したがって、女性、児童、障がいのある人々、少数民族などを含めて、すべての人に人権があり、地域社会への責任がある。
- 暴力は紛争を解決するための最善の策ではない。
- 文化的な違いの受容と尊重は、子どものころから教える必要がある。学校教育制度に即した日常的な活動のすべてに、この教えが組み込まれていなければならない。人種差別や不寛容は、往々にして無知と恐怖心から生まれる。一緒に生活し、作業し、遊ぶ時間を通して、他者との違いを理解し受け入れる力が養われる。
- 他者への敬意と受容を教えるとき、家庭と地域社会は重要な役割を果たす。親（保護者）や地域社会に、この取り組みを支援してほしいと伝える必要がある。

## 自分と他者への敬意について

- 自己および他者への敬意に基づく社会を築くうえで、伝統は大きな役割を果たす。
- 多様性を受け入れることは、他者への敬意を養うための優れた基盤である。
- 偏見に意義を申し立てることが、寛容性および他者への敬意を促す。

**「オリンピック・ムーブメントの目的は、オリンピズムとオリンピズムの価値に則って実践されるスポーツを通じ、若者を教育することにより、平和でより良い世界の建設に貢献することである。」**

オリンピック憲章

**「新しいカリキュラムは…人権を重んじる文化、そして多言語主義および多文化主義を包含し、和解と国造りの価値を意識した学習を促進するであろう。」**

S・ベング教授、南アフリカ 2005年カリキュラム序文



↑ 2012年ロンドン大会。男子5,000メートル走の後、3着のイギリスのモハメド・ファラー選手（左）が、最下位でゴールしたフィリピンのレネ・ヘラ選手を称える。



# 敬意／尊重の原則に従って生きる

競技会で敬意と品格を示す選手は、青少年のロールモデルとなる。

## 読む

**重圧に耐える気品：ミシェル・クワン（アメリカ）**

大事な試合で負けるのは誰にとっても嫌なものです。オリンピック選手として、自分が優勝候補と期待されていたのに、そのメダルに手が届かないのは受け入れがたいことです。失望を表に出さないようにするのも、メディアの質問に答えるのも並大抵のことではありません。人生を賭けた夢の終わりを知ったとき、冷静さを保つのは困難です。

1998年、長野で行われたオリンピック冬季競技大会の女子フィギュアスケートで、まだ十代のアメリカ代表ミシェル・クワン選手は、フェアプレーの精神に則って惨敗を受け入れる姿勢を世界に示しました。クワンは金メダルの大本命と目されていました。当時の世界チャンピオンであり、その年に行われた競技会のほとんどで優勝していました。ところがオリンピックの大舞台では、年下のチームメートであるタラ・リビンスキーが、決勝で圧倒的なスケートングを披露して優勝。クワンは銀メダルに終わりました。

本当の物語は、競技が終わった後でクワンが示した行動にありました。決勝後の記者会見で、彼女はリビンスキーの良き友人としてふるまい、次のように言いました。「私がほしかったメダルの色とは違うけれど、受け入れることにする。それが人生というものでしょう？」<sup>11</sup>



↑ 1998年長野大会。女子フィギュアシングルで演技中のミシェル・クワン（米国）

その様子を見て、ある人は次のようにコメントしています。「この冷静な受け答えによって、彼女は人々の記憶に永久に残るだろう。めったに見られない超一流のアスリートの態度だ。」

別の人はこう言いました。「ミシェル・クワンという十代の少女に、これ以上ないほどの落ち着き、尊厳、成熟をもって惨敗の苦しみに耐える人間の姿を見た。」

## 話し合う

- 金メダルではなく銀メダルに終わったミシェル・クワン選手のふるまいに、称賛の声が多く寄せられた理由を考えてみましょう。彼女のことを素晴らしい選手だと思いませんか。それはなぜですか。
- 試合に負けたとき、敗者として見苦しい行動とは、どのようなものですか。なぜそのような行動をするのでしょうか。そうした見苦しい行動は、他の選手や観客、そして競技そのものに、どんな影響を及ぼしますか。
- 競技会で対戦相手や相手チームに対し、どのように敬意を表せばよいと思いませんか。チームが試合に負けたとき、立派な敗者になるためには、どうあるべきだと思いますか。

## アクティビティシート 27

### 自他共に尊重する

オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重

学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

探究、ディベート能力、創造力、問題解決、コラボレーション、読書サークル

### ★ 学習到達目標

敬意／尊重は自分と他者の生活を変える強力な手段であることを理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 27

# 人権： 敬意／尊重と受容の基盤

1948年、国連は世界人権宣言の文言について合意した。この宣言は、誰もが尊厳と自由の権利を持つ社会の基本的な原則について述べている。

## ? 読む前の問いかけ

- あなたの地域社会ではどのような権利が守られていますか。
- その権利はどのような形で守られていますか。

**キーワード:** 固有の、譲ることのできない、野蛮な、願望、強要される、訴え、再確認、管轄、賦与、主権

## 📖 読む

### 世界人権宣言<sup>12</sup>

前文

- 人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義及び平和の基礎である。
- 人権の無視及び軽侮が、人類の良心を踏みにじった野蛮行為をもたらし、言論及び信仰の自由が受けられ、恐怖及び欠乏のない世界の到来が、一般の人々の最高の願望として宣言された。
- 人間が専制と圧迫とに対する最後の手段として反逆に訴えることがないようにするためには、法の支配によって人権保護することが肝要である。
- 諸国間の友好関係の発展を促進することが、肝要である。
- 国際連合の諸国民は、国際連合憲章において、基本的人権、人間の尊厳及び価値並びに男女の同権についての信念を再確認し、かつ、一層大きな自由のうちで社会的進歩と生活水準の向上を促進することを決意した。
- 加盟国は、国際連合と協力して、人権及び基本的自由の普遍的な尊重及び遵守の促進を達成することを誓約した。
- これらの権利及び自由に対する共通の理解は、この誓約を完全にするためにもっとも重要である。

- 国際連合総会は、社会の各個人及び各機関が、この世界人権宣言を常に念頭に置きながら、加盟国自身の人民の間にも、また、加盟国の管轄下にある地域の人民の間にも、これらの権利と自由との尊重を指導及び教育によって促進すること並びにそれらの普遍的かつ効果的な承認と遵守とを国内的及び国際的な漸進的措置によって確保することに努力するように、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として、この世界人権宣言を公布する。

### 第一条

すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

### 第二条

すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。さらに、個人の属する国又は地域が独立国であると、信託統治地域であると、非自治地域であると、又は他のなんらかの主権制限の下にあるとを問わず、その国又は地域の政治上、管轄上又は国際上の地位に基づきいかなる差別もしてはならない。

### 第三条

すべて人は、生命、自由及び身体の安全に対する権利を有する。

## 🗨️ 話し合う

- 世界人権宣言の条文に挙げられている権利の一覧を作りましょう。「身体の安全」とはどういう意味でしょうか。
- 差別や人権侵害は、個人、家族、地域社会にどのような影響を与えますか。
- 世界における人権問題の例を挙げてください。あなたの国では？あなたの地域社会では？あなたの学校／教室では？
- 権利を保護するために人はどのような行動を取ることができますか。
- 人権を考慮することはなぜ重要なのでしょうか。

# 権利があるということは、責任があるということの意味する

この学習活動では、クラスまたはグループで権利と責任の憲章を作成し、権利と責任について探求する。

## 話し合う

- あなたの地域社会で若者の権利が尊重されていなかったという状況について考えましょう。なぜそのようなことが起こったのか、どうすれば解決できたと考えますか。
- 若者が他人の権利を尊重するという自分の責任を果たしてこなかったという状況について考えましょう。このような事態を招いた動機は何でしょうか。どうすれば解決できたと考えますか。
- あなたの権利、他人の権利を守るためにあなたはどのような行動を取ることができると思いますか。

## アクティビティシート 28

### 私の権利 = 私の責任

#### オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重、バランス、フェアプレー

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

ジグソー学習、回転木馬式学習、共有の輪式学習、ソクラテス式問答法、エントリーカード、エグジットカード

### ★ 学習到達目標

個人およびグループの権利と責任の違いを学ぶ。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 28



# 「私には夢がある」<sup>13</sup>

アメリカの黒人が人権を求めて苦闘していた時代、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアは集会に集まった数千人を前に、魂を揺さぶる有名な演説を行った。人種、宗教、習慣の違いによる対立が存在する限り、この演説に込められたメッセージは、世界のどこであろうと普遍的な意味がある。

## 📖 読む

私には夢がある。いつの日か、この国が立ち上がり、「すべての人間は生まれながらにして平等であることを、自明の真理と信じる」というこの国の信条を真の意味で実現させるという夢が。

私には夢がある。いつの日か、私の4人の幼い子どもたちが、肌の色ではなく、人格そのものによって評価される国で暮らすという夢が。

今日、私には夢がある…

これが我々の希望である… あらゆる村やあらゆる集落、あらゆる州とあらゆる都市から自由の鐘を響かせた時、我々は神の子全員が、そして黒人も白人も、ユダヤ教徒もユダヤ教徒以外の人も、プロテスタントもカトリックも、ともに手をとり合って古い黒人霊歌を歌うことのできる日が来るのを早めることができるだろう。「ついに自由になった！ ついに自由になった！ 全能の神に感謝しよう、我々はついに自由になったのだ！」

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア

この演説を読んだら、キング牧師の演説を聴いてみよう：  
[www.youtube.com/watch?v=3vDWWy4CmhE](http://www.youtube.com/watch?v=3vDWWy4CmhE)



↑ アメリカ公民権運動の指導者、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア（1929-1968）。1963年、ワシントンでのデモ行進に集まった群衆を前に演説。

## 🗨️ 話し合う

- キング牧師の演説で、最も重要なメッセージは何だと思いますか。彼にはどんな夢があったのでしょうか。
- “They have to be carefully taught (念入りに吹き込まれたのですよ)” というミュージカルの歌があります。人間は他者に対する軽蔑や嫌悪を、どのような形で教えられるのかを考えてみましょう。なぜ他人を軽蔑し、そのような態度で接するように教えられるのでしょうか。
- 人種や文化の異なる人間同士の間で、紛争が起こる理由を考えてみましょう。
- 自分以外の若者たちが、人生に安らぎと尊厳を見出せるようにするために、どのような行動をとるべきだと思いますか。

# 難しい選択をする

スポーツ、そして人生で私たちは二者択一のジレンマに直面することがある。複雑な状況に陥った時、そのような状況にもっとも適した対処法を考え、決断を下す。年を重ねると、経験に照らしてスポーツでのごまかしなどの道徳的な問題を大人として解決することができる。大人は、善悪をはっきり識別するスキルを身につけ、そこで得た教訓から若い選手たちを導くことができる。残念なことだが、中にはスポーツの規則を守らない選手がいる。こうした例は、若者たちを混乱させかねない。選手育成においては、スポーツで発生する複雑な問題について若者に明確なモラルを獲得するスキルを学ばせることが重要である。



## アクティビティシート 29

### 難しい選択をする

#### オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重、バランス、フェアプレー

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および 学習スキルの提案

導きをとまなう探究、ソクラテス式問答法、問題解決、コラボレーション、思考能力、コミュニケーション能力、創造力

#### ★ 学習到達目標

挑戦的な課題に直面したときに、オリンピックの価値の影響を受けた意思決定を行えるスキルを育成する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 29

# D. 卓越性を目指して ベストを尽くす

卓越性を目指して集中することは、若者が前向きで健全な選択をし、何をするにせよ自己ベストを達成しようと努力する助けとなる。

「繰り返し行っている行動こそ、その人間の本質である。ゆえに優秀さとは、ひとつの行為ではなく、習慣によって決まる。」

アリストテレス、哲学者  
(紀元前 384-322)

「自分にできること、あるいは夢に思い描いていることは、すべて実行に移したまえ。大胆であれば、非凡な能力と不思議な力を発揮できる。」

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ、ドイツの詩人 (1749-1832)

若者が良い選択をしてベストを尽くすためには、安全な社会的・物理的環境を必要とする。健全な地域社会が若者の幸福にとっての最優先事項である。

健全な地域社会は、

- 清潔で安全である。
- 少年少女、学習障がいや聴覚・視覚・その他身体的な障がいのある子どもたちを含むすべての子どもや青少年のニーズに応えている。
- すべての年齢の子どもや若者が身体活動に参加できる日常的な機会を提供している。
- 差別、ハラスメント、脅しのない環境を提供している。
- 個人差や文化的伝統の価値が認められ尊重される場所である。
- 親（保護者）や地域社会が健康的な子どもや若者の育成の助けとなる重要な役割を果たすことを認識している。



↑ 2010年ユースオリンピック競技大会(シンガポール)。ミックスリレー・トライアスロンで優勝したチームヨーロッパ1の、ファニー・ベイサロン(イスラエル)、ミゲル・バレンテ・フェルナンデス(ポルトガル)、エスター・デュダス(ハンガリー)、アロイス・クナブル(オーストリア)

## アクティビティシート 30

### 卓越性を目指してベストを 尽くす

オリンピック教育のテーマ：

卓越性の追求(向上心)、バランス

学習活動の提案：

5～8歳(小学生)から15～18歳(高校生)までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および 学習スキルの提案

探究、コラボレーション、創造力、日記、思考日記、ブログ、ビデオブログ、回転木馬式学習、ジグソー学習、共有の輪式学習

#### ★ 学習到達目標

- 卓越性の追求とは、個人の可能性の限界を試し、より良い自分になろうと努力することだと明確に理解する
- この原則が人生のあらゆる局面に当てはまることを理解する

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 30



# 卓越性を目指して生きる

卓越性は態度や考え方に表れる。

## ? 読む前の問いかけ

選手はどのようにして競技での卓越性を実現させるのでしょうか。

## 📖 読む

### 20世紀を代表する中国の女性アスリート：鄧亞萍

卓球は中国で非常に人気の高いスポーツです。世界最高レベルの卓球選手、鄧亞萍（とう・あひょう）は5歳から卓球を始め、9歳で省のジュニア・チャンピオン、13歳で初の国家チャンピオンに輝きました。計り知れない才能のある少女でした。

鄧亞萍は、身長が1.5メートルに達しない小柄な選手です。高い能力にも関わらず、最初は低身長を理由に国家代表チームの選抜に落ちています。しかし、持ち前の才能、自信、忍耐力で、1988年ついに国家代表入りを果たしました。1989年、わずか16歳のとき初の国際タイトルをダブルスで獲得し、2年後にはシングルスでも獲得しました。

「幼いときから世界チャンピオンになるのが夢だった」と彼女は言います。1989年、アジア・カップで優勝し、翌年には第11回アジア競技大会で3つのタイトルをさらいました。

1991年、日本で行われた世界選手権でのシングルス優勝を皮切りに、全盛期を迎えた彼女の快進撃が始まります。それから7年間、彼女は女子卓球界で無敵の存在でした。

1997年に現役を引退するまでの間に、4つのオリンピック金メダルを獲得し、10回にわたって世界チャンピオンの座についています。

国際オリンピック委員会のアスリート委員会に2回選出された鄧亞萍は、卓球競技への女子の参加を支援する活動に着手しました。彼女が書いた修士論文は、『纏足（てんそく）からオリンピック金メダルへ：女子卓球の事例』と題されています。

## 🗨️ 話し合う

- 鄧亞萍の写真は、スポーツの精神について何を物語っていますか。
- 人を成功に導く性格や価値観とは、どのようなものなのかを考えてみましょう。

**「どの道を選んだとしても、  
人生の質は、  
卓越性を目指す  
真摯な取り組みに正比例する。」**

ヴィンセント・ロンバルディ、コーチ（1913-1970）



↑ 1996年アトランタ大会：女子シングルの金メダルを賭けて戦う中国卓球界の星、鄧亞萍



↑ アメリカで行われた1994年FIFAワールドカップ。対ロシア戦でゴールを決めて歓喜するカメルーン代表チームのフォワード、ロジェ・ミラ選手（42歳）。ワールドカップにおける最年長ゴールとして歴史に名を刻んだ。



↑ 1992年バルセロナ大会：男子バスケットボール競技で、クロアチア代表チームを相手にシュートを放つマイケル・ジョーダン（アメリカ）

## 読む

### サッカーはわが人生：ロジェ・ミラ<sup>14</sup>（カメルーン）

アフリカでは、サッカーは単なるスポーツではありません。それは生きることの喜びです。自国の代表チームが大きな国際試合に勝つと、その翌日は国民の休日になります。アフリカの若者たちは、場所さえあればどこでも、そこが浜辺でも、通りでも、裏庭でも、バルコニーでもサッカーに興じています。丸いものなら何でもボール代わりに使います。細かくスコアを付けたりもしません。

アフリカの最も偉大なスポーツ英雄の1人であるカメルーンのロジェ・ミラは、常にサッカーの楽しさを追い求めてプレーしていました。アフリカ年間最優秀選手賞を1976年と1990年の2回、受賞しています。見る人まで楽しくなるような彼のプレーは、鮮烈な印象を残しました。

ミラが率いる「不屈のライオン」（カメルーン代表の愛称）は、1990年イタリアで開催されたワールドカップで旋風を巻き起こしました。開幕第1戦で、前回の優勝国アルゼンチンを破りました。あらゆる予想を覆し、アフリカのチームとして初めてFIFAワールドカップの準々決勝に進出したのです。その過程で、カメルーン代表は世界中のファンの心を驚つかみにしました。イタリアで得点を挙げた後、コーナー・フラッグのまわりで歓喜の踊りを踊るミラの姿は誰にとっても忘れられないシーンでした。彼の熱狂、献身、気迫は、人々の心に焼きついています。

そのときミラは38歳。カメルーンの「スーパー・サブ」として、対ルーマニア戦で2回のゴールを決めてチームを勝利に導き、対コロンビア戦でもさらに2回のゴールで勝利に貢献しています。準々決勝となった対イングランド戦では、カメルーンのゴールを2回アシストしました。1994年、ワールドカップに帰ってきた42歳のミラは、ロシア代表チームを相手にゴールを決め、ワールドカップにおける最年長ゴールで歴史に名を刻みました。

ロジェ・ミラは、とにかく勝ちたがる人でした。でも彼がサッカーをする理由は、このスポーツが大好きだったからです。

**「9,000回以上シュートを外し、300試合に敗れ、決勝シュートを任されて26回も外した。人生で何度も何度も失敗してきた。だから私は成功した。」**

マイケル・ジョーダン（アメリカ）、バスケットボール選手

## 話し合う

- 1990年ワールドカップで勝ち目のなかったカメルーンが、世界チャンピオンのアルゼンチンを破ることができたのは、カメルーンのどのような資質が功を奏したからだと思いますか。
- ロジェ・ミラがこれほど長い期間、第一線で活躍したのはなぜだと思いますか。
- スポーツ・キャスターになったつもりで、ロジェ・ミラ役になった友達を相手に、この偉大な選手のインタビューを演じてみましょう。



## 📖 読む

### 人馬一体の物語：リス・ハルテルとジュビリー号

時代を超えて語り継がれる、オリンピックの最も驚くべき物語のひとつ。それは馬術競技に関するものです。デンマーク代表の若き女子選手、リス・ハルテルは、ポリオウイルス感染症という病気の後遺症で麻痺が残っていました。それでも彼女とその愛馬ジュビリー号は、1952年と1956年のオリンピック競技大会で栄光を勝ち取っています。

ハルテルはスポーツ好きでしたが、最も熱中したのが乗馬でした。ところが2人目の子どもを妊娠しているときポリオに感染し、腰から下が麻痺してしまいました。奇跡的に健常児を出産したあと、彼女は持ち直して筋肉の機能が少し回復します。数年後、病状はさらに改善しましたが、膝から下の筋肉を動かすことはできませんでした。

とはいえ、馬に乗ることは可能でした。もちろん乗り降りするときは介助が必要でしたが、その理由で乗馬をやめることはありませんでした。

1952年、オリンピック競技大会の馬術競技に女子の参加が認められることになりました。男女が同じ競技で競い合う、数少ないケースのひとつです。ハルテルは歩くことができないにも関わらず、1952年と1956年の2回、銀メダルを獲得しました。競技中の彼女とジュビリー号はまさに人馬一体となり、規定の動きを滑らかに、巧みに演じていたと言われます。

## 🗨️ 話し合う

- 愛馬をコントロールして意思を疎通させるために、リス・ハルテルに備わっていた特別な資質とは、どのようなものだったと思いますか。
- リス・ハルテルとその愛馬が成功を勝ち取るには、人間と馬との間にどれほどの理解と信頼が必要だったのか、話し合ってみましょう。



↑ 1956年オリンピック競技大会。愛馬ジュビリー号に騎乗するリス・ハルテル（左）



# 勝利への長い道のり： ある選手の物語

今日、10万人のオリンピックが世界中でオリンピックの精神を広めている。一部の選手にとって卓越性に到達するまでの道のりは長く、何度も失意を乗り越えなくてはならないこともある。

## 読む

### 勝利への長い道：ダン・ジャンセン<sup>15</sup>

忍耐について教えてくれるオリンピックの物語は、数多くあります。しかし、ダン・ジャンセンの物語ほど印象に残るものはありません。彼は数々の悲運に見舞われながら、10年以上にわたって勝利を追い続けたスピードスケート選手です。

世界が初めてジャンセンと出会ったのは、1984年、ユーゴスラビアのサラエボで行われたオリンピック競技大会のときでした。無名に近いアメリカの選手ながら、500メートルで見事4位に入賞しました。1998年のカルガリーでは、ジャンセンは500メートルと1,000メートルの2種目で優勝候補と目されていました。ところが彼を待ち受けていたのは、別の運命でした。白血病で闘病中だったジャンセンの姉が、レースの直前に亡くなったのです。姉と最後に言葉を交わしたとき、彼女の名誉のために勝つと約束していました。しかし彼はレースで転倒してしまいます。1種目だけでなく、別なレースでもまさかの転倒で敗退しました。失意のうちにカルガリーを後にしました。それから4年後のアルベールビルでも、ジャンセンは金メダルの有力候補でした。しかし精彩を欠いた成績に終わり、やはりメダルを手にすることができないまま帰国します。

1994年、ジャンセンは4度目のオリンピックとなるノルウェーのリレハンメル大会に向けて準備しました。自分にとってこれが最後のチャンスだとわかっていました。今度こそ過去のすべての雪辱を果たすつもりでした。しかし500メートル競技では、見守っていたすべての人が動揺する中、ま



↑ 1992年アルベールビル大会。男子500メートル・スピードスケートで金メダルの有力候補となったアメリカのダン・ジャンセン選手のスタート。悲願を達成するまでオリンピックに4回出場。

## ? 読む前の問いかけ

目標を達成するために必要な資質とは、どんなものだと思いますか。目標達成に失敗したとき、どのようなことが起こるでしょう。

たしてもジャンセンはバランスを崩し、結局8位に終わりました。残りはあと1種目しかありません。選手生活における最終レースです。

不運な転倒から4日後、1,000メートルのスタートを告げる号砲が鳴り響きました。今回はすべてがうまく運び、10年間の失意は、世界新記録での優勝ゴールで消えました。ウィニング・ランでは幼い娘を胸に抱いて滑りました。

その女の子の名前は、今は亡きジャンセンの姉と同じジェーン。世界中のアスリートを感動させた勝利への長い道のりの完べきなエンディングでした。

## 話し合う

- ダン・ジャンセンがオリンピックでメダルを獲得するために、最後まで諦めずに努力したのはなぜだったのか、あなたが考える理由を説明してください。
- ジャンセンの行いは、オリンピックの価値をどのように体現していますか。

## アクティビティシート 31

### 根気強さとオリンピック競技大会

#### オリンピック教育のテーマ：

卓越性の追求（向上心）、努力から得られる喜び、敬意／尊重

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

### ✓ 指導法および学習スキルの提案

コラボレーション、議論、探究、共有の輪式学習

### ★ 学習到達目標

根気強さは、成功を成し遂げ、自分に内在する力を自覚するための力になることを明確に理解する。

### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 31

# 最後まで走る

ベストを尽くすこと、それは必ずしも最速、最高、最強であることを意味しない。どんな障害があろうとも、自分が決めた約束を果たすだけでもベストなのだ。

## 読む

### ジョン・アクワリ、約束を果たす

1968年メキシコシティ大会、マラソンの歴史で最も偉大な瞬間のひとつを世界が目撃しました。それは最後のランナーがゴールしてからずっと後のことでした。すでに観客は帰途につき、スタジアムには人影もまばらでした。マラソン・コースがスタジアムに進入する地点に、突然、1人のランナーが姿を現しました。タンザニアのジョン・スティーブン・アクワリ選手でした。足を引きずりながら苦しそうにトラックを走っています。レース中に転倒して負傷した脚に包帯を巻いていました。茫然として見つめる人々の前で、彼はなおも痛々しい走り続けます。最初のうちは静まり返っていました。何人かが、この並外れた選手に声援を送り始めました。その声はまるでレースの優勝者に送られる声援のようでした。

負傷したのになぜ棄権しなかったのか、という記者の質問に、彼は次のように答えています。「あなたには分からないかもしれないが、わがタンザニアが私をメキシコに派遣したのは、レースでスタートを切るためではない。最後まで走らせるためなのです。」

アクワリは2000年シドニー大会の開会式で、オリンピックの理想を行動で示した象徴として、ファン・アントニオ・サラマンチ IOC 元会長から賞を贈られました。



↑ 2000年シドニー大会。開会式に登場したタンザニアのジョン・スティーブン・アクワリ

## 話し合う

- 負傷にも関わらずアクワリが走るのをやめなかったのはなぜか、理由を考えてみましょう。
- 自分から望んで始めたことでも、困難や障害にぶつかるとやめてしまうのは、なぜなのか考えてみましょう。
- 何かを始めたいけれども、困難や問題にぶつかってしまったために、やめてしまった経験について聞かせてください。もし同じ状況を繰り返せるのなら、今度はどうしたいと思いますか。
- たとえ困難や問題にぶつかっても、何かをやり遂げた経験について聞かせてください。そのとき、自分自身について何を学びましたか。

## アクティビティシート 32

### 立ち直る力とオリンピック競技大会

#### オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重、努力から得られる喜び、フェアプレー

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

コラボレーション、ロールプレイ法、共有の輪式学習、創作的作文、プロジェクト学習、探究

#### ★ 学習到達目標

挑戦的な課題は人生やスポーツにおいて避けられないものであり、人は立ち直る力を育てることで、これらの課題を乗り越えられることを明確に理解する。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 32

# 自分のベストを尽くす

この活動では学習者は想像力を働かせることが求められる。ベストを尽くす自分の将来の姿が想像できるような手助けをする。これは前向きな見える化のプロセスである。

**「行動の伴わないビジョンは単なる夢に過ぎない。ビジョンのない行動は無目的になる。行動の伴うビジョンは成就する。」**

作者不詳

## アクティビティシート 33

### オリンピック競技大会における勇気

#### オリンピック教育のテーマ：

敬意／尊重、努力から得られる喜び、卓越性の追求（向上心）

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

コラボレーション、議論、探究、共有の輪式学習

#### ★ 学習到達目標

オリンピック競技大会に参加する選手にとって、勇気はどのようにして大きな役割を果たしているのかを知る。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 33



↑ 2010年バンクーバー大会。男子5000メートルリレー決勝でリードするフランソワ＝ルイ・トランブレ（カナダ）



## E. 肉体、意志、精神の 調和のとれたバランスの 良い生活を送る

オリンピックの価値を取り入れることは、若者がバランスの良い生活を目指す助けとなる。

ピエール・ド・クーベルタンは、オリンピック競技大会を国際的に復興すれば、若者のスポーツや身体活動への関心を刺激するであろうことを理解していた。これは100年前のことでありながら、現代でもその意味を失っていない。



↑ 2012年ロンドン大会。体操女子個人総合決勝戦の平均台で演技するアメリカのカプリエル・ダグラス選手

近代オリンピック・ムーブメントの取り組みは、スポーツを越えて文化、芸術、環境に対する意識、教育にまで及んでいる。これらのすべては、若者がバランスの良い生活を築いていくうえで重要な役割を果たす。

**「身体の運動感覚知能は、人の知の基盤である。  
なぜなら我々が生きることは、  
感覚運動を通じた経験に基づくからである。」**

『多重知能による教育と学習』L・キャンベル、B・キャンベル、D・ディッキンソン

**「心の中で自分がどう感じているかに関わらず、  
常に勝者のように見える自分でいなさい。  
遅れをとっているときでも、  
自制と自信が感じられる態度を貫けば、  
それが精神的な強さとなり、勝利へと導いてくれる。」**

アーサー・アッシュ、テニス選手・教育者（1943-1993）

**「近代教育は、…際限のない区分化に引きずられるままになっている…それぞれの力が、相互の結び付きや接点もなく、孤立した形で作用している。たとえばテーマが筋肉だとすると、動物的な機能だけが注目される。脳は、まるでいくつもの小さな密閉された部屋で成り立っているかのように提示される。」**

ピエール・ド・クーベルタン、近代オリンピック競技大会およびオリンピック・ムーブメントの創始者（1863-1937）

# バランスを見出す

オリンピック競技大会でアスリートが発揮する勇気や決断は、私たちがインスパイアする（元気づけ、明るくさせる）。

## 📖 読む

### 意思が引き継がれるとき：藤本俊

1976年モントリオール・オリンピック競技大会。日本の体操選手がつり輪の演技をしています。着地に入る前に身体をひねり、回転し、バランス、そして2回宙返り1回ひねり。両足で力強く着地しました。完璧です。立ったまま規定の3秒静止をしたあと、その選手は苦痛に顔をゆがめて崩れ落ちました。床運動のとき、ひざを故障しながら演技を続けていたことを、そのときはまだ誰も知らなかったのです。

「チームメートを心配させたくなかった」と藤本選手は説明しました。アンチ・ドーピング規程のため、鎮痛薬を服用するわけにはいきませんでした。「着地すればどうなるかは、なるべく考えないようにしていた」と後から語っているように、誰にも伝えず痛みじっと耐えていたのです。

団体体操競技で、日本はソビエト連邦と激しい金メダル争いを繰り広げていました。藤本選手は日本チームを支える選手の1人でした。負傷を押して演技を続行するつもりでした。遅ればせながら彼の故障に気づいた監督とチームメートは、これほどの重傷を負ったまま演技させるわけにはいかないと判断しました。

藤本選手が抜けるとなると、この後の競技では絶対にミスは許されないと5人のチームメートは覚悟を決めました。藤本選手のプライドと勇気に刺激を受け、全員が全力を振り絞りました。

日本チームはソビエト連邦を0.4点という僅差で退けて金メダルを獲得しました。チームは自らの勇気でチームメートを奮起させてくれた藤本選手に、この勝利を捧げました。

## 🗨️ 話し合う

- 藤本選手のチームが下した判断は、どのような点が、身体、意思、精神のバランスを示していますか。
- もしあなたが藤本選手の立場なら、競技を続けたいと思いますか。それはなぜですか。
- 藤本選手の行動を素晴らしいと思いますか。それはなぜですか。



↑ 1976年モントリオール大会。金メダルを獲得した日本の男子体操チーム。左端が藤本俊選手。

# 活動的な生活

## アクティビティシート 34

### 活動的でバランスの取れた健康的な生活を送る

#### オリンピック教育のテーマ：

努力から得られる喜び、卓越性の追求（向上心）、フェアプレー、バランス、他者への敬意

#### 学習活動の提案：

5～8歳（小学生）から15～18歳（高校生）までの各年齢層への適応

#### ✓ 指導法および学習スキルの提案

創造力、コラボレーション、問題解決

#### ★ 学習到達目標

- どのような行動が健康的なライフスタイルや害をもたらすライフスタイルにつながるのかを明確に理解する。
- 自分の興味に合わせて、楽しいと感じ、前向きなライフスタイルを促進するスポーツや健康的な活動を選ぶ。

#### ↓ ダウンロード

The Resource Library 内のアクティビティシート 34



↑ 玄武湖近くをジョギングする中国南京の住民。玄武湖は、2014年ユースオリンピック競技大会のカヌー・カヤック、ボート、トライアスロンの会場となった



# 活動的なライフスタイル

このページを使って、学校や青少年のためのスポーツ組織または地域社会で、誰でもできる健康的な活動について考えたり、計画しよう。「スポーツ・フォア・オール」で活動的になろう!!

## 身体活動の健康上の利点は何か？<sup>16</sup>

定期的な身体活動の利点は広く認められている。特に成人では、30分の中強度の身体活動を1週間に5日行うことで、冠状動脈疾患、脳卒中、2型糖尿病、ガン、肥満、精神疾患、筋骨格疾患など20以上の慢性疾患の予防または抑制に役立つ。身体活動と健康へのプラス効果との関係は持続性があるので、生涯を通じて活動的に過ごす人が増えれば、潜在的な健康面での恩恵は大きなものになるだろう。

活動的であることは、たとえば、気分転換、達成感、リラクゼーション、日々のストレスからの解放など、安定した心の健康に利する。このような成果は、活動的なプログラムをさらに習慣的に続けられるようにしたり、身体的な健康維持を確保する上で重要な役割を果たす。

**「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。」**

世界保健機関 (WHO)<sup>17</sup>



↑ オリンピック・デーにラグビーをする子どもたち

## 若者の身体活動のためのガイドライン

### 5歳未満：

- 生まれたときから身体活動を始めることが推奨される。特に安全が確保された環境において床の上での遊びや水の中での活動が望ましい。
- 幼児で一人歩きができる場合は、毎日少なくとも3時間くらいの身体活動を日に何回かに分けて行うと良い。
- 5歳未満の子どもは、長い間座ったまま（拘束されたり着席状態で）過ごす時間を最小限に抑えるべきである（ただし、睡眠時間は除く）。

### 5-18歳

- すべての子どもや若者は毎日最低60分から数時間、中程度から強程度の身体活動を行うべきである。
- 筋肉や骨格を強くする活動を含め、激しい運動は、1週間に最低でも3回組み込むと良い。
- すべての子どもや若者は、長時間座ったまま（着席状態）過ごす時間を最小限に抑えるべきである。

低年齢の子どもは、遊びを通して活動的な生活を始める。このことは子どもの身体面や社会性の発達、知能の発達にとって重要で、親（保護者）や世話をする人が遊びの機会を与えられるかどうかが発達に大きく関係する。若者は十代で親（保護者）から自立し、友人や外部のロールモデルの影響を受ける度合いが強くなる。

## ケーススタディ<sup>18</sup>

### リサ（14歳）

リサは田舎に住んでいる。近くにある小さな小学校に通学していたが、卒業後の今はバスで8マイル（12.8キロ）先の中学校に通い、そこで多くの友達ができ、小学校ではいろいろなスポーツをしていたが、今は試合や練習後に家に帰るのが困難なためやめてしまった。ひとり親家庭で父親がリサと弟のトムの世話をしており、リサの手伝いを必要としている。リサは暇な時間があるといつも学校の友人とソーシャルメディアを通じて連絡をとりあっているが、放課後は同じ村の友達と会ってサイクリングをしたりランニングをしている。リサの父親は理学療法士で、子どもや若者には身体活動が推奨されていることを知っている。そこで子どもたちが家でじっと座っている時間を減らそうと家族揃って楽しめるアクティビティをさせている。彼らは家ではスポーツやフィットネスのビデオゲームを楽しんでいるが、一週間に1度は外出するように心がけており、週末にはテニスなどのスポーツ活動に家族で参加するようにしている。村のユースクラブでは月に1回ダンスナイトを催していて、リサは友達と3時間くらいダンスに出かける。

## 話し合う

- 父親がリサの生活バランスを取らせようとしなかったらどうなりますか。
- 健康的、活動的なライフスタイルをさせようとする父親の行動についてリサはどう感じているか、あなた自身の言葉で説明してみましょう。

# 付録

## 用語解説

### 略語

<b>ANOC</b>	Association of National Olympic Committees	国内オリンピック委員会連合
<b>IF</b>	International [Sport] Federation	国際競技連盟
<b>IOA</b>	International Olympic Academy	国際オリンピック・アカデミー
<b>IOC</b>	International Olympic Committee	国際オリンピック委員会
<b>IPC</b>	International Paralympic Committee	国際パラリンピック委員会
<b>NF</b>	National [Sport] Federation	国内競技連盟
<b>NOA</b>	National Olympic Academy	国内オリンピック・アカデミー
<b>NOC</b>	National Olympic Committee	国内オリンピック委員会
<b>OCOG</b>	Organising Committee for the Olympic Games	オリンピック競技大会組織委員会
<b>OVEP</b>	Olympic Values Education Programme	オリンピック価値教育プログラム
<b>UNESCO</b>	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）
<b>WADA</b>	World Anti-Doping Agency	世界アンチ・ドーピング機構
<b>WHO</b>	World Health Organization	世界保健機関
<b>YOG</b>	Youth Olympic Games	ユースオリンピック競技大会

上記リストは、略称や頭文字のすべてを示すものではない。



## オリンピック用語

<b>Bid city</b>	招致都市	オリンピック競技大会の開催を申請する都市
<b>Core or essential values of the Olympic Games</b>	オリンピック競技大会のコアバリューまたは本質的価値	卓越性、敬意 / 尊重、友情
<b>Educational themes of the Olympic Movement</b>	オリンピック・ムーブメントの教育テーマ	オリンピック憲章の根本原則に内在する価値に基づき、オリンピック・ムーブメントの多様な活動の教育的使命に焦点を合わせたテーマである。これらの価値は、スポーツや身体活動において努力から得られる喜び、フェアプレー、他者への敬意、卓越性の追求、肉体・意志・精神のバランスである。
<b>Fundamental Principles</b>	根本原則	オリンピック憲章の冒頭に記載されている7項から構成される根本原則（2011年7月8日から有効）である。根本原則は、オリンピック・ムーブメントの価値と理想の要点を述べている。
<b>Host city</b>	開催都市	IOC委員により選ばれたオリンピック競技大会を開催する都市
<b>IOC Commission for Olympic Education</b>	IOCオリンピック教育委員会	IOCオリンピック教育委員会は、IOC総会、IOC理事会、IOC会長に対して、オリンピックの価値観に基づく教育の促進について助言を行い、スポーツを通じた若者の教育に関するIOCプログラムや活動の戦略的方向を示す。
<b>Olympian</b>	オリンピックアン	近代オリンピックにおける意味：近代のオリンピック競技大会で競技を行った人。 古代オリンピックにおける意味：古代神話によると、古代ギリシャのオリンポス山に住んでいたとされる神々の一人。
<b>Olympic cauldron</b>	聖火台	オリンピックの聖火台は、オリンピック競技大会の開会式で点火され、最後に行われる閉会式で消される。
<b>Olympic Charter</b>	オリンピック憲章	オリンピック憲章(OC)は、国際オリンピック委員会により採択されたオリビズムの根本原則、規則および付属細則を成文化したものである。憲章は、オリンピック・ムーブメントの組織、活動および運営の基準であり、オリンピック競技大会の開催のための条件を定める。
<b>Olympic education</b>	オリンピック教育	オリビズムとオリンピック・ムーブメントの使命を推進する上で必要とされる知識、価値、行動を普及浸透させるための情報や活動。
<b>Olympic Games</b>	オリンピック競技大会	オリンピック競技大会は、個人種目または団体種目での選手間の競争であり、国家間の競争ではない。大会にはNOCが選抜し、IOCから参加登録申請を認められた選手が集う。選手は関係IFの技術面での指導のもとに競技する。オリンピック競技大会は、オリンピックアード競技大会とオリンピック冬季競技大会からなる。雪上または氷上で行われる競技のみが冬季競技とみなされる。

<b>Olympic Games programme</b>	オリンピック競技大会プログラム	オリンピック競技大会のプログラムは、あらゆる競技会を結合させたものである。競技会は、競技、種別、種目から構成される。ここで言う競技とは、国際競技連盟により統括される競技である。種別とは、競技の部門で、1または複数の種目から構成される。種目とは、1競技または種別の1つにおける試合のことである。種目は結果として順位が確定し、メダルおよび賞状の授与につながるものである。総会はIOC理事会からの提案を受け、関連する開催都市が選定される前に競技プログラムを決定しなければならない。競技プログラムは、当該OCOGと当該IF、IOC間の合意の後、IOC理事会の提案を受け、関連するオリンピック競技大会の開幕3年前までに、総会決議により修正できる。オリンピック冬季競技大会は、7つの冬季競技の国際競技連盟の競技で構成される。
<b>Olympic motto</b>	オリンピック・モットー	より速く、より高く、より強く。
<b>Olympic Movement</b>	オリンピック・ムーブメント	オリンピック・ムーブメントは、国際オリンピック委員会の最高権限と指導のもと、オリンピック憲章に導かれることに同意する組織、選手、その他の個人を包含する。オリンピック・ムーブメントの目的は、オリンピズムとオリンピズムの価値に則って実践されるスポーツを通じ、若者を教育することにより、平和でより良い世界の構築に貢献することである。
<b>Olympic oath</b>	オリンピック宣誓	選手によるオリンピック宣誓は、1920年アントワープ大会以来、開会式のプロトコルの一部を成している。ピエール・ド・クーベルタンが書いた選手宣誓の文章は、変化する競技大会の状況を反映させるために何度も修正が行われてきた。2000年のシドニー大会では、薬物を使用しないとする選手の誓約を確認する言葉が加えられた。1972年の開会式では、審判・役員の宣誓も行われるようになった。さらに2012年ロンドン大会では、コーチも宣誓を行った。
<b>Olympic rings</b>	オリンピック・リング	オリンピック・リングは、国際オリンピック委員会の公式なエンブレム、シンボル、またはロゴである。
<b>Olympic torch</b>	聖火トーチ	聖火トーチとは、ギリシャのオリンピアで採火した炎を灯し、オリンピック競技大会の開催国のさまざまな場所をリレーで運ぶための携帯用トーチまたはそのレプリカである。その炎はオリンピック聖火リレーの最後に、開会式で聖火台に点火される。
<b>Olympic Truce</b>	オリンピック休戦	古代ギリシャ（紀元前8世紀から紀元後4世紀まで）では、オリンピック祭がおこなわれる前と最中にオリンピアを訪れる人々の旅の安全のために、休戦（ギリシャ語では“Ekecheiria”。意味は、「手をつなぐ」）が告知された。国際連合は1992年、IOCの提案を受けて同年以降のオリンピック競技大会に先立ってオリンピック休戦宣言を支持する決議の採択を承認した。このことは、平和、対話、和解を推進する国際的なツールとしてのスポーツの道を開いた。
<b>Olympism</b>	オリンピズム	オリンピズムは、オリンピック・ムーブメントの理想を包含する言葉である。オリンピズムは、オリンピック憲章の根本原則に基づいている。オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである。
<b>Paralympian</b>	パラリンピアン	パラリンピック競技大会で競技を行った人。
<b>Paralympic Games</b>	パラリンピック競技大会	パラリンピック競技大会は、運動障がい、切断、視覚障がい、脳性まひなどさまざまな身体的・知的障がいのある選手の大規模な国際的複合競技大会である。冬季と夏季のパラリンピック競技大会がある。大韓民国、ソウルでの1988年夏季大会以来、パラリンピック競技大会は、各オリンピック競技大会の直後に開催されている。すべてのパラリンピック競技大会は、国際パラリンピック委員会（IPC）により統括されている。
<b>Venues</b>	会場	大会が行われる場所。たとえば、競技会場は、競技が行われる場所である。

# 参考文献

---

## セクション1

1. 出典 : Sport In Action, Zambia.
2. 出典 : Kirk, D. 2012. Empowering girls and women through physical education and sport: Advocacy brief. Bangkok: UNESCO, p. 10.
3. Sport for Hope: Olympic Youth Development Centre, Lusaka, Zambia. Sourced online: [http://www.olympic.org/Documents/Commissions\\_PDFfiles/sports-for-hope-brochure.pdf](http://www.olympic.org/Documents/Commissions_PDFfiles/sports-for-hope-brochure.pdf) (accessed February 2015).
4. Reagan, T. (2000). Non-Western Educational Traditions: Alternative Approaches to Educational Thought and Practice. Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates.
5. Rogge, J. (2001). Editorial: Towards greater universality. Olympic Review, August/September 2001.
6. MacAloon, J. (1996). Humanism as a political necessity? Reflections on the pathos of anthropological science in Olympic contexts. Quest, 48(1), 67-81, p. 75.
7. Binder, D. 2002. Olympic odyssey: Facilitating an International Olympic Education Project. Unpublished Doctoral Dissertation. Edmonton: University of Alberta, p. 203. With thanks to Noel Gough (2000) for the concept of "transnational spaces".
8. MacAloon, J. Ibid, p. 76.
9. Binder, D. 2000. Be a Champion in Life: An International Teacher's Handbook. Athens: Foundation of Olympic and Sport Education.
10. 引用 : Mueller, N. (Ed.). (2000). Pierre de Coubertin: Olympism. Selected Writings. Lausanne: International Olympic Committee.

---

## セクション2

1. MacAloon, J. (1996). Olympic ceremonies as a setting for intercultural exchange, in De Moragas, M., MacAloon, J. and Llines, M. (Eds.), Olympic Ceremonies: Historical Continuity and Cultural Exchange. Lausanne: International Olympic Committee, p. 29-43.
2. O' Sullivan, M. Environment a key theme at Olympics. Voice of America News, 10 February 2002.
3. 抜粋 : CBC News. (2006). "Vancouver mayor to wave Olympic flag from his wheelchair."
4. International Olympic Truce Centre. Mission. Sourced online: [http://www.olympictruce.org/index.php?option=com\\_k2&view=item&layout=item&id=1&Itemid=266&lang=en](http://www.olympictruce.org/index.php?option=com_k2&view=item&layout=item&id=1&Itemid=266&lang=en) (accessed February 2015).
5. 出典 : the International Olympic Committee. 2009.
6. The New Oxford Dictionary of English, 1998.
7. Olympic Museum and Studies Centre. (2003). "Olympic Games Posters." Sourced July 25 2006.

---

## セクション3

1. Vancouver Board of Trade. "The Spirit of Vancouver, 24 July, 2006." Sourced 24 July 2006 (accessed February 2015).
2. 出典 : the International Olympic Committee: 2004. Pamphlet on the Olympic Movement. Sourced 5 July 2006.



## セクション4

1. Pierre de Coubertin: Olympism, Selected Writings, Muller, N. (Ed.) (2000). Lausanne, Switzerland: International Olympic Committee, p. 74.
2. Olympisches Menschenbild and schulische Sportdidaktik, in Gessman, R. Olympische Erziehung, (2004). Sankt Augustin: Academia Verlag, p. 16, trans. by D. Binder.
3. 出典: Robertson, S. (Ed.). (2005). Canadian Sport For Life: Long-Term Athlete Development. Canadian Sport Centres, p. 15.
4. Shorr, V. 2004. "Peru: Standing Tall" . Ms. Magazine, Summer 2004. Online at: <http://www.msmagazine.com/summer2004/peruceciliatate.asp>. Sourced, 12 July 2006 (accessed February 2015).
5. Bredemeier, B. J., Shields, David, L., Weiss, Maureen R., Cooper, Bruce A.B. (1986). The relationship of sport involvement with children' s moral reasoning and aggression tendencies. Journal of Sport Psychology, 8(4), 304,318.
6. Bredemeier, B. J. & Shields, D. (1995). Character development and physical activity. Champaign, IL: Human Kinetics.
7. 出典: Luther and Hotz, 1998 Erziehung zu mehr Fairplay: Anregungen zum sozialen Lernen.im Sport, aber nicht nur dort! Bern, Germany: Verlag Paul Haupt, p. 29 & 31.
8. ボブスレーは、寒い気候の国々で楽しまれている冬の競技である。これらの国々の子どもたちはそりに乗って雪の斜面を滑り降りる。オリンピックのボブスレー競技で使用されるそりは、ランナーに藁に乗ったような形状をしている。ボブスレーコースは、カーブの付いた純氷製のトラックである。
9. Canadian Press, 16 February 2006.
10. 出典: Schipilow, W. 1999. Fair Play in Minor Hockey. Dartmouth, NS: Dartmouth Whalers Minor Hockey Association, Section Two (no longer available online).
11. Quoted in Brennan, C. USA Today.com, 11 February 1999.
12. 国連総会で可決。Resolution 217A (III) of 10 December 1948 (excerpt only).
13. Excerpts from a speech delivered on the steps at the Lincoln Memorial in Washington D.C. USA on 28 August 1963. Online at: <http://www.usconstitution.net/dream.html> (accessed February 2015).
14. 出典: FIFA World Cup . Roger Milla (Cameroon). Sourced July 25 2006 (accessed February 2015).
15. IOC ウェブサイトより出典。"Celebrate Humanity 2002: Dan Jansen." Sourced 5 July 2006 (accessed February 2015). (Small wording changes facilitate understanding for non-native English-speaking readers.)
16. 出典: UK Department of Health, Chief Medical Officers of England, Scotland, Wales and Northern Ireland. 2011. Start active, stay active: a report on physical activity. Online at: [http://www.dh.gov.uk/en/Publicationsandstatistics/Publications/PublicationsPolicyAndGuidance/DH\\_128209](http://www.dh.gov.uk/en/Publicationsandstatistics/Publications/PublicationsPolicyAndGuidance/DH_128209) (accessed February 2015).
17. World Health Organization. 1948. Definition of health. Preamble to the Constitution of the World Health Organization as adopted by the International Health Conference, New York, 19.22 June 1946. Online at: <http://www.who.int/about/definition/en/print.html> (accessed February 2015).
18. この例の出典: the "Start Active, Stay Active" report of the UK Department of Health Chief Medical Officers of England, Scotland, Wales and Northern Ireland. 2011. Online at: [http://www.dh.gov.uk/en/Publicationsandstatistics/Publications/PublicationsPolicyAndGuidance/DH\\_128209](http://www.dh.gov.uk/en/Publicationsandstatistics/Publications/PublicationsPolicyAndGuidance/DH_128209) (accessed February 2015).







## オリンピック価値教育の基礎

発行 (公財)日本オリンピック委員会  
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

協力 (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

監修 (特非)日本オリンピック・アカデミー  
オリンピック教育プラットフォーム(CORE/筑波大学)

2018年2月 発行

**INTERNATIONAL OLYMPIC COMMITTEE**

OLYMPIC FOUNDATION FOR CULTURE AND HERITAGE,  
QUAI D'OUCHY 1, 1001 LAUSANNE, SWITZERLAND

[www.olympic.org/ovep](http://www.olympic.org/ovep)

